

平成27年度

上田市上下水道事業年鑑



上田市上下水道局



# 目 次

## 上下水道局の概要

1 経営戦略	
(1) 上田市上水道ビジョン	3
(2) 平成 26 年度の重点目標とその実績	5
(3) 平成 27 年度の重点目標	9
(4) 組織	13
2 事業の状況	
(1) 事業計画及び事業区域	18
(2) 料金及び使用料等の状況	22

## 水道事業編

1 事業の概要	
(1) 事業の沿革	27
(2) 事業のあゆみ	28
(3) 事業計画	32
2 財政の状況	
(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	34
(2) 資本的収支及び補てん財源の推移	35
(3) 財務諸表の推移	36
(4) 資金の推移	40
(5) 費用構成の推移	41
(6) 固定資産の推移	42
(7) 企業債残高の推移	43
(8) 繰入金の推移	43
(9) 経営分析	44

3	業務の状況	
(1)	業務量	46
(2)	給水人口の推移	46
(3)	加入金の状況	47
(4)	収納状況の推移	47
(5)	水道料金の納付方法の推移	47
(6)	口径別有収水量・調定件数調定額	48
(7)	用途別有収水量・調定件数・調定額	49
(8)	公衆浴場組合補助金の状況	49
(9)	県営水道料金差額補助金の状況	49
4	施設の現況	
(1)	水源（水利権等の許可状況）	50
(2)	取水施設	51
(3)	浄水施設	52
(4)	配水池・ポンプ施設	54
(5)	管路延長等の状況	56
(6)	配水量の推移	59
(7)	平成 26 年度の水質	60
(8)	電力使用量の推移	63
(9)	薬品使用量の推移	64

## 公共下水道事業編

1	事業の概要	
(1)	事業の沿革	69
(2)	事業のあゆみ	69
(3)	事業計画	78
2	財政の状況	
(1)	収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	80
(2)	資本的収支及び補てん財源の推移	81
(3)	財務諸表の推移	82

(4) 資金の推移	86
(5) 費用構成の推移	87
(6) 固定資産の推移	88
(7) 企業債残高の推移	89
(8) 繰入金の推移	89
(9) 経営分析	90
<b>3 業務の状況</b>	
(1) 業務量	92
(2) 水洗化人口の推移	93
(3) 処理可能面積の推移	93
(4) 受益者負担金・分担金の状況	94
(5) 収納状況の推移	94
(6) 下水道使用料の納付方法	94
(7) 下水道排水設備資金融資利子補給制度	95
<b>4 施設の状況</b>	
(1) 処理場の状況	96
(2) ポンプ場の状況	106
(3) 管渠延長等の状況	108
(4) 処理水量の推移	119
(5) 水質検査結果	120
(6) 電力（動力）使用量の推移	122
(7) 薬品使用量の推移	123

## 農業集落排水事業編

<b>1 事業の概要</b>	
(1) 事業の沿革	127
(2) 事業のあゆみ	127
(3) 事業計画	132
<b>2 財政の状況</b>	
(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	134

(2)	資本的収支及び補てん財源の推移	135
(3)	財務諸表の推移	136
(4)	資金の推移	140
(5)	費用構成の推移	141
(6)	固定資産の推移	142
(7)	企業債残高の推移	143
(8)	繰入金の推移	143
(9)	経営分析	144
3	業務の状況	
(1)	業務量	146
(2)	水洗化人口の推移	147
(3)	加入金の状況	148
(4)	収納状況の推移	148
(5)	農集排使用料の納付方法	148
4	農業集落排水施設の状況	
(1)	処理場の状況	149
(2)	管渠延長等の状況	150
(3)	処理水量の推移	152
(4)	電力（動力）量の推移	153

## 付録

1	長野県内の上下水道料金比較	
(1)	県内 19 市等上下水道料金一覧表	159
(2)	長野県内の水道使用量別料金比較	160
(3)	長野県内の公共下水道使用量別使用料比較	162
(4)	長野県内の農業集落排水使用量別使用料比較	164
2	県内上下水道事業体の経営の状況	
(1)	水道事業	166

(2) 公共下水道事業	168
(3) 農業集落排水事業	170
<b>3 上下水道指定工事店の状況</b>	
(1) 指定工事事業者の推移	172
(2) 指定工事事業者指定基準	172





# 上下水道局の概要



# 1 経営戦略

平成 21 年度から平成 30 年度を計画期間とする「上田市上水道ビジョン」に則り、適正で計画的な経営を行っていきます。

## (1) 上田市上水道ビジョン

### ア 安全で安心なおいしい水の安定供給

#### (ア) 安心で良質な水源の確保

- ① 菅平、四阿湧水群、武石地域湧水の有効活用
- ② 湧水水源の水質監視強化
- ③ クリプト対策施設の検討、水源の森や河川清掃の実施

#### (イ) 安全でおいしい水の供給

- ① 水質管理の徹底と水安全計画の策定
- ② 浄水水質監視とおいしい水の管理
- ③ 貯水槽水道の管理指導

#### (ウ) 信頼される水道の構築

- ① 導水、送水系統の相互融通、緊急連絡管の設置
- ② 水質検査計画及び結果の公表
- ③ 送配水管路網の統合と配水ブロックの再編

### イ 災害に強い施設づくりの推進

#### (ア) 災害に備えた安定給水の確保

- ① 耐震適合性の評価と計画的耐震化の実施
- ② 施設の適正配置計画による自然流下配水区域の拡大
- ③ 隣接水道事業者との緊急連絡管、二系統受水によるバックアップ管路の計画

#### (イ) 迅速な応急対策と復旧

- ① 配水ブロック再構築による減断水の即時復旧体制
- ② 給水拠点への応急給水設備の設置
- ③ 危機管理マニュアルの整備、防災訓練の実施

#### (ウ) 老朽施設の計画的更新

- ① 鉛製管、石綿セメント管早期解消のための布設替え計画の策定
- ② 施設の機能評価に基づく更新計画、財政計画の策定
- ③ アセットマネジメントの導入による維持補修計画の策定

## ウ 安定した経営基盤の確立

### (ア) 企業マインドによる健全経営

- ① 企業経営の認識を高め、収入増と経費削減の取組
- ② IT化による効率的組織機構への改革
- ③ 水道事業ガイドラインの業務指標による事業管理の推進

### (イ) 業務体制の強化と効率化

- ① 4地域の水源、浄水場、送配水施設監視システムの一元化
- ② 上水道、簡易水道事業の統合と管路情報システムの構築
- ③ 水運用支援、管路網解析分析支援、保全管理システムの導入

### (ウ) 親しみある開かれた水道

- ① 利用者ニーズに合った窓口サービスの充実
- ② 収納サービスの多元化による収納率の向上
- ③ 水質の安全、給水の安定、適正な費用負担についての総合施策
- ④ 耐震化や改築更新等に必要な負担等についての情報提供

## エ 環境にやさしいエネルギー対策の貢献

### (ア) 省エネルギー対策

- ① 施設の最適配置や水運用による消費電力、薬品等の節減
- ② 有収率改善事業、老朽管更新等によるエネルギー損失の低減

### (イ) エコプロジェクトの推進

- ① 二酸化炭素軽減のため、小水力発電の推進
- ② ISO14001の継続実施によるCO<sub>2</sub>の削減

### (ウ) 資源の循環、地域への還元

- ① 浄水汚泥の減量と建設廃材のリサイクル
- ② 浄水汚泥の100%有効活用（緑地、農地利用）の推進

# 上下水道局

## 重点目標

- 1 経営効率化の推進
- 2 上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給
- 3 上水道ライフラインの計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 循環型社会の形成に向けた資源の有効活用の推進

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	経営効率化の推進		部局名	上下水道局	優先順位	1 位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014市長マニフェスト における位置付け		II-1-②
現況・課題	人口減少社会の到来と景気志向が進行していく中で、料金収入の増加は将来的に見込めない状況となっています。その一方で、老朽化していく施設、設備の更新のほか、耐震化など災害に備えた施設づくりに取り組む必要がありますが、そのためには多額の費用を要します。そのため、経営方針に基づき、毎年10年間の財政計画とそれに基づく事業計画についてローリングを行い、収支バランスのとれた計画的な事業展開に取り組み、経営の効率化を推進していくことが求められています。業務改善の一環として上下水道料金徴収、窓口業務の包括的民間委託化の実施に向けた検討をしておき、今後方針を決定し実施に向けた行程表を作成していかねばなりません。また、浄水場施設維持管理業務の民間委託化については、局全体の中で組織再編成を考慮して段階的に進める必要があります。					
目的・効果	財政計画において適切な目標を設定するとともに事業計画において事業の選択と集中を行い、これらについて毎年ローリングを行う中で、営業収益に見合う支出財政規模を定め持続可能な企業運営と経営の効率化を推進します。					
	取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)	
①	○経営方針に基づく事業計画の推進 (1)支出の効率化を行い定型的な経営管理を行うため、今後10年間の財政計画と事業計画についてローリングの実施 (2)業務改善として公共料金の口座引落実施	(1)7月～12月 (2)7月	(1)事業計画のローリングを踏まえ平成27年度の予算編成 (2)支払伝票の削減20%	(1)各課で事業計画を策定中。それをもとに平成27年度予算編成を行う。 (2)7月からシステムが稼働し、口座引落実施中	(1)各種の上下水道施設や機器等の建設及び更新を優先度をつけて平成化する。今後10年間(平成27～35年度)における事業計画を今年度もローリングした。平成27年度の事業計画と予算を合致させ事業の進捗を図ることとした。 (2)7月からシステムが稼働し、口座引落実施中 総支払件数5,871件、うち公共料金の口座振込件数1,028件 伝票削減率17.5% (2月現在)	
②	○民間委託化の検討 (1)上下水道料金徴収・窓口業務の包括的民間委託化の実施に向けた取組 (2)浄水場施設維持管理業務の民間委託化の検討	(1)4月～3月 (2)4月～3月	(1)委託業務開始に向けた行程表の作成 (2)委託部門の計画策定及び委託化に向けた行程表の作成	(1)行程表は作成済 行程表に沿い、予算計上の準備を進めている。 (2)業者ヒアリング、近隣市への視察実施 具体的な委託化に向けての概算費用算出中	(1)12月議会にて債務負担(5年総事業費)を行い、新年度予算において10月以降6か月分の予算を計上。 委託する業者の選定はプロポーザル方式により行い5年間の委託契約を締結。 (2)浄水場の維持管理業務について、2社から委託費用の見積りを徴収。現状費用と比較すると、大幅な経費増となるため、部分的にも早期の委託化は難しいと判断	
③	○収納率の向上 (1)水道料金・下水道使用料(現年度分) (2)下水道負担金・分担金(現年度分)	(1)3月 (2)3月	(1)収納率99% (2)収納率96%	(1)収納率 98.11% (9月末) (2)収納率 61.20% (9月末)	(1)収納率 99.10% (3月末) (2)収納率 94.42% (3月末)	
④	○経理業務の合理化・効率化 公共上下水道事業会計と農業集落排水事業会計の統合に向けた検討	4月～3月	平成28年度(予定)からの会計統合に向けた検討	会計基準の見直しに伴い、累積欠損が無くなったため、統合の必要性も含めて検討中	会計基準の改正に伴い累積欠損も無くなり、早急に会計統合する必要があるため、統合は当面見合わせることにした。	
⑤	○県企業局主催の水道事業運営研究会(仮称)での方向性研究 県企業局と県営水道関係4市町(長野市、千曲市、飯綱町、上田市)とで、持続可能な事業運営を維持するための情報共有や運営の連携のため、今後設立する研究会に参加	4月～3月	水道事業運営研究会での方向性検討	水道事業運営研究会に2回参加(7/10、9/24)	水道事業運営研究会に5回参加(7/10、9/24、11/7、1/30、3/25) 各事業体の状況を把握し、今後は健全な水道事業運営に向けた広域化等の方策について研究することになった。	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・経営の効率化を推進し、必要な事業を実施し上下水道料金の水準を維持するよう努めていきます。			○取組による効果・残された課題 ・来年度、上下水道料金徴収等業務について民間委託を可能とした。課題は収納率の向上である。		

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	上下水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給		部局名	上下水道局	優先順位	2 位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014市長マニフェスト における位置付け		I-2-④
現況・課題	上下水道事業は、上水道3、簡易水道12の合計15事業で運営されていますが、これら水源は河川の表流水、ダム水、地下水や湧水などで28箇所及んでいます。簡易水道の湧水水源の中には、降雨時における水質が不安定となるものがありますが、一方で、真田地区には水質が安定し、水量も豊富な湧水があることから、簡易水道の統合に当たり、この湧水の活用を検討しています。また、近年、水道水の安全性への要求が高まっておりますので、耐塩素性汚染生物(クリプトスポリジウム等)の地下浸透による水源汚染対策として湧水を水源とする真田地区の傍路中央簡易水道事業と武石簡易水道事業に対し紫外線処理設備を設置するように昨年度から取り組んでいるほか、浄水場原水・浄水及び湧水水源で東日本大震災以降は放射線の影響について検査しています。					
目的・効果	湧水水源の改善・改良を行うとともに、水質検査を充実することにより、安全な水の供給を維持してまいります。安定した湧水の活用を行うことにより、現在よりも効率的に安全でおいしい水を安定供給することができるようになります。					
	取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)	
①	○真田地区の簡易水道を上水道へ統合 対策委員会と協議し菅平上水道と真田簡易水道の統合について整備方針を決定	3月	関係機関の合意形成 基本的計画フレームの把握	関係機関(財産組合、真田市、大日向自治会)と合意済 他の機関とは協議継続中 基本的計画フレーム策定中	関係機関と合意完了 基本的計画フレームの策定をし、水道事業認可完了。	
②	○水源改善・改良 武石地区上本入第2配水池整備	3月	加圧ポンプ設置	武石上本入加圧ポンプ設置に向けた設計業務発注済	加圧ポンプの設計業務は12月完了。ポンプ場新設工事は発注済。現在機械工事により平成27年7月末完成を目標に施工中	
③	○水質検査の強化体制維持 (1)真田、武石地区における湧水水源の水質検査 (2)セシウム134及び137の検査維持 (3)水質等自動監視設備設置	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)3月	(1)クリプトスポリジウム 11箇所 34検体 指標値 22箇所 122検体 (2)浄水場原水 毎月 浄水場浄水 年4回 湧水調査 年2回 (3)上水道 流量計 2箇所 簡易水道 伝送装置 2箇所 水位計 1箇所 雑塩計 1箇所 流量計 1箇所	(1)クリプトスポリジウム 11箇所 19検体検査済 指標値 22箇所 66検体検査済 (2)浄水場原水 毎月 5箇所60検体中30検体 検査済 " 浄水 5箇所20検体中10検体 検査済 湧水水源 1回 19箇所38検体中19検体 検査済 (3)上水道 流量計 2箇所(緑合、尾野山配水池) 発注予定 簡易水道 伝送装置 2箇所(緑合、善匠配水池) 発注予定 水位計 1箇所(善匠配水池) 発注予定 雑塩計 1箇所(本原配水池) 発注予定 流量計 1箇所(善匠配水池) 発注予定	(1)クリプトスポリジウム 11箇所、34検体 検査完了 指標値 22箇所、122検体 検査完了 (2)浄水場原水 毎月 5箇所、60検体 検査完了 " 浄水 5箇所、20検体 検査完了 湧水水源 2回 19箇所、38検体 検査完了 (3)上水道 流量計 2箇所(緑合、尾野山配水池)設置完了 簡易水道 伝送装置 2箇所(緑合、善匠配水池) 設置完了 水位計 1箇所(善匠配水池) 設置完了 雑塩計 1箇所(本原配水池) 設置完了 流量計 1箇所(善匠配水池) 設置完了	
④	○管網解析新(水量・水圧・標高等)による給水区域の見直しとバックアップ体制の整備 管網解析システムデータ構築	4月～3月	水量・水圧・標高等のデータ入力完了	データ入力中	水量・水圧・標高等のデータ入力完了。 上田水道山口配水区域の切り替えを実施。	
⑤	○有収率の向上及び給水管の布設 (1)有収率 (2)給水管の布設	(1)3月 (2)4月～3月	(1)84% (2)N=752箇所	(1)83.5% (9月末) (2)N=631箇所発注済	(1)84.1% (2)N=714箇所(概成)	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・「安全でよりおいしい、質の高い水の供給」という市民ニーズに対応し、さらに定型的に効率よく水を供給するために各種の事業を実施します。			○取組による効果・残された課題 ・真田地域の水道施設整備は進捗が悪い。今後は供給計画に基づき、確実に事業実施して行く必要がある。 ・施設の老朽化に伴い、引き続き有収率の向上に取り組む必要がある。		

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	上水道ライフラインの計画的な維持・更新		部局名	上下水道局	優先順位	3 位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014市長マニフェスト における位置付け		I-2-④
現況・課題	<p>上水道は、ガス、電気と並び市民の安全で快適な生活環境の確保のために必要不可欠なライフラインであり、一日たりとも休むことのできない重要な施設です。管路施設は、現在も建設当時のものが残存していることから、計画的な更新が必要であり、東日本大震災などの未曾有の大規模地震が発生していることから、管路施設の耐震化を進める必要があります。また、浄水施設をはじめとする送水・配水施設等が220箇所あり、その多くが老朽化した施設となっており、今後大規模な改築更新を迫られていますが、人口減少による給水収益の減少に伴い、将来の資金確保が難しく財政状況の悪化が懸念されています。そこで水道事業を持続可能なものとするために、中長期的な視点に立って、技術的な知見に基づいた施設整備・更新需要の見直しについて検討し、着実な改築更新を進める必要があります。</p>					
目的・効果	<p>上水道施設の計画的更新や耐震化により、大規模災害はもたらぬこと、日常の管破漏などの減少が期待できます。計画的な改築更新を行うことにより、投資額の平準化が図られ、安定した事業運営が期待できます。</p>					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○上水道管路耐震化 管路の耐震化	4月～3月	L=6.7km（内0.85km老朽管）	L=3.2km（内0.5km老朽管）発注済	L=6.6km（内0.5km老朽管）発注済 うちL=4.2km（内0.5km老朽管）完了	
②	○上水道施設アセットマネジメント策定 (1)水道施設職員老朽度調査 (2)上水道施設アセットマネジメント策定	(1)7月～10月 (2)11月～3月	(1)調査完了 (2)策定完了	発注済 (1)調査中 (2)未実施	(1)調査完了 (2)策定完了	
③	○浄水場施設の設備更新 (1)原水浄水場の設備更新 (2)理水浄水場の設備更新	(1)3月 (2)3月	(1)PAC注入設備更新 (2)傾斜板更新及びPH計・残塩計・濁度計等の設備更新	(1)発注に向け準備中 (2)発注に向け準備中	(1)原水浄水場のPAC注入設備更新完了 (2)理水浄水場のPH計・残塩計・濁度計の設備更新完了 傾斜板更新工事は発注済であるが、現在繰越工事により平成27年5月末完成を目途に施工中	
特記事項	<p>○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点</p> <p>・水道管の耐震化を推進し、防災に努めます。 ・水道施設を計画的に更新し、この資産を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは現代の責務です。そのため、財産計画に基づいたアセットマネジメントを策定します。 （アセットマネジメント（資産管理）：長期的な視点に立ち水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営していくことを組織的に実施する活動です。）</p>			<p>○取組による効果・残された課題</p> <p>・今後も水道管の耐震化を推進し、防災に努める必要がある。 ・既存の上水道施設の資産管理の効率化を図る上で、公共有水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との接続を実施していく必要があります。</p>		

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新		部局名	上下水道局	優先順位	4 位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014市長マニフェスト における位置付け		I-2-④
現況・課題	<p>下水道管の整備はほぼ完了しましたが、快適な水環境を創造するためには下水道未整備箇所等の早急の解消と、管渠整備済み箇所等の下水道接続の促進が必要です。また、人口の減少や少子高齢化の進行、省エネルギー化など、社会状況の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変化し、下水の流入量も微増に留まっています。下水道施設の維持管理の効率化を図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。下水道が施設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、「下水道施設長寿命化計画」を策定しました。安定した下水処理を維持するため、計画に基づいて施設の更新を実施していく必要があります。</p>					
目的・効果	<p>良好な生活環境と水環境を形成するため、下水道未整備箇所等の管渠工事の実施と下水道の接続を促進し水質向上を図ります。社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画による施設の更新を図ります。</p>					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○下水道未整備箇所等の管渠工事推進 管渠工事の推進	4月～3月	L=1.6km	工事（繰越）延長L=1.4kmでL=0.8kmは施工中、L=0.6kmは竣工	・管渠整備工事L=1.9kmを発注し、L=1.7kmが完了した。（完了分のうちL=1.4kmはH25繰越分）	
②	○農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 公共下水道統合に向けた財産処分調査の実施	4月～3月	財産処分調査の実施 3地区	公共下水道に接続するための具体的な調査（流量やルート検討など具体的な接続方法）委託を発注済	・公共下水道に接続するためのルート検討が完了した。 ・し尿前処理施設計画と整合を図るため財産処分調査は行わなかった。	
③	○長寿命化事業の実施 上田、南郷、丸子、管平処理場の設備更新	4月～3月	4処理場の実施設計 管平浄化センターの水処理設備・電気設備更新	4処理場の実施設計業務発注済 水処理設備・電気設備更新工事発注済	・4処理場の実施設計業務は3月に完了した。 ・管平浄化センターの水処理設備・電気設備更新工事は施工中で6月末完了の見込み。	
④	○水質向上の促進 新規接続を促進し、水質向上の向上	4月～3月	新規接続戸数500戸目標	新規接続戸数462戸（9月末）	新規接続戸数886戸（平成27年2月末現在）と目標は達成できた。	
特記事項	<p>○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点</p> <p>・清潔で快適に生活するための社会インフラ整備として、下水道管渠工事を推進します。 ・下水道普及と地域の解消が図られ生活環境が向上するとともに河川などの水質改善が図れます。 ・下水道施設長寿命化計画に基づき、施設等の更新を行い経営の安定化と生活環境の維持増進に努めます。</p>			<p>○取組による効果・残された課題</p> <p>・費用対効果に課題はあるが未整備箇所等の管渠整備を進める必要がある。 ・農業集落排水の公共下水道への統合事業には地元との合意が必要であり、し尿前処理施設計画とも整合を図る必要がある。 ・長寿命化計画により国の補助金を用いた効率的な施設更新ができる。</p>		

重点目標	循環型社会の形成に向けた資源の有効活用の推進		部局名	上下水道局	優先順位	5 位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に基らせる生活環境を実現する			2014市長マニフェスト における位置付け	I-2-④	
現状・課題	上下水道事業はエネルギーを消費し、温室効果ガスや汚泥等の排出を伴うため、資源の地域循環や再生可能エネルギーの利用などに配慮していく必要もあります。低炭素社会の構築に向けて、水道施設における再生可能エネルギーを有効利用し、毎時約51kwを発電できる小水力発電設備を設置していくこととしています。					
目的・効果	再生可能エネルギーとして、小水力発電設備による発電を行い、電力会社へ全量売電するとともにCO2の削減を図ります。 また、浄水場から永続的に発生する浄水場堆積物（泥土）を農作物を作る改良土として活用できるように有効に活用し資源の循環に努めます。					
	取組項目及び方法（何をどのように）	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○再生可能エネルギーの活用 笠原浄水場に小水力発電を導入し、再生可能エネルギーの積極的な活用	4月～3月	小水力発電設備設置	工事発注済	工事完了、発電開始	
②	○浄水場堆積物の活用 浄水場堆積物（泥土）を農作物を作る改良土として再生できるように活用	4月～3月	改良土化 600m <sup>3</sup>	改良土化 107.5m <sup>3</sup> 実施	改良土化 636.7m <sup>3</sup> 実施	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・地球温暖化防止対策と維持管理費の削減のため、再生可能エネルギーの有効活用を推進します。			○取組による効果・残された課題		



# 上下水道局

## 重点目標

- 1 経営効率化の推進
- 2 安全でおいしい水の安定供給と真田水道事業の推進
- 3 上水道施設の計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 技術継承に関する取り組み

重点目標	経営効率化の推進		部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014市長マニフェスト における位置付け	II-1-②	
現況・課題	給水人口の減少や大口需要の低迷及び漏水検出の普及等による料金収入の減少。また上・下水道施設の更新や修繕による投資額の増加が見込まれるなか、収支バランスのとれた健全な事業経営を行っていく必要があります。そのため、経営方針に基づき、毎年今後10年間の財務計画とそれに基づく事業計画についてローリングを行い、収支バランスのとれた計画的な事業展開に取り組み、経営の効率化を推進していくことが求められています。また、浄水場施設維持管理業務の民間委託化については、局全体の中で組織再編成を考慮して段階的に進める必要があります。					
目的・効果	財務計画において適切な目標を設定するとともに事業計画において事業の選択と集中を行い、これらについて毎年ローリングを行う中で、営業収益に見合う支出財政規模を定め持続可能な企業運営と経営の効率化を推進します。					
	取組項目及び方法・手段 (何をどのように)	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標 (どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告 (目標に対する達成状況・達成度)	
①	○アセットマネジメント及び長寿命化計画を踏まえた今後10年の事業計画の構式を作成	3月	各種計画を整合した事業計画の構式を作成			
②	○民間委託の実施 上下水道料金徴収等業務の民間委託化	10月	8月末までに業務の引き継ぎを適正に完了させ、10月から民間による業務を開始する。			
③	○収納率の向上 水道料金・下水道使用料(現年度分)	3月	収納率99%			
④	○県企業局主催の水道事業運営研究会への参加	4月～3月	今後の県水及び3市1町の水道事業のあり方、方向性を研究する。			
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 民間活力の導入による市民満足度の向上			○取組による効果・残された課題		

重点目標	安全でおいしい水の安定供給と真田水道事業の推進		部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014市長マニフェスト における位置付け	I-2-④	
現況・課題	上水道事業は、上水道3、簡易水道4の合計7事業で運営されていますが、これらの水源は河川の表流水、ダム水、地下水や湧水などで28箇所に分かれています。この内、湧水水源の中には、降雨時における水質が不安定となるものがありますが、一方で、真田地区には水質が安定し、水質も豊富な湧水があることから、真田地域簡易水道統合事業により、この湧水の有効活用を図ります。					
目的・効果	湧水水源の改善・改良を行うとともに、水源水質検査を充実することにより、安全な水の供給を維持していきます。安定した湧水の活用を行うことにより、現在よりも効率的に安全でおいしい水を安定供給することができるようになります。					
	取組項目及び方法・手段 (何をどのように)	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標 (どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告 (目標に対する達成状況・達成度)	
①	○水源水質検査の強化体制構築 (1) 水質の水質検査 (2) 水質等自動監視設備設置	(1) 4月～3月 (2) 3月	(1) クリプトスポリジウム 11箇所 34検体 指標菌 22箇所 122検体 (2) 上水道 伝送装置 1箇所 水位計 1箇所 簡易水道 伝送装置 4箇所 水位計 4箇所			
②	○有収率の向上 漏水調査の実施	3月	85%			
③	○真田地域簡易水道統合事業の推進 つちや・滝の水源を活用した新たな導・配水管の整備	4月～3月	L=1.5km			
④						
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・「安全でよりおいしい、質の高い水の供給」という市民ニーズに対応し、さらに安定的に効率よく水を供給するために各種の事業を実施します。			○取組による効果・残された課題		

平成27年度 重点目標管理シート

重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新		部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014市長マニフェスト における位置付け	1-2-④	
現状・課題	上水道は、ガス、電気と並び市民の安全で快適な生活環境の確保のために必要不可欠なライフラインであり、一日たりとも休むことのできない重要な施設です。管路施設は、現在も割設当時のものが残存していることから、計画的な更新が必要であり、東日本大震災などの未曾有の大規模地震が発生していることから、管路施設の耐震化を進める必要があります。					
目的・効果	上水道施設の計画的更新や耐震化により、大規模災害はもちろんのこと、日常の管破などの減少が期待できます。計画的な改築更新を行うことにより、投資額の平準化が図られ、安定した事業運営が期待できます。					
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
① ○上水道管路耐震化 管路の耐震化	4月～3月	L=6.0km (霞田地域簡易水道統合事業を除く)				
② ○上水道施設アセットマネジメント策定 水道施設の再構築(統廃合や規模の適正化を考慮した更新需要の算定)	7月～3月	策定完了				
③ ○浄水場施設の設備更新 (1) 浄水場の設備更新 (2) 産廃浄水場の設備更新	(1)3月 (2)3月	(1) 銀島テレメータ シーケンサ更新 (2) 非常用発電機更新				
④						
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・水道者の耐震化を推進し、防災に努めます。 ・水道施設を計画的に更新し、この資産を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは現代の責務です。そのため、附随計画に基づいたアセットマネジメントを策定します。 (アセットマネジメント(資産管理)：長期的な視点に立ち水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営していくことを組織的に実施する活動です。)				○取組による効果・残された課題	

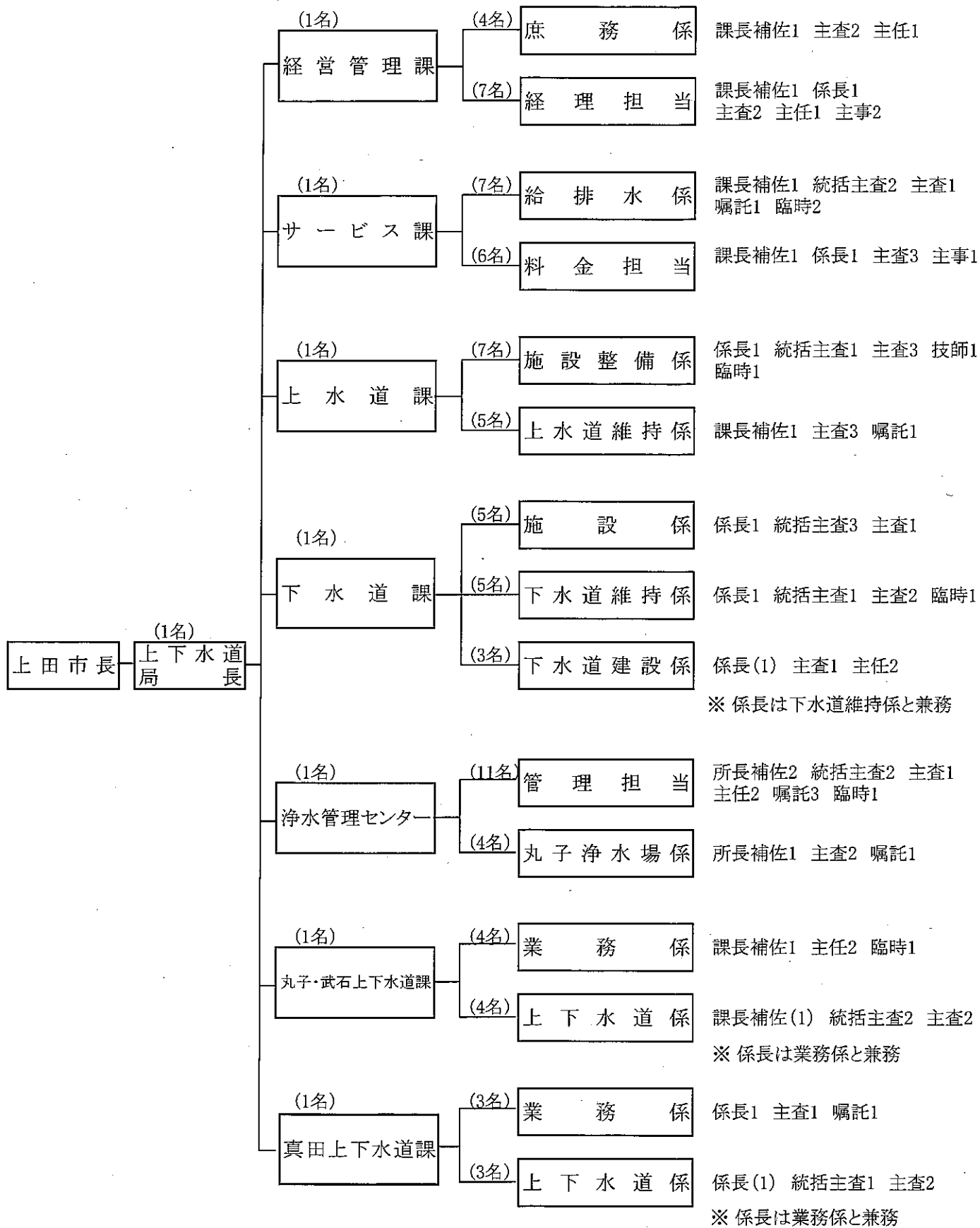
平成27年度 重点目標管理シート

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新		部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014市長マニフェスト における位置付け	1-2-④	
現状・課題	下水道管渠の整備はほぼ完了しましたが、快適な水環境を創造するためには下水道未整備箇所の早期の解消と、管渠整備済み箇所の下水道接続の促進が必要です。また、人口の減少や少子高齢化の進行、省エネルギー化など、社会状況の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変化し、下水の流入量も徐々に留まっています。下水道施設の維持管理の効率化を図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。 下水道が施設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、「下水道施設長寿命化計画」を策定し、事業を実施しています。安定した下水処理を維持するため、計画に基づいて施設の更新を実施していく必要があります。					
目的・効果	良好な生活環境と水環境を形成するため、下水道未整備箇所の管渠工事の実施と下水道の接続を促進し水質を促進します。社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画による施設の更新を図ります。					
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
① ○長寿命化事業の実施 上田、南部、丸子、管渠処理場の設備更新	4月～3月	3処理場の更新工事の実施				
② ○下水道未整備箇所の解消 公共下水道計画区域内の未整備箇所の解消	4月～3月	未整備箇所の解消 上田地域：7か所解消 丸子地域：3か所解消				
③ ○農業集落排水施設の機能強化事業の実施 処理場の機能診断・機能強化事業の実施	4月～3月	仁古田処理場の機能強化工事の実施 岡処理場の機能診断の実施				
④ ○農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 統合に必要な既設管渠機能の調査の実施	4月～3月	統合事業実施に伴う管渠の機能調査の実施				
⑤ ○水洗化の促進 公共下水道地域、農業集落排水事業地域の戸別訪問等による水洗化促進の実施	4月～3月	新規接続戸数650戸を目標とする				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・清潔で快適に生活するための社会インフラ整備として、下水道管渠未整備箇所の解消を図ります。 ・下水道未整備地域の解消が図れ生活環境が向上するとともに河川などの水質改善が図れます。 ・下水道施設長寿命化計画に基づき、施設の更新を行い経営の安定化と生活環境の維持増進に努めます。				○取組による効果・残された課題	

重点目標	技術継承に関する取り組み		部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する		2014市長マニフェスト における位置付け		II-1-③	
現況・課題	上下水道建設から維持に携わってきた熟練技術者の退職や職員異動等により、技術力の確保が難しくなっており、上下水道技術者の育成及び技術の継承が課題となっています。今後、老朽化した施設の計画的な更新や災害時の対応など新たな課題もことから、技術力継承に向けた計画的な取り組みの実施の必要があります。					
目的・効果	継続的な上下水道技術を確保するため、職員に対して資格取得の奨励や外部研修などの受講を促進し人材育成を図ります。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○技術継承のための人材育成の実施 組織的な資格取得の奨励や外部研修の受講促進による人材育成の実施	4月～3月	外部研修受講 水道技術師養成技術研修会 1人 下水道管渠関連 2人			
②						
③						
④						
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 快適な水環境を守るため、上下水道技術を継承する。			○取組による効果・残された課題		

(4) 組織図

平成27年10月1日現在



## 経営管理課 上下水道局の総括に関すること

### 庶務係

局の総合調整及び庶務、議会对応、職員服務・給与、労務対応、研修、福利厚生、入札・契約、例規の制定・改廃、主管課として処理する事務

### 経理担当

上下水道事業予算・決算、経営分析、料金改定、金銭出納、貯蔵品管理、消費税

## サービス課 上下水道の料金、下水道受益者負担金・分担金、宅内給排水設備に関すること

### 給排水係

宅内給排水設備・工事受付審査、検査、指定工事事業者、責任技術者試験、水洗化の普及促進、農集加入金、汚水量認定、量水器購入管理、検満メーター取替

### 料金担当

上下水道料金の調定・還付充当、減免、下水道受益者負担金・分担金

## 上水道課 上水道事業の総括に関すること

### 施設整備係

上水道事業の総合調整・認可申請、上水道事業計画・建設(設計監督)、水源開発

### 上水道維持係

上水道施設の維持管理(管路修繕、漏水調査)・運営、緊急故障対応、当番店対応

## 下水道課 下水道事業の総括に関すること

### 施設係

水質規制関係、公害防止、事業所排水指導、公共下水道・農集排水処理施設維持管理、設備台帳、処理場関係調査

### 下水道維持係

公共下水道・農集施設(管渠)の維持管理、取付管新增設、地域循環プロジェクト、管渠関係・農集調査

### 下水道建設係

下水道事業の総合調整・認可申請、下水道事業の調査・計画、所管地域の下水道施設建設

## 浄水管理センター 浄水施設の総括に関すること

### 管理担当

染屋・石舟浄水場の運転管理、水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、取水・導水・送水・配水設備の維持管理

### 丸子浄水場係

腰越・鹿教湯浄水場の運転管理、所管地域の水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、取水・導水・送水・配水設備の維持管理

丸子・武石上下水道課 丸子・武石地域上下水道の総括に関すること

業務係

所管地域の上下水道事業計画、予算・決算、下水道受益者負担金・分担金関係、宅内給排水設備工事受付審査

上下水道係

所管地域の上水道事業計画、水源の水質調査・保全、配水管工事設計積算、漏水調査  
所管地域の下水道事業計画・設計・積算、水質規制・事業場排水指導、各施設・設備の維持管理

真田上下水道課 真田地域上下水道の総括に関すること

業務係

所管地域の上下水道事業計画、予算・決算、下水道受益者負担金・分担金関係、宅内給排水設備工事受付審査

上下水道係

所管地域の上水道事業計画、水源の水質調査・保全、配水管工事設計積算、漏水調査  
所管地域の下水道事業計画・設計・積算、水質規制・事業場排水指導、各施設・設備の維持管理

平成27年10月1日現在

職員数	課別	局長	課長	課長補佐	係長	統括主査	主査	主任	主事	技師	嘱託	臨時	計
		局長	1										
	経営管理課		1	2	1		4	2	2				12
	サービス課		1	2	1	2	4		1		1	2	14
	上水道課		1	1	1	1	6			1	1	1	13
	下水道課		1		2	4	4	2				1	14
	浄水管理センター		1	3		2	3	2			4	1	16
	丸子・武石上下水道課		1	1		2	2	2				1	9
	真田上下水道課		1		1	1	3				1		7
	計	1	7	9	6	12	26	8	3	1	7	6	86

イ 会計・階級別職員数

平成27年3月31日現在

		局長	課長	課長補佐	係長	統括主査	主査	主任	主事	技師	正規職員計	嘱託	臨時	合計
水道事業会計	上下水道局長	1									1			1
	経営管理課		1								1			1
	庶務係			1			1	1			3			3
	経理担当			1		1	1	1	1		5		1	6
	小計		1	2		1	2	2	1		9		1	10
	サービス課		1									1		1
	給排水係			1		1	1	1			4			4
	料金担当				1	2	3		1		7	4	3	14
	小計		1	1	1	3	4		1		11	4	3	18
	上水道課		1									1		1
	施設整備係				1	1	2	1	1		6		1	7
	上水道維持係			1			3				4		1	5
	小計		1	1	1	1	5	1	1		11		2	13
	浄水管理センター		1									1		1
	管理担当			1	1	2	1	2			7	4	1	12
	小計		1	1	1	2	1	2			8	4	1	13
	丸子上下水道課													
	業務係			1		2	1				4		1	5
	浄水場係				1		2				3	1		4
	上下水道係			1			1	1			3			3
	小計			2	1	2	4	1			10	1	1	12
真田上下水道課		1									1		1	
業務係				1		1				2			2	
上下水道係					1					1	1	1	3	
小計		1		1	1	1				4	1	1	6	
武石上下水道課														
上下水道係													1	
小計													1	
合計		1	5	7	5	10	17	6	3		54	10	10	74
公共下水道事業会計	経営管理課													
	庶務係						1				1			1
	経理担当				1						1			1
	小計				1		1				2			2
	サービス課													
	給排水係					1					1	1	1	3
	料金担当				1		1		1		3			3
	小計				1	1	1		1		4	1	1	6
	下水道課		1											1
	施設係				1	3					4			4
	下水道維持係			1		1	1				4		1	5
	下水道建設係						2	1			3			3
	小計		1	1	1	4	3	2			12		1	13
	丸子上下水道課		1											1
	業務係						1				1			1
上下水道係					1	1				2	1		2	
小計		1			1	2				4			4	
真田上下水道課								1			1		1	
業務係										1			1	
上下水道係			1							1			1	
小計			1				1			2			2	
合計		2	2	3	6	7	3	1			24	1	2	27
農業集落排水事業会計	経営管理課													
	経理担当						1				1			1
	小計						1				1			1
	下水道課													
	施設係						1				1			1
	小計						1				1			1
	丸子上下水道課													
	業務係							1			1			1
小計							1			1			1	
真田上下水道課														
上下水道係						1				1			1	
小計						1				1			1	
武石上下水道課														
上下水道係														
小計														
合計						3	1				4			4

(注) ()内の人数は、兼務職員の数である。





## 2 事業の状況

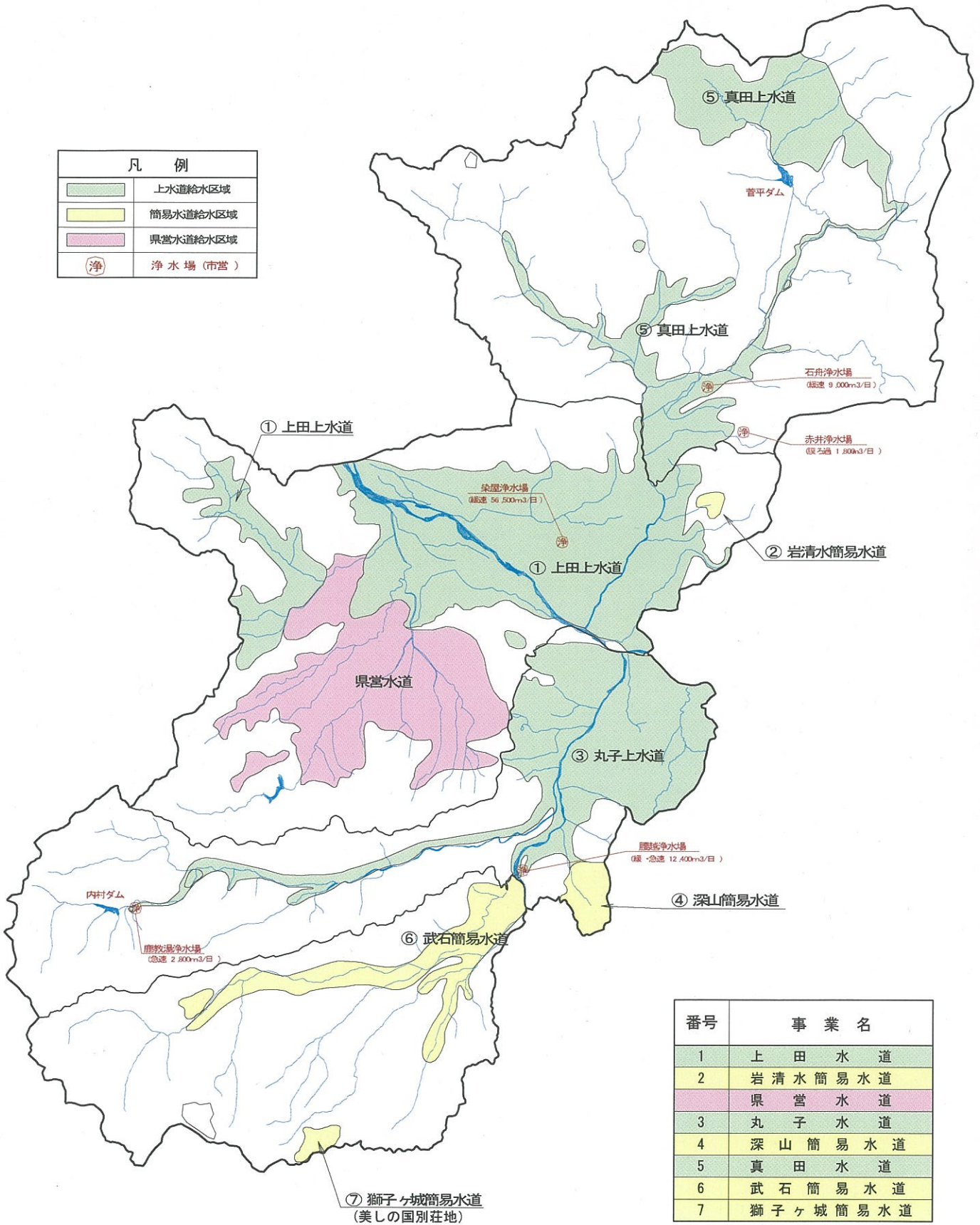
### (1) 事業計画及び事業区域

#### ア 水道事業

名称	計画給水区域	計画給水人口 (人)	計画1日 最大給水量 (m <sup>3</sup> )
上田水道事業	二の丸、常磐城一丁目、常磐城二丁目、常磐城三丁目、常磐城四丁目、常磐城五丁目、常磐城六丁目、緑が丘一丁目、緑が丘二丁目、緑が丘三丁目、天神一丁目、天神二丁目、天神三丁目、天神四丁目、大手一丁目、大手二丁目、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中央四丁目、中央五丁目、中央六丁目、中央東、中央北一丁目、中央北二丁目、中央北三丁目、中央西一丁目、中央西二丁目、常田一丁目、常田二丁目、常田三丁目、材木町一丁目、材木町二丁目、常入一丁目、踏入一丁目、踏入二丁目、国分一丁目、常入、上田、常磐城、小牧、諏訪形、御所、中之条、秋和、上塩尻、下塩尻、上田原、下之条、神畑、築地、大屋の一部、岩下、蒼久保、国分、福田、吉田、小泉の一部、上野、古里、住吉、芳田、林之郷、殿城の一部、漆戸、岡、浦野、越戸、下室賀、上室賀	113,000	65,500.0
丸子水道事業	旧丸子町地区、大屋千曲川左岸地区	27,000	15,200.0
真田水道事業	菅平高原(大洞地区を除く。)、真田町長、真田町傍陽(沼入地区を除く。)、真田町本原	10,400	8,000.0
岩清水簡易水道事業	殿城の一部	360	50.0
深山簡易水道事業	深山地区	260	360.0
武石簡易水道事業	旧武石村地区(白樺平地区、獅子ヶ城簡易水道給水区域を除く。)、腰越地区の一部	3,930	1,920.0
獅子ヶ城簡易水道事業	東美ヶ原高原保健休養地	2,100	531.0
計		157,050	91,561.0

# 上田市上水道事業区域図

凡 例	
	上水道給水区域
	簡易水道給水区域
	県営水道給水区域
	浄水場 (市営)



番号	事業名
1	上田水道
2	岩清水簡易水道
	県営水道
3	丸子水道
4	深山簡易水道
5	真田水道
6	武石簡易水道
7	獅子ヶ城簡易水道



イ 公共下水道事業

名称	計画処理区域	計画処理人口 (人)	計画処理 区域面積 (ha)	計画1日 最大処理量 (m <sup>3</sup> )
上田公共下水道事業	二の丸、常磐城一丁目、常磐城二丁目、常磐城三丁目、常磐城四丁目、常磐城五丁目、常磐城六丁目、緑が丘一丁目、緑が丘二丁目、緑が丘三丁目、天神一丁目、天神二丁目、天神三丁目、天神四丁目、大手一丁目、大手二丁目、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中央四丁目、中央五丁目、中央六丁目、中央東、中央北一丁目、中央北二丁目、中央北三丁目、中央西一丁目、中央西二丁目、常田一丁目、常田二丁目、常田三丁目、材木町一丁目、材木町二丁目、常入一丁目、踏入一丁目、踏入二丁目、国分一丁目、上田の一部、常磐城の一部、小牧の一部、諏訪形の一部、御所の一部、中之条の一部、秋和の一部、上塩尻の一部、下塩尻の一部、上田原の一部、下之条の一部、神畑の一部、築地の一部、大屋の一部、岩下の一部、蒼久保の一部、国分の一部、福田の一部、吉田の一部、小泉の一部、上野の一部、古里の一部、住吉の一部、芳田の一部、古安曾の一部、下之郷の一部、本郷の一部、五加の一部、中野の一部、小島の一部、保野の一部、舞田の一部、十人の一部、新町の一部、前山の一部、手塚の一部、別所温泉の一部	114,700	3,444	67,060
丸子公共下水道事業	腰越の一部、上丸子の一部、中丸子の一部、下丸子の一部、長瀬の一部、塩川の一部、御嶽堂の一部、生田の一部、西内の一部、鹿教湯温泉の一部、平井の一部、東内の一部	23,800	845	14,200
真田公共下水道事業	菅平の一部、横沢の一部、真田の一部、石舟の一部、戸沢の一部、つくし、横尾の一部、四日市、曲尾、萩の一部、大庭、傍陽中組、岡保、入軽井沢の一部、荒井の一部、竹室の一部、中原の一部、下塚	14,200	326	6,500

ウ 農業集落排水事業

上田農業集落排水事業	下組地区の一部、仁古田地区の一部、岡地区の一部、下之郷地区の一部、下小島地区の一部、小井田地区の一部、古安曾地区の一部、保野舞田地区の一部、豊殿南部地区の一部、富士山地区の一部、八木沢地区の一部、浦里地区の一部、室賀地区の一部、林之郷地区の一部、山田地区の一部、小泉地区の一部及び殿城地区の一部	29,300	823.5	9,454.5
丸子農業集落排水事業	藤原田の一部、東内の一部	2,150	61	711
真田農業集落排水事業	上原、中原の一部、下郷沢の一部、表木、町原の一部、出早、下原の一部、大畑の一部、田中の一部、下横道、中横道、上横道の一部	5,200	122	1,539
武石農業集落排水事業	武石沖の一部、武石鳥屋の一部、下武石の一部、上武石の一部、武石下本入の一部、武石上本入の一部、武石小沢根の一部、武石余里の一部、腰越の一部	4,960	195	1,635
上田小規模集合排水処理施設事業	布引地区の一部	180	2	59.4
公共・農集合計		194,490	5,818.5	101,158.9

## (2) 料金及び使用料等の状況

※この表は、消費税率8%で計算されています。  
 ※平成28年度まで現行料金(別荘地含む)となります。

ア 口径13mm

(平成27年4月1日現在・2ヶ月税込・単位:円)

使用量 (㎡)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)	使用量 (㎡)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)
0	1,172	2,528	3,700	41	5,543	7,686	13,229
1	1,232	2,599	3,831	42	5,694	7,864	13,558
2	1,292	2,670	3,962	43	5,845	8,042	13,887
3	1,352	2,741	4,093	44	5,996	8,220	14,216
4	1,412	2,812	4,224	45	6,147	8,398	14,545
5	1,472	2,883	4,355	46	6,298	8,576	14,874
6	1,532	2,954	4,486	47	6,449	8,754	15,203
7	1,592	3,025	4,617	48	6,600	8,932	15,532
8	1,652	3,096	4,748	49	6,751	9,110	15,861
9	1,712	3,167	4,879	50	6,902	9,288	16,190
10	1,772	3,238	5,010	51	7,053	9,466	16,519
11	1,832	3,309	5,141	52	7,204	9,644	16,848
12	1,892	3,380	5,272	53	7,355	9,822	17,177
13	1,952	3,451	5,403	54	7,506	10,000	17,506
14	2,012	3,522	5,534	55	7,657	10,178	17,835
15	2,072	3,593	5,665	56	7,808	10,356	18,164
16	2,132	3,664	5,796	57	7,959	10,534	18,493
17	2,192	3,735	5,927	58	8,110	10,712	18,822
18	2,252	3,806	6,058	59	8,261	10,890	19,151
19	2,312	3,877	6,189	60	8,412	11,068	19,480
20	2,372	3,948	6,320	61	8,563	11,246	19,809
21	2,432	4,019	6,451	62	8,714	11,424	20,138
22	2,492	4,090	6,582	63	8,865	11,602	20,467
23	2,552	4,161	6,713	64	9,016	11,780	20,796
24	2,612	4,232	6,844	65	9,167	11,958	21,125
25	2,672	4,303	6,975	66	9,318	12,136	21,454
26	2,732	4,374	7,106	67	9,469	12,314	21,783
27	2,792	4,445	7,237	68	9,620	12,492	22,112
28	2,852	4,516	7,368	69	9,771	12,670	22,441
29	2,912	4,587	7,499	70	9,922	12,848	22,770
30	2,972	4,658	7,630	71	10,073	13,026	23,099
31	3,032	4,729	7,761	72	10,224	13,204	23,428
32	3,092	4,800	7,892	73	10,375	13,382	23,757
33	3,152	4,871	8,023	74	10,526	13,560	24,086
34	3,212	4,942	8,154	75	10,677	13,738	24,415
35	3,272	5,013	8,285	76	10,828	13,916	24,744
36	3,332	5,084	8,416	77	10,979	14,094	25,073
37	3,392	5,155	8,547	78	11,130	14,272	25,402
38	3,452	5,226	8,678	79	11,281	14,450	25,731
39	3,512	5,297	8,809	80	11,432	14,628	26,060
40	3,572	5,368	8,940	81	11,583	14,806	26,389

イ 口径20mm

(平成27年4月1日現在・2ヶ月税込・単位:円)

使用量 (㎡)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)	使用量 (㎡)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)
0	3,046	2,528	5,574	41	7,417	7,686	15,103
1	3,106	2,599	5,705	42	7,568	7,864	15,432
2	3,166	2,670	5,836	43	7,719	8,042	15,761
3	3,226	2,741	5,967	44	7,870	8,220	16,090
4	3,286	2,812	6,098	45	8,021	8,398	16,419
5	3,346	2,883	6,229	46	8,172	8,576	16,748
6	3,406	2,954	6,360	47	8,323	8,754	17,077
7	3,466	3,025	6,491	48	8,474	8,932	17,406
8	3,526	3,096	6,622	49	8,625	9,110	17,735
9	3,586	3,167	6,753	50	8,776	9,288	18,064
10	3,646	3,238	6,884	51	8,927	9,466	18,393
11	3,706	3,309	7,015	52	9,078	9,644	18,722
12	3,766	3,380	7,146	53	9,229	9,822	19,051
13	3,826	3,451	7,277	54	9,380	10,000	19,380
14	3,886	3,522	7,408	55	9,531	10,178	19,709
15	3,946	3,593	7,539	56	9,682	10,356	20,038
16	4,006	3,664	7,670	57	9,833	10,534	20,367
17	4,066	3,735	7,801	58	9,984	10,712	20,696
18	4,126	3,806	7,932	59	10,135	10,890	21,025
19	4,186	3,877	8,063	60	10,286	11,068	21,354
20	4,246	3,948	8,194	61	10,455	11,258	21,713
21	4,307	4,126	8,523	62	10,624	11,448	22,072
22	4,548	4,304	8,852	63	10,793	11,638	22,431
23	4,699	4,482	9,181	64	10,962	11,828	22,790
24	4,850	4,660	9,510	65	11,131	12,018	23,149
25	5,001	4,838	9,839	66	11,300	12,208	23,508
26	5,152	5,016	10,168	67	11,469	12,398	23,867
27	5,303	5,194	10,497	68	11,638	12,588	24,226
28	5,454	5,372	10,826	69	11,807	12,778	24,585
29	5,605	5,550	11,155	70	11,976	12,968	24,944
30	5,756	5,728	11,484	71	12,145	13,158	25,303
31	5,907	5,906	11,813	72	12,314	13,348	25,662
32	6,058	6,084	12,142	73	12,483	13,538	26,021
33	6,209	6,262	12,471	74	12,652	13,728	26,380
34	6,360	6,440	12,800	75	12,821	13,918	26,739
35	6,511	6,618	13,129	76	12,990	14,108	27,098
36	6,662	6,796	13,458	77	13,159	14,298	27,457
37	6,813	6,974	13,787	78	13,328	14,488	27,816
38	6,964	7,152	14,116	79	13,497	14,678	28,175
39	7,115	7,330	14,445	80	13,666	14,868	28,534
40	7,266	7,508	14,774	81	13,835	15,058	28,893





# 水道事業編



# 1 事業の概要

## (1) 事業の沿革

上田市の水道事業は、平成 18 年 3 月、上田市、丸子町、真田町、武石村の 4 市町村の合併と経営の統合により、給水人口 14 万 2 千人余りとなり、3 上水道事業、11 簡易水道、1 専用水道の合計 15 事業で新たな上田市水道事業を発足しました。

これら水道事業における水源の状況は、千曲川をはじめ神川、依田川の表流水、内村川のダム水、地下水や湧水など 28 箇所を数え、浄水処理方式は、緩速ろ過、急速ろ過、膜ろ過の 3 種類に、送配水施設においては 170 箇所と多種多様な施設で運営されています。

また、市内には、市営水道のほかに 2 市 1 町に送水する県営水道があり、上田市内では 2 万 4 千人に給水されています。

現在、水道の普及率は 99.8 パーセントに達し、市民のほとんどが水の供給を受けることができるようになった一方、水道施設の老朽化による大規模更新や耐震化の必要が生じてきたこと、さらには人口が減少傾向に転じるなど、水道事業は大きな転換期を迎えています。

このように水道事業を取巻く状況が大変厳しいなか、簡易水道事業の経営基盤の強化を図ることを目的に統合を進め、上水道事業への移行を求められている簡易水道事業においては、平成 26 年度に一次統合として、菅平上水道事業と真田地域簡易水道事業の統合、二次統合として、上田上水道事業と岩清水簡易水道・丸子上水道事業・深山簡易水道・武石地域簡易水道事業も含め、すべての水道事業を平成 28 年度までに一本化し、簡易水道事業の運営強化を図っていく予定となっています。

また、水道事業の現状と将来見通しを分析評価し、目指すべき将来像を描いた上田市水道ビジョンでは、「うるおいある水源を守り安全でおいしい水をお届けします」を基本理念に、

- 1 安全で安心なおいしい水の安定供給
- 2 災害に強い施設づくりの推進
- 3 安定した経営基盤の確立
- 4 環境にやさしいエネルギー対策への貢献

の 4 つの基本目標を掲げました。

今までは、上田、丸子、真田、武石の 4 地域それぞれが水道事業を進めてきましたが、統合により相互連携による水運用、良質な水源の利用が可能になったことで、水道経営の健全性を維持しながら、これらの利点を生かした水道施設再構築に向けた取組みを進めていきます。

(2) 事業のあゆみ

ア 上田地域

大正8年5月1日に、上田市は市制を施行したが、その最大の目的と特色は、水道の建設にあったといわれている。当時の上田市は、世帯数が5,342戸、人口は30,247人であったが、井戸の総数は510程度であり、1つの井戸を10戸ぐらいで使用していたようである。しかし、湧出量が少ないことや水質が悪いことから毎年チフスや赤痢等の伝染病がまん延し、これによる死亡者も相次いでいたことから、上水道建設は市民の大念願であった。

水道事業は、大正12年6月に竣工したが、上田市が誕生して最初の事業が水道の建設であり、予算額は85万円（当時の年間予算は約18万円）という、正に空前の大事業であった。それから、88年の歳月を歩み旧上田市の水道は、拡張と改良などの整備を重ね、産業・経済・文化の発展と市民生活の福祉向上を担って、現在に至っている。

地域	年	認可等	内 容
上 田	大正12年	給水開始	千曲川伏流水を水源とする染屋浄水場を建設し、給水を開始
	昭和9年	水源拡張工事	使用量の増大に対応するための水源補水工事
	昭和20年	第2次水源拡張工事	枅網用水利用に変更するための水源補水工事
	昭和28年	第1次拡張事業	神川水源の新設と染屋浄水場の拡張工事
	昭和33年		北部地区、城下地区への配水管拡張工事
	昭和38年	第2次拡張事業	川辺・塩尻・神川・殿城地区合併に伴う配水管拡張工事
	昭和46年	第3次拡張事業	菅平ダム建設への参画と真田町石舟浄水場の新設による殿城簡易水道の統合
	昭和51年	第4次拡張事業	川西村水道事業の合併による配水管の整備
	昭和53年	第5次拡張事業	維持管理時代に対応した施設整備
	平成10年	第6次拡張事業	芳田地区全域に拡張
	平成18年	合併による経営の統合	計画給水人口113,000人 上田水道事業、岩清水簡易水道事業の2事業で運営

## イ 丸子地域

丸子町が誕生した大正元年当時は、東西に細長い地域であることから、簡易水道 6 箇所、簡易給水施設 2 箇所、専用水道が数箇所存在していたが、一般家庭のほとんどは井戸・湧水・沢水を飲料水として利用していた。

しかし、毎年のように赤痢が発生していたことや、農村部の都市化や地域産業の振興に伴う水需要の増加などから、昭和 31 年の町村合併が終了するや、上水道建設に対する熱意が、婦人会を中心とした「水道貯金」の励行により高まり、昭和 32 年に 1 億 7,000 万円の事業計画を議会で議決。昭和 32 年の認可取得により、計画人口 24,730 人で上水道の建設が開始された。埋設される配水管の多くは、手掘りによる市民の共同作業で進めるなど大変な努力がされたものである。

地域	年	許可等	内 容
丸 子	昭和 35 年	給水開始	計画給水人口 16,620 人、依田川を水源とする腰越浄水場を建設し、給水を開始
	昭和 36 年	給水開始	計画給水人口 8,110 人、内村川を水源とする鹿教湯浄水場を建設し、給水を開始
	昭和 37 年	第 1 次拡張事業	霊泉寺・尾野山地区へのポンプアップによる拡張工事
	昭和 48 年	第 2 次拡張事業	腰越浄水場の拡張工事により、昭和 51 年藤原田簡易水道、昭和 52 年腰越簡易水道を統合
	昭和 56 年	第 2 次拡張事業	須川湖ハイランド専用水道の寄付により統合
	昭和 59 年	第 2 次拡張事業	内村ダム建設に伴い、ダムを水源とする鹿教湯浄水場を建設
	平成元年	認可変更	箱壘工業団地建設に伴う配水管拡張工事
	平成 2 年	認可変更	池の芝、千石地区リゾート開発に伴う配水管拡張工事
	平成 11 年		郷仕川原簡易水道の上水道への統合
	平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 27,000 人 丸子水道事業、深山簡易水道事業の 2 事業で運営

## ウ 真田地域

水道が設置される以前は、共同井戸、沢の水、集落によっては川の水を飲料水として使用していた。しかし、長村において集団赤痢が発生し、約 80 人の患者が出た経験から、婦人会・青年団が中心となって上水道に対する機運が高まり、昭和 29 年ごろから現有の自然湧水を利用した水道施設ができる。そして、昭和 33 年 10 月 1 日当時の傍陽村、長村、本原村の 3 ヶ村が合併し真田町となったことを踏まえ、村単位で水道組合を設立し、水道事業が開始された。

一方、菅平高原水道は、2 ヶ所の湧水を水源とした小規模な水道であったが、観光客の増大や昭和 41 年の松代群発地震により、現状水源では不足する状態となった。このため、7.5km 先である「つちやの沢」から水源を求め、事業費 1 億 7,600 万円で菅平全域と別荘団地に給する上水道事業が、昭和 42 年から開始された。この水は、四阿山の湧水であり昔から集中豪雨があっても水量・水質に変化のない「神の水」として、地元で大切にされた水である。

地域	年	許可等	内 容
真	昭和 34 年	給水開始	長中央簡水、傍陽中央簡水が完成し、給水開始
	昭和 38 年	給水開始	本原簡水が完成し、給水開始
	昭和 39 年	給水開始	その他集落単位の水道組合を真田簡易水道として発足
	昭和 44 年	上水道の新設	菅平上水道が完成し、給水開始
	昭和 61 年	簡易水道の統合	傍陽中央簡水と穴沢簡水の統合による施設整備
	平成 4 年	簡易水道の統合	傍陽西部簡水と中組簡水、入軽井沢簡水の統合による施設整備
	平成 7 年	認可変更	菅平上水道の拡張工事
田	平成 8 年	認可変更	本原簡水の浄水方法の変更として膜ろ過施設を建設
	平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 21,178 人 菅平水道事業、宮浦簡水、大日向簡水、長中央簡水、大良簡水、傍陽中央簡水、本原簡水、傍陽西部簡水、三島平専用水道の計 9 事業で運営
	平成 25 年	認可変更	傍陽中央簡水 紫外線照射装置の設備に伴う浄水方式の変更
	平成 27 年	認可統合	真田地域の 9 事業（菅平水道、宮浦簡易水道、大日向簡易水道、長中央簡易水道、大良簡易水道、傍陽中央簡易水道、傍陽西部簡易水道、本原簡易水道、三島平専用水道）を真田水道事業（計画給水人口 10,400 人）に統合

## エ 武石地域

明治 22 年市町村制度の施行により誕生した武石村の水道は、過半数の家が流水を使用していたため、農耕期になれば流水が極めて減少し、かつ雨降り後は泥水として全く使用できなくなる状況にあった。このようにほとんどの家庭で衛生環境が悪く、伝染病の発生率が高いことから、昭和 30 年に上水道建設委員会を発足し、事業費 4,100 万円で全村を対象とした事業を計画する。

特に、水源地設定におけるワサビ畑の補償では多くの関係者の協力があり、また台所改善を目指す婦人労働による戸別割り当て掘削など、全村挙げた積極的奉仕がされた。こうして、昭和 31 年に「鍛横沢」「唐沢」「上権現」「上余里」地籍の湧水を利用した、すべて自然流下方式による水道の給水が開始された。

地域	年	許可等	内 容
武	昭和 31 年	給水開始	武石村上水道の給水を開始 計画給水人口 5,600 人
	昭和 38 年	水源の拡張工事	水源水量減少に対応するための唐沢水源拡張工事
	昭和 40 年	簡易水道の新設	美ヶ原高原白樺平別荘開発に伴う簡易水道の新設
	昭和 43 年	認可変更	上水道から簡易水道に認可変更
	昭和 50 年	認可変更	増大する給水人口に対応するための権現水源の新設
石	昭和 62 年	拡張工事	石綿管路の布設替工事の実施
	平成 18 年	合併時	計画給水人口 6,100 人。武石簡易水道、獅子ヶ城簡易水道の 2 事業で運営
	平成 20 年	合併による経営の統合	上田市上水道事業に経営統合
	平成 25 年	認可変更	武石簡易水道 紫外線照射装置の整備に伴う浄水方式の変更

## (3) 事業計画

## ア 上田地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )	
上 田	上田上水道	創 設	T9.07.10	内務省8長衛 第93号	T9.07	T12.01	850	-	40,000	97	3,880	-
		第1次拡張	S25.11.30	厚生省長衛 第203号	S25.11	S28.05	55,000	S40	60,000	300	18,000	-
		第2次拡張	S37.03.31	厚生省長環 第119号	S37.03	S38.03	15,800	S48	63,700	300	18,660	-
		第3次拡張	S38.12.26	厚生省取環 第502号	S39.04	S42.03	200,000	S59	66,000	405	26,720	-
		第3次変更(1)	S40.12.06	厚生省環 第828号	S40.04	S47.03	865,500	S59	103,000	480	49,500	-
		第4次拡張	S47.03.31	厚生省衛 第276号	S47.04	S52.03	545,000	S61	107,000	600	64,200	-
		第5次拡張	S53.03.30	厚生省衛 第215号	S53.04	S53.07	18,000	S65	101,000	641	64,700	-
	第6次拡張	H10.07.14	厚生省取生衛 第921号	-	H24.03	9,200,000	H23	113,000	580	65,500	37,060	
岩清水簡易水道	創 設	T14.06.26	-	-	-	-	-	360	139	50	31	

## イ 丸子地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )	
丸 子	丸子上水道	創 設	S32.12.09	厚生省長衛 第969号	S33.04	S35.08	150,000	S47	24,730	234	5,777	-
		第1回変更	S35.03.31	厚生省長衛 第285号	S35.09	S36.08	203,000	S47	24,730	234	5,777	-
		第1次拡張	S37.12.28	厚生省長環 第428号	S38.09	S39.05	13,337	S47	24,730	234	5,777	-
		第2次拡張	S48.03.31	厚生省長環 第303号	S48.09	S53.03	860,000	S60	27,000	563	15,200	-
		第1回変更	H1.09.30	長野県指令 元食 第37-6号	H2.09	H3.03	85,000	H15	27,000	563	15,200	-
		第2回変更	H2.08.31	長野県指令 2食 第27-5号	H3.09	S37.07	700,000	H15	27,000	563	15,200	9,773
	鹿教湯簡易水道	創 設	S28.03.26	-	-	S28.05	2,784	S38	1,150	131	151	553
		変 更	-	-	-	-	-	-	1,500	153	230	-
	深山簡易水道	創 設	S28.07.16	-	-	S29.03	11,363	S38	1,800	150	270	75
		変 更	-	-	-	-	-	-	-	-	360	-
(郷仕川原簡易水道)	創 設	S30.03.30	-	-	S30.05	1,450	S40	200	150	30	-	
	変 更	-	-	-	-	-	-	-	-	50	-	
(藤原田簡易水道)	創 設	S35.07.26	-	-	S30.05	6,720	S45	670	150	100.5	-	
	変 更	S38.04.19	長野県指令 38環 第55-18号	-	-	-	-	870	-	-	-	
(須川湖ハイランド専用 水道)	創 設	S47.01.18	-	-	S47.10	14,475	S57	670	200	134	-	



ウ 真田地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )	
真 田	(菅平高原上水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S42.03.31	長野県指令 42環 第12-2号	S42.04	S45.03	200,000	S51	9,000	411	3,700	-
		第1回変更	H7.12.28	長野県指令 7食 第28-1号	H7.07	H8.03	963,085	H21	9,000	411	3,700	-
		廃 止	H27.03.25									
	(宮浦簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S30.07.15	長野県指令 30環 第356号	S30.07	S30.08	870	S39	170	150	25.5	-
		廃 止	H27.03.25									
	(大日向簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S33.05.23	長野県指令 33環 第70-2号	S33.11	S34.08	5,060	S42	800	150	120.0	-
		廃 止	H27.03.25									
	(長中央簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S33.05.23	長野県指令 33環 第70号	S33.08	S34.03	14,501	S34	3,000	214	642	-
		廃 止	H27.03.25									
	(大良簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S30.11.05	長野県指令 30環 第684号	S30.12	S31.03	940	S39	110	150	16.5	-
		廃 止	H27.03.25									
	(六沢簡易水道) S62.3.31 傍陽中央 簡水に統合	創 設	S26.06.28	長野県指令 26河 第912号	S26.08	S27.04	1,808	S35	250	150	37.5	-
		創 設	S33.12.01	長野県指令 33環 第283号	S34.04	S35.10	16,230	S44	3,200	150	480	-
	(傍陽中央簡易水 道) H27.3.25 真田上 水道に統合	第1回変更	S62.03.31	長野県指令 61食 第133-26号	S62.06	S62.12	46,200	H6	2,500	220	550.2	-
		第2回変更	H25.07.29	長野県指令 25水 第160-1号	H25.08	H31.03	274,275	H30	1,800	506	910.0	-
		廃 止	H27.03.25									
	(本原簡易水道) H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S30.07.15	長野県指令 30環 第356号	S30.07	S30.08	870	S39	170	150	25.5	-
		第1次拡張	H7.06.26	長野県指令 7食 第29-3号	H7.06	H17.03	830,000	H16	4,700	383	1,800	-
廃 止		H27.03.25										
(傍陽西部簡易水 道) 中組簡水、軽井沢 簡水、松井新田簡 水を廃止統合 H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	S32.06.10	長野県指令 32環 -	-	-	-	S41	640	150	96	-	
	創 設	S35.08.03	長野県指令 35環 -	-	-	-	S44	690	150	103.5	-	
	創 設	S35.12.20	長野県指令 35環 -	-	-	-	S44	130	150	19.5	-	
	第1回変更	H4.05.25	長野県指令 4食 第15-8号	H6.09	H8.03	848,000	H13	800	396	317	-	
	廃 止	H27.03.25										
(三島平専用水道) 飲料水供給施設を 廃止し、専用水道と する H27.3.25 真田上 水道に統合	創 設	H2.03.20	-	-	-	-	H11	98	250	24.5	-	
	第1回変更	H15.03.24	14真上 第127-2号	-	H15.04	-	H24	98	250	24.5	-	
	廃 止	H27.03.25										
真田上水道	統合創設	H27.03.25	長野県指令 26水太 第34-13号	H27.04	H36.03	1,978,671	H36	10,400	796	8,000	4,900	

エ 武石地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m <sup>3</sup> )	一日 平均給水 量 (m <sup>3</sup> )	
武	武石簡易水道	創 設	S43.03.30	長野県指令 42環 第12-26号	-	S43.03	14,000	S53	4,300	274	1,178	-
		第1次変更	S50.06.12	長野県指令 50環衛水 第3-13号	-	S51.04	82,079	S59	4,300	329	1,415	-
		第2次変更	H25.07.29	長野県指令 25水 第160-2号	H25.08	H28.03	264,328	H33	3,930	489	1,920	-
石	獅子ヶ城簡易水道	創 設	S52.03.31	長野県指令 52環水 第8-27号	S52.04	S52.07	-	S61	320	250	80	-
		第1次変更	S61.02.28	長野県指令 60食 第5-19号	S60.12	S63.03	-	H8	340	235	79.9	-
		第2次変更	S62.07.22	長野県指令 60食 第51-5号	S62.06	H4.03	294,813	H9	1,540	203	312.8	-
		第3次変更	H3.11.11	長野県指令 3食 第21-14号	H3.11	H4.03	66,670	H12	2,100	253	531	-
		第4次変更	H5.03.30	長野県指令 5食 第 号	H5.05	H5.09	134,491	H15	2,100	253	531	-

## 2 財政の状況

### (1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	年度		対前年度比
	平成26年度	平成25年度	
水道事業収益	2,911,369,792	12.90%	2,578,737,680
営業収益	2,407,639,310	△0.23%	2,413,256,925
営業外収益	486,677,417	194.10%	165,480,755
特別利益	17,053,065	皆増	-
水道事業費用	2,879,954,844	25.62%	2,292,521,427
営業費用	2,072,504,771	4.19%	1,989,208,057
営業外費用	277,535,230	△8.35%	302,825,120
特別損失	529,914,843	108433.51%	488,250
収支差引額	31,414,948	△89.02%	286,216,253

(税込・単位:円)

項目	年度		対前年度比
	平成26年度	平成25年度	
損益勘定留保資金発生額	666,750,529	△30.40%	957,907,307
減価償却費	1,021,308,636	8.14%	944,400,066
長期前受金戻入	△331,435,689	皆増	-
固定資産除却費	5,074,300	△62.43%	13,507,241
固定資産売却損	-	——	-
固定資産譲渡損	-	——	-
材料売却原価	589,932	皆増	-
繰延勘定償却	-	——	-
固定資産除却損	-	——	-
消費税資本的収支調整額(△)	-	——	-
欠損金(△)	28,786,650	皆増	-
欠損金処理額	-	——	-
その他	-	——	-
損益勘定留保資金補てん額	1,113,977,966	46.49%	760,421,521
過年度不足分補てん額	-	——	-
過年度分修正	-	——	-
損益勘定留保資金残高	2,331,147,534	△16.10%	2,778,374,971

## (2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
資本的収入		360,026,855	99.82%	180,178,300
負担金		92,162,855	166.77%	34,548,300
企業債		121,400,000	516.24%	19,700,000
固定資産売却代金		-	—	-
他会計補助金		70,962,000	△3.05%	73,191,000
出資金		-	皆減	10,895,000
国庫(県)補助金		73,513,000	75.68%	41,844,000
国庫補助金		73,513,000	75.68%	41,844,000
県補助金		-	—	-
返還金		-	—	-
その他資本的収入		1,989,000	皆増	-
資本的支出		1,792,861,323	41.48%	1,267,175,565
建設改良事業費		1,162,864,718	53.36%	758,245,939
企業債償還金		529,996,605	4.14%	508,929,626
開発費		-	—	-
退職給与金		-	—	-
試験研究費		-	—	-
災害損失		-	—	-
返還金		-	—	-
投資		100,000,000	皆増	-
その他資本的支出		-	—	-
収支差引額		△1,432,834,468	31.82%	△1,086,997,265
翌年度繰越充当額		-	—	-

(税込・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
補てん財源		1,432,834,468	31.82%	1,086,997,265
消費税資本的収支調整額		58,844,459	133.58%	25,192,558
繰越工事資金		-	—	-
引継金		-	—	-
引継貯蔵品		-	—	-
損益勘定留保資金		1,113,977,966	46.49%	760,421,521
利益剰余金処分量		260,012,043	△13.73%	301,383,186
減債積立金		260,012,043	△13.73%	301,383,186
建設改良積立金		-	—	-
未処分利益剰余金		-	—	-
その他		-	—	-
補てん不足額		-	—	-

## (3) 財務諸表の推移

## ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
営業収益		2,240,013,766	△2.56%	2,298,954,157
給水収益		2,229,514,803	△2.45%	2,285,400,723
受託工事収益		2,343,800	△35.63%	3,641,143
その他の営業収益		8,155,163	△17.73%	9,912,291
営業費用		2,022,078,561	3.08%	1,961,679,250
原水及び浄水費		320,653,423	7.47%	298,364,976
配水及び給水費		128,988,723	5.18%	122,636,101
水量水器費		54,766,660	△15.81%	65,050,488
受託工事費		2,616,443	5.25%	2,485,896
営業費		63,101,309	2.35%	61,653,354
総係費		424,979,135	△6.31%	453,581,128
減価償却費		1,021,308,636	8.14%	944,400,066
資産減耗費		5,074,300	△62.43%	13,507,241
その他の営業費用		589,932	皆増	-
営業利益・損失		217,935,205	△35.38%	337,274,907
営業外収益		481,560,560	197.43%	161,904,740
受取利息及び配当金		5,414,904	17.41%	4,611,879
加入金		30,314,000	△10.62%	33,916,000
他会計補助金		37,477,000	0.57%	37,263,000
長期前受金戻入		331,435,689	皆増	-
施設管理費		-	-	-
国庫補助金		-	-	-
雑収益		76,918,967	△10.68%	86,113,861
営業外費用		215,420,637	△9.75%	238,702,604
支払利息及び企業債取扱諸費		207,693,238	△6.37%	221,826,347
繰延勘定償却		-	-	-
雑支出		7,727,399	△54.21%	16,876,257
経常利益・損失		484,075,128	85.84%	260,477,043
特別利益		17,053,065	皆増	-
固定資産売却益		-	-	-
過年度損益修正益		-	-	-
その他の特別利益		17,053,065	皆増	-
特別損失		529,914,843	113860.18%	465,000
固定資産売却損		-	-	-
過年度損益修正損		-	-	-
固定資産譲渡損		-	-	-
固定資産除却損		-	-	-
臨時損失		-	-	-
その他の特別損失		529,914,843	皆増	-
災害復旧費		-	皆減	465,000
当年度純利益・損失		△28,786,650	△111.07%	260,012,043
前年度繰越利益剰余金・欠損金		-	-	-
その他未処分利益剰余金変動額		5,804,392,750	皆増	-
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		5,775,606,100	2121.28%	260,012,043

イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
利益剰余金 (減債積立金)	前年度繰入額	260,012,043	△13.73%	301,383,186
	前年度処分額	260,012,043	△13.73%	301,383,186
	前年度末残高	-	—	-
	積立金合計	-	—	-
	前年度利益剰余金処分額	260,012,043	△13.73%	301,383,186
	減債積立金	260,012,043	△13.73%	301,383,186
	前年度欠損金処理額	-	—	-
	前年度純利益・損失	△28,786,650	△111.07%	260,012,043
	前年度減債積立金からの組入れ	260,012,043	皆増	
	会計制度移行処理	5,544,380,707	皆増	
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	5,775,606,100	2121.28%	260,012,043	
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	13,120,642
	前年度処分額	215,024,055	皆増	-
	前年度末残高	147,732	△99.93%	215,171,787
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	1,561,631,826
	前年度処分額	1,720,868,506	皆増	-
	前年度末残高	1,467,788	△99.91%	1,722,336,294
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	723,183,966
	前年度処分額	1,256,565,037	皆増	-
	前年度末残高	-	皆減	1,256,565,037
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	5,233,309,218
	前年度処分額	5,691,815,153	皆増	-
	前年度末残高	-	皆減	5,691,815,153
剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	120,776,693
	前年度処分額	274,611,076	皆増	-
	前年度末残高	1,571,646	△99.43%	276,182,722
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	5,430,665,569
	前年度処分額	5,430,856,105	皆増	-
	前年度末残高	-	皆減	5,430,856,105
翌年度繰越資本剰余金	3,187,166	△99.98%	14,592,927,098	

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	平成26年度末		平成25年度末
			対前年度比	
固	定 資 産	26,026,041,339	△2.17%	26,602,448,653
有	形 固 定 資 産	25,793,650,645	△2.54%	26,465,133,004
	土地	754,425,702	0.03%	754,183,686
	建物	2,002,405	0.00%	2,002,405
	構築物	429,603,280	△4.97%	452,060,093
	機械及び装置	23,063,521,835	△4.00%	24,024,147,789
	車両運搬具	1,410,836,031	29.28%	1,091,333,414
	器具及び備品	40,391,589	8.75%	37,143,151
	建設仮勘定	45,756,466	△9.32%	50,458,177
無	形 固 定 資 産	47,113,337	△12.44%	53,804,289
	電話加入権	132,375,694	△3.59%	137,300,649
	施設利用権	1,252,000	0.00%	1,252,000
	水利権	130,116,194	△3.59%	134,963,649
	その他無形固定資産	1,007,500	△7.14%	1,085,000
投	資 産	-	-	-
投	資 産 有 価 証 券	100,015,000	666666.67%	15,000
破	産 更 生 債 権	100,015,000	666666.67%	15,000
貸	倒 引 当 金	23,247,369	皆増	-
		△23,247,369	皆増	-
流	動 資 産	3,666,803,176	△6.38%	3,916,861,662
現	金 及 び 預 金	3,356,097,363	△5.01%	3,532,922,654
未	収 入 金	268,908,621	△14.57%	314,779,587
	営業未収金	247,418,892	△13.65%	286,531,042
	貸倒引当金	△45,755,563	皆増	-
	営業外未収金	1,239,532	△92.79%	17,180,245
貯	蔵 品	66,005,760	496.35%	11,068,300
	原量	17,065,192	4.05%	16,400,621
	材料	14,760,658	15.65%	12,763,072
	水	2,304,534	△36.65%	3,637,549
前	払 金 器	24,732,000	△53.12%	52,758,800
そ	の 他 流 動 資 産	-	-	-
繰	延 勘 定 費	-	-	-
	開 発 費	-	-	-
	資 産 合 計	29,692,844,515	△2.71%	30,519,310,315
固	定 負 債	8,616,127,167	1347.94%	595,061,143
企	業 債	7,671,862,167	皆増	-
建	設 改 良 等 企 業 債	7,671,862,167	皆増	-
引	当 金	944,265,000	58.68%	595,061,143
	修繕引当金	387,070,743	△13.18%	445,853,943
	退職給与引当金	557,194,257	273.44%	149,207,200
流	動 負 債	937,634,033	237.07%	278,174,281
企	業 債	551,336,615	皆増	-
建	設 改 良 等 企 業 債	551,336,615	皆増	-
未	払 金	353,774,773	27.71%	277,021,643
	営業未払金	90,407,430	△10.80%	101,351,559
	営業外未払金	13,281,700	△5.23%	14,014,000
	その他未払金	250,085,643	54.70%	161,656,084
	引 当 金	27,974,000	皆増	-
	賞与引当金	23,918,000	皆増	-
	法定福利費引当金	4,056,000	皆増	-
	その他の流動負債	4,548,645	294.63%	1,152,638
	預り金	4,548,645	294.63%	1,152,638
繰	延 収 益	8,198,949,686	皆増	-
長	期 前 受 金	14,809,369,020	皆増	-
収	益 化 累 計 額 ( △ )	△6,610,419,334	皆増	-
負	債 合 計	17,752,710,886	1932.98%	873,235,424

資	本	金	6,161,340,363	△58.35%	14,793,135,750								
自	己	資	本	金	6,161,340,363	0.00%	6,161,340,363						
引	繼	資	本	金	4,553,407,544	0.00%	4,553,407,544						
繰	入	資	本	金	71,432,500	0.00%	71,432,500						
組	入	資	本	金	1,536,500,319	0.00%	1,536,500,319						
借	入	資	本	金	-	皆減	8,631,795,387						
企	業	業	業	債	-	皆減	8,631,795,387						
剩	余	金	5,778,793,266	△61.09%	14,852,939,141								
資	本	剩	余	金	3,187,166	△99.98%	14,592,927,098						
受	贈	財	産	評	価	額	147,732	△99.93%	215,171,787				
国	庫	(	県	)	補	助	金	1,467,788	△99.91%	1,722,336,294			
他	会	計	補	助	金	-	皆減	1,256,565,037					
工	事	負	担	金	-	皆減	5,691,815,153						
他	会	計	負	担	金	1,571,646	△99.43%	276,182,722					
そ	の	他	資	本	的	収	入	-	皆減	5,430,856,105			
利	益	剩	余	金	5,775,606,100	2121.28%	260,012,043						
当	年	度	未	処	分	利	益	剩	余	金	5,775,606,100	2121.28%	260,012,043
未	処	理	欠	損	金								
資	本	合	計	11,940,133,629	△59.72%	29,646,074,891							
負	債	資	本	合	計	29,692,844,515	△2.71%	30,519,310,315					

## (4) 資金の推移

(単位:円)

項目	年度		対前年度比
	平成26年度	平成25年度	
受 入 資 金	2,897,013,151	2,764,952,029	4.78%
事 業 収 益	2,347,477,827	2,343,446,305	0.17%
前 年 度 未 収 金	247,217,961	248,925,771	△0.69%
企 業 債 金	121,400,000	19,700,000	516.24%
国 庫 補 助 金	43,975,000	36,434,000	20.70%
工 事 負 担 金	41,338,920	15,570,000	165.50%
他 会 計 補 助 金	70,962,000	73,191,000	△3.05%
そ の 他 資 本 的 収 入	-	-	-
他 会 計 負 担 金	16,986,695	15,646,300	8.57%
前 払 金 戻 入	22,977	8,329	175.87%
契 約 保 証 金	7,583,660	1,067,750	610.25%
還 付 預 り 金	-	1,174	皆減
そ の 他 預 り 金	-	48,300	皆減
資 産 売 却 代 金	-	-	-
事 業 費 戻 入	48,111	18,100	165.81%
資 本 的 支 出 戻 入	-	-	-
固 定 資 産 売 却 代 金	-	-	-
一 般 会 計 出 資 金	-	10,895,000	皆減
支 払 資 金	3,073,838,442	2,513,160,899	22.31%
事 業 費 用	1,111,192,156	1,110,733,711	0.04%
前 年 度 未 払 金	263,007,643	173,626,614	51.48%
貯 蔵 品	18,368,085	21,330,148	△13.89%
建 設 改 良 費	743,693,030	466,638,199	59.37%
企 業 債 償 還 金	529,996,605	508,929,626	4.14%
引 当 金 取 崩 金	74,030,143	5,177,444	1329.86%
短 期 貸 付 金	-	-	-
前 払 金	228,293,640	222,548,450	2.58%
契 約 保 証 金 返 還	3,055,760	687,750	344.31%
還 付 金	2,201,380	3,391,357	△35.09%
そ の 他 預 り 金	-	97,600	皆減
有 価 証 券 購 入 費	100,000,000	-	皆増
収 支 差 引 額	△176,825,291	251,791,130	△170.23%
前 年 度 末 現 金 預 金 残 高	3,532,922,654	3,281,131,524	7.67%
当 年 度 末 現 金 預 金 残 高	3,356,097,363	3,532,922,654	△5.01%



## (5) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
経常費用		2,237,499,198	1.69%	2,200,381,854
受託工事費 材料及び不用品売却原価		2,616,443 -	5.25%	2,485,896 -
費用合計		2,234,882,755	1.68%	2,197,895,958

項目	年度	平成26年度			平成25年度	
			構成比	対前年度比		構成比
費用合計		2,234,882,755	100.00%	1.68%	2,197,895,958	100.00%
維持管理費		1,005,880,881	45.01%	△2.50%	1,031,669,545	46.94%
職員給与費		369,040,792	16.51%	△7.27%	397,981,751	18.11%
動力費		111,908,787	5.01%	7.87%	103,746,491	4.72%
光熱水費		6,074,973	0.27%	10.42%	5,501,937	0.25%
通信運搬費		20,406,972	0.91%	2.99%	19,815,230	0.90%
修繕費		184,091,835	8.24%	△4.84%	193,452,709	8.80%
材料費		7,995,878	0.36%	440.06%	1,480,555	0.07%
薬品費		14,545,636	0.65%	△1.79%	14,810,497	0.67%
路面復旧費		-	0.00%	-	-	0.00%
委託料		132,925,610	5.95%	11.11%	119,637,033	5.44%
その他		158,890,398	7.11%	△9.33%	175,243,342	7.97%
資本費		1,229,001,874	54.99%	5.38%	1,166,226,413	53.06%
支払利息		207,693,238	9.29%	△6.37%	221,826,347	10.09%
減価償却費		1,021,308,636	45.70%	8.14%	944,400,066	42.97%

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
A 費用合計 (円)		2,234,882,755	1.68%	2,197,895,958
B 年間有収水量 (m <sup>3</sup> )		14,626,504	△2.27%	14,965,999
給水原価 (A/B) (円/m <sup>3</sup> )		150.00	2.14%	146.86

## (6) 固定資産の推移

### ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	平成26年度		平成25年度
	対前年度比		
土地	754,425,702	0.03%	754,183,686
施設用地	754,425,702	0.03%	754,183,686
立木	2,002,405	0.00%	2,002,405
建物	429,603,280	△4.97%	452,060,093
事務所用建物	22,825,378	△4.92%	24,005,721
施設用建物	401,306,328	△4.93%	422,111,157
その他建物	5,471,574	△7.94%	5,943,215
構築物	23,063,521,835	△4.00%	24,024,147,789
原水及び浄水設備	2,693,998,959	△9.17%	2,966,041,208
配水設備	20,369,522,876	△3.27%	21,058,106,581
機械及び装置	1,410,836,031	29.28%	1,091,333,414
電気設備	235,623,124	204.67%	77,337,760
ポンプ設備	111,390,559	△16.19%	132,911,321
塩素滅菌設備	36,472,947	△11.62%	41,270,182
量水器	120,307,141	△2.55%	123,460,928
その他機械装置	907,042,260	26.62%	716,353,223
車両運搬具	40,391,589	8.75%	37,143,151
工具器具及び備品	45,756,466	△9.32%	50,458,177
建設仮勘定	47,113,337	△12.44%	53,804,289

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

### イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	平成26年度		平成25年度
	対前年度比		
電話加入権	1,252,000	0.00%	1,252,000
施設利用権	130,116,194	△3.59%	134,963,649
水利権	1,007,500	△7.14%	1,085,000

### ウ 投資

(単位:円)

資産名	平成26年度		平成25年度
	対前年度比		
投資有価証券	100,015,000	666666.67%	15,000

## (7) 企業債残高の推移

## ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
財政融資資金	特別会計からの引継ぎ額	-	-	-
	借入額	-	-	-
	返済額	362,495,610	3.93%	348,787,057
	年度末未償還残高	5,661,481,194	△6.02%	6,023,976,804
地方公共団体 金融機構	特別会計からの引継ぎ額	-	-	-
	借入額	121,400,000	516.24%	19,700,000
	返済額	167,500,995	4.59%	160,142,569
	年度末未償還残高	2,561,717,588	△1.77%	2,607,818,583
合計	特別会計からの引継ぎ額	-	-	-
	借入額	121,400,000	516.24%	19,700,000
	返済額	529,996,605	4.14%	508,929,626
	年度末未償還残高	8,223,198,782	△4.73%	8,631,795,387

## イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
1%未満		120,400,000	511.17%	19,700,000
1.0%以上2.0%未満		2,129,693,715	△3.83%	2,214,582,285
2.0%以上3.0%未満		4,036,240,964	△5.22%	4,258,621,357
3.0%以上4.0%未満		1,003,477,288	△7.85%	1,088,920,451
4.0%以上5.0%未満		933,386,815	△11.10%	1,049,971,294
5.0%以上6.0%未満		-	-	-
6.0%以上7.0%未満		-	-	-
7.0%以上7.5%未満		-	-	-
7.5%以上8.0%未満		-	-	-
8.0%以上		-	-	-

## (8) 繰入金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
損益勘定 繰入金	営業収益	149,069	△85.83%	1,052,228
	基準内繰入金	149,069	△85.83%	1,052,228
	基準外繰入金	-	-	-
資本勘定 繰入金	営業外収益	37,477,000	0.57%	37,263,000
	基準内繰入金	37,452,000	0.61%	37,226,000
	基準外繰入金	25,000	△32.43%	37,000
繰入金	計	37,626,069	△36.93%	59,658,742
	基準内繰入金	37,601,069	△1.77%	38,278,228
	基準外繰入金	25,000	△32.43%	37,000
資本勘定繰入金		92,587,895	△15.20%	109,187,174
	基準内繰入金	91,743,895	△11.27%	103,392,700
	基準外繰入金	844,000	△8.16%	919,000
合計		130,213,964	△22.88%	168,845,916
	基準内繰入金	129,344,964	△8.70%	141,670,928
	基準外繰入金	869,000	△9.10%	956,000

(9) 経営分析

ア 労働の生産性

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	8,582	↓463	9,045	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	同規模事業者平均			8,292		
	全国平均			8,565		
労働生産性 (千円)	上田市	52,093	↓156	52,249	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示し、高いほどよい。
	同規模事業者平均			80,025		
	全国平均			68,619		
労働分配率 (%)	上田市	16.47	↓0.84	17.31	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	同規模事業者平均			10.36		
	全国平均			12.48		
職員1人あたり有収水量 (m <sup>3</sup> /人)	上田市	340,151	↑15	340,136	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	同規模事業者平均			461,532		
	全国平均			376,722		

イ 施設の効率性

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	52.22	↓1.84	54.06	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			62.45		
	全国平均			60.39		
負荷率 (%)	上田市	83.38	↓1.89	85.27	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	同規模事業者平均			87.63		
	全国平均			87.47		
最大稼働率 (%)	上田市	62.64	↓0.76	63.40	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いため、注意が必要である。
	同規模事業者平均			71.26		
	全国平均			69.04		
有収率 (%)	上田市	84.12	↑0.79	83.33	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$	配水量のうち、実際に料金収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	同規模事業者平均			89.76		
	全国平均			90.07		
配水管使用効率 (m <sup>3</sup> /m)	上田市	17.12	↓0.63	17.75	$\frac{\text{年間配水量}}{\text{管路総延長}}$	管1mあたり、年間どのくらいの水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	同規模事業者平均			20.53		
	全国平均			22.80		

ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	0.73	↓0.38	1.11	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			1.01		
	全国平均			1.11		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	9.73	↓4.94	14.67	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			10.05		
	全国平均			10.81		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.07	↓0.01	0.08	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			0.10		
	全国平均			0.10		
経常収支比率 (%)	上田市	121.63	↑9.79	111.84	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	経常的な収益・費用の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	同規模事業者平均			108.44		
	全国平均			108.76		
供給単価 (円/m)	上田市	152.43	↓0.28	152.71	$\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}}$	料金対象水量1m当たりの料金。高いほど料金水準が高いことを示す。
	同規模事業者平均			165.04		
	全国平均			171.85		
給水原価 (円/m)	上田市	152.76	↑5.90	146.86	$\frac{\text{給水費用}}{\text{有収水量}}$	水を1m供給するためのコスト。高いほど料金水準を高くする必要がある。
	同規模事業者平均			164.93		
	全国平均			173.18		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	33.09	↑1.12	31.97	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	同規模事業者平均			22.73		
	全国平均			27.41		
企業債 元金償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	23.77	↑1.50	22.27	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	料金収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			16.63		
	全国平均			20.59		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	9.32	↓0.39	9.71	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	料金収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			6.11		
	全国平均			6.82		
減価償却率 (%)	上田市	3.91	↑0.38	3.53	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	同規模事業者平均			3.51		
	全国平均			3.59		

(注) 平均経営資本=(総資本(負債資本合計)-建設仮勘定-投資)の前年度末と当年度末の平均

(注) 給水費用=経常費用-(受託工事費+附帯事業費+材料及び不用品売却原価)

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	87.65	↑0.48	87.17	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	同規模事業者平均			87.60		
	全国平均			89.07		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	93.70	↑24.84	68.86	$\frac{\text{資本+繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	同規模事業者平均			72.02		
	全国平均			69.20		
固定比率 (%)	上田市	217.97	↑91.38	126.59	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかをみる指標。理論上では100%以下が望ましい。
	同規模事業者平均			121.64		
	全国平均			128.73		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	40.09	↑9.86	30.23	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			26.08		
	全国平均			28.64		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	90.51	↑2.54	87.97	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債+繰延収益}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	同規模事業者平均			89.30		
	全国平均			91.05		
流動比率 (%)	上田市	391.07	↓1,016.99	1,408.06	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	同規模事業者平均			648.09		
	全国平均			503.22		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	386.61	↓996.59	1,383.20	$\frac{\text{現金預金+（未収金-貸倒引当金）}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			594.39		
	全国平均			425.98		

(注) この表では、借入資本金を資本ではなく固定負債に分類して算出を行っている。

\* 同規模事業者平均は、給水人口10万人以上15万人未満の事業者の平均である。

\* 全国平均は、末端給水事業(上水道事業のみ)の平均である。

\* 出典:地方公営企業年鑑

### 3 業務の状況

#### (1) 業務量

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
A 行政区域内人口 (人)	159,828	△0.63%	160,839
B 給水区域内人口 (人)	136,183	△0.64%	137,066
C 年度末給水人口 (人)	135,913	△0.63%	136,775
C/A 普及率 (対行政区域内) (%)	85.04	/	85.04
C/B 普及率 (対給水区域内) (%)	99.80		99.79
D 給水区域内戸数 (戸)	56,490	0.42%	56,255
E 年度末給水戸数 (戸)	56,382	0.43%	56,139
E/D 普及率 (%)	99.81	/	99.79
F 年間配水量 (m <sup>3</sup> )	17,387,872	△3.18%	17,959,805
G 年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	14,626,504	△2.27%	14,965,999
G/F 有収率 (%)	84.12	/	83.33
供給単価 (円/m <sup>3</sup> )	152.43	/	152.71
給水原価 (円/m <sup>3</sup> )	150.00	/	146.86
薬品及び電力使用量			
滅菌用次亜塩素酸ソーダ (kg)	138,260	△5.90%	146,924
沈澱用ポリ塩化アルミニウム (kg)	124,500	△5.03%	131,100
ポリシカ鉄凝集剤 (kg)	95,920	△10.81%	107,540
揚水電力量 (kwh)	5,680,930	△4.21%	5,930,497
水道料金調定件数 (件)	361,219	0.46%	359,576

(注) 人口は、外国人登録者を含む。

#### (2) 給水人口の推移

(単位:人)

事業	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
上田水道事業		98,823	△0.34%	99,156
丸子水道事業		22,479	△1.40%	22,799
真田水道事業		10,544	△1.46%	10,700
岩清水簡易水道事業		184	△4.17%	192
深山簡易水道事業		124	△0.80%	125
	小計	132,154	△0.62%	132,972
武石簡易水道事業		3,741	△1.14%	3,784
獅子ヶ城簡易水道事業		18	△5.26%	19
	計	135,913	△0.63%	136,775

(3) 加入金の状況  
(税込・単位:円)

口径	期間 平成26年4月1日～
13mm	49,680
20mm	124,200
25mm	248,400
30mm	356,400
40mm	680,400
50mm	1,296,000
75mm	3,348,000
100mm	4,536,000
125mm以上	管理者が別に定める額
備考	消費税改正に伴う改定

(4) 収納状況の推移

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
				前年との差		
平成25年度	2,399,670,756	2,367,056,110	32,614,646	98.64%	△0.10	15,178,791
平成26年度	2,397,092,915	2,376,497,927	20,594,988	99.14%	0.50	14,839,982

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

(5) 水道料金の納付方法の推移(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	平成26年度		平成25年度	
		構成比	対前年度比	構成比	
口座振替	31,380	82.85%	0.72%	31,155	82.02%
直接納付	6,497	17.15%	△4.88%	6,830	17.98%
コンビニエンスストア	4,770	12.59%	4.61%	4,560	12.00%
その他	1,727	4.56%	△23.92%	2,270	5.98%
合計	37,877	100.00%	△0.28%	37,985	100.00%

(注) 旧上田市で実施していたコンビニ収納を平成18年7月から全地域で始めた。

## (6) 口径別有収水量・調定件数・調定額

## ア 有収水量

(単位: m<sup>3</sup>)

	平成26年度			平成25年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	9,992,662	68.32%	△1.99%	10,195,804	68.13%
20mm	903,783	6.18%	△3.72%	938,682	6.27%
25mm	732,279	5.01%	△0.95%	739,268	4.94%
30mm	269,652	1.84%	△0.97%	272,301	1.82%
40mm	669,727	4.58%	△1.00%	676,511	4.52%
50mm	851,042	5.82%	△9.00%	935,243	6.25%
75mm	965,231	6.60%	1.24%	953,442	6.37%
100mm	212,340	1.45%	△5.89%	225,630	1.51%
125mm	0	0.00%	#DIV/0!	0	0.00%
150mm	29,788	0.20%	2.30%	29,118	0.19%
合計	14,626,504	100.00%	△2.27%	14,965,999	100.00%

## イ 調定件数

(単位: 件)

	平成26年度			平成25年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	333,602	92.35%	0.43%	332,158	92.37%
20mm	16,869	4.67%	1.03%	16,697	4.64%
25mm	6,395	1.77%	0.30%	6,376	1.77%
30mm	1,154	0.32%	1.23%	1,140	0.32%
40mm	1,731	0.48%	0.82%	1,717	0.48%
50mm	987	0.27%	△1.10%	998	0.28%
75mm	406	0.11%	△2.17%	415	0.12%
100mm	69	0.02%	0.00%	69	0.02%
125mm	0	0.00%	#DIV/0!	0	0.00%
150mm	6	0.00%	0.00%	6	0.00%
合計	361,219	100.00%	0.46%	359,576	100.00%

## ウ 調定額 (税込)

(単位: 円)

	平成26年度			平成25年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	1,433,820,773	59.81%	△0.17%	1,436,299,609	59.85%
20mm	169,511,142	7.07%	△1.01%	171,240,495	7.14%
25mm	146,523,506	6.11%	1.84%	143,877,454	6.00%
30mm	58,950,794	2.46%	△2.52%	60,477,577	2.52%
40mm	150,999,878	6.30%	3.38%	146,061,805	6.09%
50mm	182,482,195	7.61%	△5.26%	192,622,164	8.03%
75mm	200,908,275	8.38%	3.39%	194,315,151	8.10%
100mm	46,854,968	1.95%	△2.44%	48,026,447	2.00%
125mm	0	0.00%	#DIV/0!	0	0.00%
150mm	7,041,384	0.29%	4.32%	6,750,054	0.28%
合計	2,397,092,915	100.00%	△0.11%	2,399,670,756	100.00%



## (7) 用途別有収水量・調定件数・調定額

## ア 有収水量

(単位: m<sup>3</sup>)

	平成26年度	
		構成比
家庭用	11,124,991	76.06%
浴場用	21,286	0.15%
官公署用	372,770	2.55%
学校用	252,779	1.73%
病院用	306,895	2.10%
事務所用	305,513	2.09%
営業用	1,394,198	9.53%
工場用	749,789	5.13%
その他	98,283	0.67%
合計	14,626,504	100.00%

## イ 調定件数

(単位: 件)

	平成26年度	
		構成比
家庭用	336,484	93.15%
浴場用	24	0.01%
官公署用	3,669	1.02%
学校用	391	0.11%
病院用	996	0.28%
事務所用	5,957	1.65%
営業用	9,127	2.53%
工場用	2,215	0.61%
その他	2,356	0.65%
合計	361,219	100.00%

## ウ 調定額 (税込)

(単位: 円)

	平成26年度	
		構成比
家庭用	1,665,895,116	69.50%
浴場用	4,082,116	0.17%
官公署用	88,972,676	3.71%
学校用	62,037,986	2.59%
病院用	61,624,151	2.57%
事務所用	68,832,209	2.87%
営業用	272,877,957	11.38%
工場用	150,377,986	6.27%
その他	22,392,718	0.93%
合計	2,397,092,915	100.00%

## (8) 公衆浴場組合補助金の状況

年度	組合員数	使用水量 (m <sup>3</sup> )	補助金額 (円)	対前年比 (%)
25	2	3,132	503,000	
26	2	2,622	446,000	88.7

出典: 生活環境課

## (9) 県営水道料金差額補助金の状況

年度	件数 (件)	補助金額 (円)	対前年比 (%)
25	5,424	17,301,762	
26	5,511	17,672,516	102.1

出典: 市民課

## 4 施設の現況

### (1) 水源(水利権等の許可状況)

水源名	種別	位置	河川名	水利権 許可年月日	取水量 (m <sup>3</sup> /日)
泉町水源	表流水	上田市小牧字坂下969-8	千曲川	平成24.4.9	36,288
新屋水源	表流水	上田市上野字堀越1789-2	神川(菅平ダム)	平成24.4.9	20,995
真田水源	表流水	上田市真田町長字下中井3784-5	神川(菅平ダム)	平成24.4.9	8,985
室賀水源	湧水	上田市上室賀字氷沢2987-1			290
岩清水水源	湧水	上田市殿城			50
依田川水源	表流水	上田市腰越字繁倉848-1	依田川	平成20.5.12	12,900
内村川水源	表流水	上田市西内字熊倉1766-11	内村川(内村ダム)	平成20.5.12	2,900
深山水源	湧水	上田市腰越			360
つちや水源	湧水	上田市真田町長1278-イ-5			6,000
滝の入水源	湧水	上田市真田町長1278-2661			3,800
おぼこ 産子清水水源	湧水	上田市菅平高原1223-1495			300
裏ダボス水源	深井戸	上田市菅平高原1223-2344			400
宮浦水源	湧水	上田市真田町長1106			25.5
和熊水源	湧水	上田市真田町長1793-2			120
角間水源	湧水	上田市真田町長2808-3			642
旗見原水源	湧水	上田市真田町長4682			195.1
松井新田水源	深井戸	上田市真田町傍陽9052			317
こはさま 小裕水源	湧水	上田市真田町傍陽3571-3570			16.5
大松水源	湧水	上田市真田町傍陽国有林班48-3			600
菅ノ沢水源	湧水	上田市真田町傍陽1905-3			42
奈良尾第1水源	湧水	上田市真田町本原国有林班28-イ			600
奈良尾第2水源	表流水	上田市真田町本原4524-1	大沢川	平成26.4.1	1,400
長坂水源	湧水	上田市武石上本入2384-1			187
唐沢水源	湧水	上田市武石上本入1520			1,425
権現水源	湧水	上田市武石上本入572			176
余里水源	湧水	上田市武石余里1035-二			87
獅子ヶ城第1水源	深井戸	上田市武石小沢根576-46			80
獅子ヶ城第2水源	深井戸	上田市武石小沢根576-631			239
獅子ヶ城第3水源	湧水	上田市武石小沢根576-627			475
合計					99,895.1

(2) 取水施設(表流水)

ア 泉町水源地 (上田水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	上田農水頭首工	
水利権取水量	0.42m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
沈砂池	RC造 2,100m <sup>3</sup>	1池
ポンプ井	RC造 118m <sup>3</sup>	1池

イ 新屋取入口 (上田水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
水利権取水量	0.243m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
分水槽	RC造 7.0m <sup>3</sup>	1池
沈砂池	RC造 362m <sup>3</sup>	1池

ウ 真田取入口 (上田水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	真田水源頭首工	
水利権取水量	0.104m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	
沈砂池	RC造 102m <sup>3</sup>	1池

エ 依田川取入口 (丸子水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	依田川頭首工	
水利権取水量	0.149m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	

オ 内村ダム取入口 (丸子水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
名称	内村ダム	
水利権取水量	0.034m <sup>3</sup> /s	
専用又は供用	供用	

カ 奈良尾第2水源地 (本原簡易水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
水利権取水量	0.0162m <sup>3</sup> /s	
沈砂池	RC造 37.2m <sup>3</sup>	1池

### (3) 浄水施設

#### ア 染屋浄水場

位置 上田市古里2250番地

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 56,500m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力46,800m <sup>3</sup> /日)	
着水井	RC造 79m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 70m <sup>3</sup>	1池
ブロック形成池	RC造 1,594m <sup>3</sup>	1池
沈殿池	傾斜板方式 4,779m <sup>3</sup>	1池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 780m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 4.0~6.0m/日	13池
次亜塩素素注入機	150cc/分 340cc/分	4台、2台
配水池	RC造 2,000m <sup>3</sup> 、PC造 6,000m <sup>3</sup> 、PC造 4,800m <sup>3</sup> 、PC造 4,800m <sup>3</sup>	4池
排水処理施設	加圧脱水機 206m <sup>3</sup> /日	1式
管理棟	RC造 2階建 280m <sup>2</sup> 、123.9m <sup>2</sup>	2棟
水質検査棟	RC造 2階建 331.9m <sup>2</sup>	1棟

#### イ 石舟浄水場

位置 上田市真田町長4100番地

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 9,000m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力9,000m <sup>3</sup> /日)	
着水井	RC造 17.2m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 12.0m <sup>3</sup>	1池
ブロック形成池	RC造 387m <sup>3</sup>	1池
沈殿池	RC造 4,250m <sup>3</sup>	1池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 780m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 4.0~6.0m/日	5池
次亜塩素素注入機	240cc/分	2台
配水池	PC造 2,400m <sup>3</sup> 、PC造 2,100m <sup>3</sup>	2池
管理棟	RC造 2階建 280m <sup>2</sup>	1棟

#### ウ 腰越浄水場

位置 上田市腰越845番地

(緩速系) 建設年月日:昭和35年12月1日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 4,200m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力4,200m <sup>3</sup> /日)	
沈砂池	RC造 15m <sup>3</sup>	1池
着水井	RC造 30m <sup>3</sup>	1池
ブロック形成池	RC造 204m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 904m <sup>3</sup>	2池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 300m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 3.0~6.0m/日	4池
次亜塩素素注入機	55cc/分	2台
配水池	RC造 1,880m <sup>3</sup>	2池

エ 腰越浄水場  
(急速系)

建設年月日:昭和51年3月31日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 8,200m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力8,200m <sup>3</sup> /日)	
沈砂池	RC造 145m <sup>3</sup>	2池
着水井	RC造 40m <sup>3</sup>	1池
混和池	RC造 19m <sup>3</sup>	1池
フロック形成池	RC造 233m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 548m <sup>3</sup>	2池
急速ろ過池	RC造 ろ過面積 23.1m <sup>2</sup> /池、ろ過速度 70m~120m/日	4池
次亜塩注入機	88cc/分	2台
配水池	RC造 1,770m <sup>3</sup>	2池
管理棟	RC造 2階建 1,473m <sup>2</sup>	1棟

オ 鹿教湯浄水場

建設年月日:昭和59年3月31日

位置 上田市西内1766番地13

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 2,800m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力2,800m <sup>3</sup> /日)	
着水井	RC造 46.0m <sup>3</sup>	1井
混和池	RC造 8.4m <sup>3</sup>	1池
フロック形成池	RC造 76m <sup>3</sup>	2池
沈殿池	RC造 173m <sup>3</sup>	2池
急速ろ過池	RC造 4.2m <sup>2</sup> ろ過速度50~80m/日	8池
次亜塩注入機	18cc/分 55cc/分	2台 2台
配水池	RC造 1,560m <sup>3</sup>	2池
管理棟	RC造 2階建 1,028.8m <sup>2</sup>	1棟

カ 赤井浄水場

建設年月日:平成8年3月20日

位置 上田市真田町本原3703番地

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 1,800m <sup>3</sup> /日、(現況浄水能力1,800m <sup>3</sup> /日)	
循環水槽	RC造 26m <sup>3</sup>	1池
浄水機	膜ろ過浄水能力300m <sup>3</sup> /日	6基
次亜塩注入機	16cc/分	8基
機械室	鉄骨造 264m <sup>2</sup>	1棟

(4) 配水池・ポンプ施設

染屋系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
染屋第1	1	RC	2,000			
染屋第2	1	PC	6,000			
染屋第3	1	PC	4,800			
染屋第4	1	PC	4,800			
泉町				3	送水	36,000
須川	1	RC	38	2	送水	144
倉升第1	1	RC	560	2	送水	4,320
倉升第2	1	PC	1,500			
久保田				2	送水	2,880
半過	1	RC	77	2	送水	324
越戸	1	RC	64			
上洞	1	RC	35	2	送水	302
岡第1	1	RC	64			
岡第2	1	PC	840			
岡第3	1	PC	500			
浦野	2	RC	280			
上室賀第1	2	RC	157	2	送水	907
上室賀第2	2	RC	16	2	送水	504
神科	1	PC	2,500	2	送水	4,608
(小計)	20		24,231	19		49,989

石舟系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
石舟第1	1	PC	2,100			
石舟第2	1	PC	2,400			
小井田第1	1	RC	570			
小井田第2	1	PC	2,500			
大目木	1	RC	400			
赤坂	1	RC	130	2	送水	216
樋之沢	1	RC	110			
北部	1	RC	300			
大屋	1	RC	160			
氷沢	1	RC	17	2	送水	144
滝の宮	1	RC	190			
山口	1	PC	2,000	2	送水	5,328
岩清水	1	RC	63			
長入	1	RC	19			
(小計)	14		10,959	6		5,688

腰越系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
腰越低区第1	1	RC	1,880			
腰越低区第2	1	RC	1,770			
腰越高区	1	PC	700	2	送水	2,736
池の芝第1				3	送水	490
池の芝第2				3	送水	490
池の芝	1	PC	500			
平戸	1	RC	72	2	送水	115
練合	2	RC	45	2	送水	504
新藤原田	1	PC	700			
藤原田	2	RC	150	2	送水	490
箱畳	1	RC	80	2	送水	86
尾野山	1	RC	73	2	送水	432
二本木	1	RC	70			
茂沢	1	RC	70			
須川湖高区	1	RC	40	2	送水	316
須川湖低区	1	RC	40			
郷仕川原	1	RC	10			
上平				3	加圧	432
宮原				3	加圧	576
南方				3	加圧	432
南原				3	加圧	720
茂沢				3	加圧	936
(小計)	17		6,200	35		8,755

鹿教湯系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
鹿教湯浄水	1	RC	1,560			
鹿教湯	1	RC	500			
虚空蔵	1	RC	250			
霊泉寺	1	RC	40	2	送水	216
新屋	1	RC	94			
新屋	1	PC	250			
(小計)	6		2,694	2		216

真田系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
宮浦	1	RC	24			
宮前	1	RC	18	2	加圧	100
和熊	1	RC	39			
角間	1	RC	320			
横沢	1	RC	49			
長谷寺	1	RC	88			
真田	1	PC	500			
横尾	1	RC	79			
三島平	1	RC	50			
横道	2	RC	289			
穴沢高区	1	RC	48	2	送水	91
穴沢低区	1	RC	23			
萩	1	RC	114			
大良	1	RC	18			
松井新田	1	RC	155	1	揚水	800
				2	加圧	864
中組	1	RC	180			
赤井	2	RC	180			
本原中央	1	PC	1,000			
本原中央	1	RC	216			
番匠	1	RC	55			
熊久保	1	RC	9			
(小計)	23		3,454	7		1,855

菅平系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
四阿高原第1				3	送水	3,312
四阿高原第2	1	RC	90	3	送水	2,304
四阿高原加圧P				2	加圧	2,016
高区	1	RC	480			
高原	2	RC	600			
カントリー	1	RC	216	2	送水	600
裏ダボス	1	RC	500	1	送水	400
東組	2	RC	280			
穴水	1	RC	120			
西北	1	RC	180	2	送水	720
大松	1	RC	73	2	送水	403
中ノ沢	1	RC	480			
渋沢	1	RC	50			
(小計)	13		3,069	15		9,755

武石系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
長坂ポンプ室				2	送水	187
内の山ポンプ室				1	加圧	
上本入第1配水池	1	RC	200			
上本入第2配水池	1	RC	90			
上本入第3配水池	1	RC	18			
上本入第4配水池	1	RC	26			
上本入第5配水池	1	RC	18			
中央第1配水池	1	RC	280			
中央第2配水池	1	RC	48			
中央第3配水池	1	PC	400			
中央第3配水池	1	RC	293			
中央第4配水池	1	PC	300			
余里第1配水池	1	RC	90			
余里第2配水池	1	RC	56			
(小計)	12		1,819	3		187

獅子ヶ城系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m <sup>3</sup> )	台数	種類	最大揚水能力 (m <sup>3</sup> /日)
第1水源				1	送水	170
第1送水ポンプ室				2	送水	403
第1配水池	1		100			
第2水源				1	送水	259
第2送水ポンプ室				2	送水	576
第2配水池	1		125			
第3配水池	1		90			
第4配水池	1		156			
第3送水ポンプ室				2	送水	576
第4送水ポンプ室				2	送水	250
第5送水ポンプ室				2	送水	250
(小計)	4		471	12		2,484

(5) 管路延長等の状況

ア 用途・管種別延長

合計		平成26年度			平成25年度
用途・管種	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長	
		布設 布設替増	除却 布設替減		
管路合計	铸铁管	37,666.0	0.0 0.0	0.0 1,024.0	38,690.0
	ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外)	21,011.3	1,372.0 1,844.4	0.0 0.0	17,794.9
	鋼管	28,526.6	0.0 0.0	0.0 410.0	28,936.6
	石綿セメント管	4,983.1	0.0 0.0	0.0 0.0	4,983.1
	硬質塩化ビニル管	108,899.8	0.0 0.0	0.0 362.0	109,261.8
	ポリエチレン管 (HPPE)	26,230.5	1,571.9 2,305.4	0.0 0.0	22,353.2
	ステンレス管	554.4	0.0 0.0	0.0 0.0	554.4
	その他(不詳等)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	導送配水管延長計	943,275.9	2,943.9 4,171.5	0.0 3,040.9	939,201.4

上田地域		平成26年度			平成25年度
用途・管種	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長	
		布設 布設替増	除却 布設替減		
上田地域	铸铁管	37,666.0	0.0 0.0	0.0 1,024.0	38,690.0
	ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外)	17,284.8	1,372.0 1,844.4	0.0 0.0	14,068.4
	鋼管	22,187.4	0.0 0.0	0.0 0.0	22,187.4
	石綿セメント管	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	硬質塩化ビニル管	34,399.1	0.0 0.0	0.0 0.0	34,399.1
	ポリエチレン管 (HPPE)	8,883.8	1,571.9 959.7	0.0 0.0	6,352.2
	ステンレス管	331.4	0.0 0.0	0.0 0.0	331.4
	その他(不詳等)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	導送配水管延長計	525,565.5	2,943.9 2,818.5	0.0 2,234.1	522,037.2

イ 用途・口径別延長

合計		平成26年度			平成25年度
用途・口径	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長	
		布設 布設替増	除却 布設替減		
導水管	300mm未満	29,720.3	0.0 0.0	0.0 0.0	29,720.3
	300以上500mm未満	2,847.3	0.0 0.0	0.0 0.0	2,847.3
	導水管延長計	32,567.6	0.0 0.0	0.0 0.0	32,567.6
送水管	300mm未満	64,949.0	492.8 956.2	0.0 410.0	63,910.0
	送水管延長計	64,949.0	492.8 956.2	0.0 410.0	63,910.0
配水管	75mm	132,753.4	0.0 34.8	0.0 34.8	132,753.4
	100mm	407,055.1	2,198.9 2,138.4	0.0 1,729.5	404,447.3
	125mm	1,817.9	0.0 0.0	0.0 0.0	1,817.9
	150mm	159,343.6	252.2 259.4	0.0 354.3	159,186.3
	200mm	61,645.0	0.0 371.2	0.0 512.3	61,786.1
	250mm	39,137.0	0.0 0.0	0.0 0.0	39,137.0
	300mm	15,995.9	0.0 411.5	0.0 0.0	15,584.4
	350mm	12,481.4	0.0 0.0	0.0 0.0	12,481.4
	400mm	10,136.7	0.0 0.0	0.0 0.0	10,136.7
	450mm	4,860.5	0.0 0.0	0.0 0.0	4,860.5
	500mm	533.0	0.0 0.0	0.0 0.0	533.0
	配水管延長計	845,759.5	2,451.1 3,215.3	0.0 2,630.9	842,724.0
導送配水管延長計	943,276.1	2,943.9 4,171.5	0.0 3,040.9	939,201.6	

上田地域		平成26年度			平成25年度
用途・口径	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長	
		布設 布設替増	除却 布設替減		
上田地域	300mm未満	19,748.3	0.0 0.0	0.0 0.0	19,748.3
	300以上500mm未満	2,847.3	0.0 0.0	0.0 0.0	2,847.3
	導水管延長計	22,595.6	0.0 0.0	0.0 0.0	22,595.6
上田地域	300mm未満	28,506.8	492.8 0.0	0.0 0.0	28,014.0
	送水管延長計	28,506.8	492.8 0.0	0.0 0.0	28,014.0
上田地域	75mm	10,983.3	0.0 0.0	0.0 0.0	10,983.3
	100mm	279,187.2	2,198.9 1,776.4	0.0 1,367.5	276,579.4
	125mm	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	150mm	86,231.8	252.2 259.4	0.0 354.3	86,074.5
	200mm	40,472.7	0.0 371.2	0.0 512.3	40,613.8
	250mm	28,424.1	0.0 0.0	0.0 0.0	28,424.1
	300mm	11,175.9	0.0 411.5	0.0 0.0	10,764.4
	350mm	7,940.1	0.0 0.0	0.0 0.0	7,940.1
	400mm	9,515.0	0.0 0.0	0.0 0.0	9,515.0
	450mm	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	500mm	533.0	0.0 0.0	0.0 0.0	533.0
	配水管延長計	474,463.1	2,451.1 2,818.5	0.0 2,234.1	471,427.6
導送配水管延長計	525,565.5	2,943.9 2,818.5	0.0 2,234.1	522,037.2	

ウ ずい道・水路延長

合計		平成26年度			平成25年度
用途・口径	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長	
		布設 布設替増	除却 布設替減		
ずい道・水路延長	1,314.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,314.0	

上田地域		平成26年度			平成25年度
用途・口径	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長	
		布設 布設替増	除却 布設替減		
ずい道・水路延長	1,314.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,314.0	

エ 消火栓数

合計		平成26年度			平成25年度
種類	年度 設置数	平成26年度		平成25年度 設置数	
		設置数	撤去数		
地上式	2,584	11	16	2,589	
地下式	1,228	24	15	1,219	
合計	3,812	35	31	3,808	

上田地域		平成26年度			平成25年度
種類	年度 設置数	平成26年度		平成25年度 設置数	
		設置数	撤去数		
地上式	596	0	4	600	
地下式	1,194	20	15	1,189	
合計	1,790	20	19	1,789	



丸子地域 (単位:m)

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0
3,327.8	0.0	0.0	3,327.8
116,867.6	0.0 7.3	0.0 0.0	116,860.3
1,524.4	0.0 0.0	0.0 410.0	1,934.4
1,178.6	0.0 0.0	0.0 0.0	1,178.6
41,149.5	0.0 0.0	0.0 0.0	41,149.5
9,899.9	0.0 948.9	0.0 0.0	8,951.0
196.2	0.0 0.0	0.0 0.0	196.2
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
174,144.0	0.0 956.2	0.0 410.0	173,597.8

真田地域

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0
178.4	0.0	0.0	178.4
79,616.9	0.0	0.0	79,616.9
908.2	0.0	0.0	908.2
1,404.5	0.0	0.0	1,404.5
3,249.0	0.0	0.0	3,249.0
649.3	0.0	0.0	649.3
26.8	0.0	0.0	26.8
0.0	0.0	0.0	0.0
86,033.1	0.0	0.0	86,033.1

菅平地域

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0
220.3	0.0	0.0	220.3
57,498.1	0.0	0.0 34.8	57,532.9
1,970.6	0.0	0.0	1,970.6
2,400.0	0.0	0.0	2,400.0
23,216.2	0.0	0.0 362.0	23,578.2
3,462.6	0.0 396.8	0.0 0.0	3,065.8
0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0
88,767.8	0.0 396.8	0.0 396.8	88,767.8

丸子地域 (単位:m)

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
395.0	0.0	0.0	395.0
0.0	0.0	0.0	0.0
395.0	0.0	0.0	395.0
9,328.2	0.0 956.2	0.0 410.0	8,782.0
9,328.2	0.0 956.2	0.0 410.0	8,782.0
36,251.6	0.0	0.0	36,251.6
43,900.0	0.0	0.0	43,900.0
1,190.9	0.0	0.0	1,190.9
42,358.8	0.0	0.0	42,358.8
16,911.3	0.0	0.0	16,911.3
8,964.9	0.0	0.0	8,964.9
4,820.0	0.0	0.0	4,820.0
4,541.3	0.0	0.0	4,541.3
621.7	0.0	0.0	621.7
4,860.5	0.0	0.0	4,860.5
0.0	0.0	0.0	0.0
164,421.0	0.0	0.0	164,421.0
174,144.2	0.0 956.2	0.0 410.0	173,598.0

真田地域

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
6,167.0	0.0	0.0	6,167.0
0.0	0.0	0.0	0.0
6,167.0	0.0	0.0	6,167.0
3,447.0	0.0	0.0	3,447.0
3,447.0	0.0	0.0	3,447.0
35,856.2	0.0	0.0	35,856.2
27,027.9	0.0	0.0	27,027.9
135.0	0.0	0.0	135.0
12,531.0	0.0	0.0	12,531.0
869.0	0.0	0.0	869.0
0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0
76,419.1	0.0	0.0	76,419.1
86,033.1	0.0	0.0	86,033.1

菅平地域

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
130.0	0.0	0.0	130.0
0.0	0.0	0.0	0.0
130.0	0.0	0.0	130.0
19,665.0	0.0	0.0	19,665.0
19,665.0	0.0	0.0	19,665.0
23,187.0	0.0 34.8	0.0 34.8	23,187.0
30,878.8	0.0 362.0	0.0 362.0	30,878.8
492.0	0.0	0.0	492.0
10,964.0	0.0	0.0	10,964.0
1,703.0	0.0	0.0	1,703.0
1,748.0	0.0	0.0	1,748.0
0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0
68,972.8	0.0 396.8	0.0 396.8	68,972.8
88,767.8	0.0 396.8	0.0 396.8	88,767.8

丸子地域 (単位:m)

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0

真田地域

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0

菅平地域

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0	0.0	0.0

丸子地域 (単位:基)

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	設置数	撤去数	
709	5	5	709
30	3	0	27
739	8	5	736

真田地域

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	設置数	撤去数	
618	3	4	619
3	1	0	2
621	4	4	621

菅平地域

年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
	設置数	撤去数	
335	3	3	335
0	0	0	0
335	3	3	335

武石地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
管路合計				
鑄鉄管	0.0	0.0	0.0	0.0
ダクタイル鑄鉄管 (耐震型継手を有す ダクタイル鑄鉄管 (上記以外)	42,934.0	0.0	0.0	42,934.0
鋼管	1,001.0	0.0	0.0	1,001.0
石綿セメント管	0.0	0.0	0.0	0.0
硬質塩化ビニル管	4,880.0	0.0	0.0	4,880.0
ポリエチレン管 (HPIPE)	3,334.9	0.0	0.0	3,334.9
ステンレス管	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(不詳等)	0.0	0.0	0.0	0.0
導送配水管延長計	52,149.9	0.0	0.0	52,149.9

獅子ヶ城地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
管路合計				
鑄鉄管	0.0	0.0	0.0	0.0
ダクタイル鑄鉄管 (耐震型継手を有す ダクタイル鑄鉄管 (上記以外)	13,674.6	0.0	0.0	13,674.6
鋼管	935.0	0.0	0.0	935.0
石綿セメント管	0.0	0.0	0.0	0.0
硬質塩化ビニル管	2,006.0	0.0	0.0	2,006.0
ポリエチレン管 (HPIPE)	0.0	0.0	0.0	0.0
ステンレス管	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(不詳等)	0.0	0.0	0.0	0.0
導送配水管延長計	16,615.6	0.0	0.0	16,615.6

武石地域

用途・口径	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管				
300mm未満	3,215.0	0.0	0.0	3,215.0
300以上500mm未満	0.0	0.0	0.0	0.0
導水管延長計	3,215.0	0.0	0.0	3,215.0
送水管				
300mm未満	0.0	0.0	0.0	0.0
送水管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
配水管				
75mm	24,916.9	0.0	0.0	24,916.9
100mm	15,802.0	0.0	0.0	15,802.0
125mm	0.0	0.0	0.0	0.0
150mm	6,527.0	0.0	0.0	6,527.0
200mm	1,689.0	0.0	0.0	1,689.0
250mm	0.0	0.0	0.0	0.0
300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
350mm	0.0	0.0	0.0	0.0
400mm	0.0	0.0	0.0	0.0
450mm	0.0	0.0	0.0	0.0
500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
配水管延長計	48,934.9	0.0	0.0	48,934.9
導送配水管延長計	52,149.9	0.0	0.0	52,149.9

獅子ヶ城地域

用途・口径	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管				
300mm未満	65.0	0.0	0.0	65.0
300以上500mm未満	0.0	0.0	0.0	0.0
導水管延長計	65.0	0.0	0.0	65.0
送水管				
300mm未満	4,002.0	0.0	0.0	4,002.0
送水管延長計	4,002.0	0.0	0.0	4,002.0
配水管				
75mm	1,558.4	0.0	0.0	1,558.4
100mm	10,259.2	0.0	0.0	10,259.2
125mm	0.0	0.0	0.0	0.0
150mm	731.0	0.0	0.0	731.0
200mm	0.0	0.0	0.0	0.0
250mm	0.0	0.0	0.0	0.0
300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
350mm	0.0	0.0	0.0	0.0
400mm	0.0	0.0	0.0	0.0
450mm	0.0	0.0	0.0	0.0
500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
配水管延長計	12,548.6	0.0	0.0	12,548.6
導送配水管延長計	16,615.6	0.0	0.0	16,615.6

武石地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
ずい道・水路延長	0.0	0.0	0.0	0.0

獅子ヶ城地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
ずい道・水路延長	0.0	0.0	0.0	0.0

武石地域

種類	年度	平成26年度		平成25年度
		設置数	撤去数	
地上式	258	0	0	258
地下式	1	0	0	1
合計	259	0	0	259

獅子ヶ城地域

種類	年度	平成26年度		平成25年度
		設置数	撤去数	
地上式	68	0	0	68
地下式	0	0	0	0
合計	68	0	0	68

## (6) 配水量の推移

合計	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	1,426,745	△0.48%	1,433,646
5月	1,490,306	△2.59%	1,529,941
6月	1,455,482	△2.45%	1,491,992
7月	1,556,919	△3.04%	1,605,804
8月	1,556,701	△5.24%	1,642,869
9月	1,425,390	△2.77%	1,465,941
10月	1,436,642	△2.91%	1,479,704
11月	1,375,299	△3.52%	1,425,410
12月	1,458,244	△2.10%	1,489,588
1月	1,457,884	△4.12%	1,520,451
2月	1,322,308	△3.50%	1,370,285
3月	1,425,952	△5.20%	1,504,174
計	17,387,872	△3.18%	17,959,805
1日平均配水量	47,638		49,205

上田地域	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	968,723	1.00%	959,140
5月	1,014,167	△1.04%	1,024,815
6月	987,170	△1.31%	1,000,238
7月	1,050,379	△3.09%	1,083,852
8月	1,034,161	△5.28%	1,091,830
9月	965,129	△2.52%	990,119
10月	975,594	△3.05%	1,006,246
11月	942,557	△2.20%	963,747
12月	996,870	△1.76%	1,014,713
1月	984,629	△4.17%	1,027,462
2月	891,429	△3.54%	924,128
3月	956,212	△5.91%	1,016,236
計	11,767,020	△2.77%	12,102,526
1日平均配水量	32,238		33,158

丸子地域	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	273,456	△4.53%	286,437
5月	282,525	△5.87%	300,150
6月	280,625	△4.64%	294,270
7月	299,257	△2.75%	307,714
8月	288,455	△2.29%	295,228
9月	270,769	△2.50%	277,722
10月	274,856	△3.93%	286,086
11月	267,722	△4.69%	280,903
12月	283,980	△1.23%	287,513
1月	284,593	△1.85%	289,957
2月	256,024	△1.81%	260,734
3月	280,266	△2.43%	287,249
計	3,342,528	△3.23%	3,453,963
1日平均配水量	9,158		9,463

真田地域	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	81,692	△10.61%	91,384
5月	86,878	△11.80%	98,502
6月	86,677	△7.91%	94,124
7月	90,874	△10.31%	101,322
8月	89,809	△6.85%	96,416
9月	84,254	△2.94%	86,807
10月	87,020	0.03%	86,993
11月	80,915	△4.78%	84,977
12月	85,341	△2.32%	87,369
1月	86,418	△2.37%	88,517
2月	77,754	1.02%	76,968
3月	85,994	1.20%	84,978
計	1,023,626	△5.08%	1,078,357
1日平均配水量	2,804		2,954

菅平地域	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	60571	9.75%	55,189
5月	62749	2.33%	61,318
6月	57100	△4.03%	59,495
7月	70627	6.57%	66,271
8月	96867	△12.38%	110,557
9月	62233	△9.30%	68,615
10月	54030	△5.85%	57,385
11月	42104	△22.64%	54,428
12月	48289	△12.95%	55,470
1月	56309	△15.11%	66,329
2月	56698	△13.05%	65,205
3月	59296	△15.30%	70,007
計	726,873	△8.02%	790,269
1日平均配水量	1,991		2,165

武石地域	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	41,317	1.78%	40,593
5月	43,150	△1.74%	43,912
6月	43,369	0.91%	42,977
7月	45,172	△1.06%	45,654
8月	46,411	△1.89%	47,304
9月	42,385	1.70%	41,678
10月	44,573	6.14%	41,995
11月	41,619	3.52%	40,202
12月	43,345	△0.18%	43,422
1月	45,383	△2.91%	46,744
2月	39,904	△4.91%	41,965
3月	43,465	△2.20%	44,445
計	520,093	△0.15%	520,891
1日平均配水量	1,425		1,427

獅子ヶ城地域	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	986	9.19%	903
5月	837	△32.72%	1,244
6月	541	△39.08%	888
7月	610	△38.45%	991
8月	998	△34.94%	1,534
9月	620	△38.00%	1,000
10月	569	△43.04%	999
11月	382	△66.87%	1,153
12月	419	△61.94%	1,101
1月	552	△61.72%	1,442
2月	499	△61.17%	1,285
3月	719	△42.89%	1,259
計	7,732	△43.97%	13,799
1日平均配水量	21		38

## (7) 平成26年度の水質

## ア 基準項目(法令で達成しなければならないと定められている項目)

	項目名	単位	基準値	染屋浄水場系	石舟浄水場系	腰越浄水場系	鹿教湯浄水場系
				給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値
1	一般細菌	個/ml	100 以下	2	2	1	6
2	大腸菌		検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
3	カドミウム	mg/l	0.003 以下	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
4	水銀	mg/l	0.0005 以下	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
5	セレン	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
6	鉛	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
7	ヒ素	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
8	六価クロム	mg/l	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
9	亜硝酸態窒素	mg/l	0.04 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
10	シアン	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	10 以下	1.61	2.02	0.78	0.44
12	フッ素	mg/l	0.8 以下	0.07	0.05	0.05 未満	0.05 未満
13	ほう素	mg/l	1.0 以下	0.07	0.12	0.02 未満	0.02 未満
14	四塩化炭素	mg/l	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
15	1,4-ジオキサン	mg/l	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
16	シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.04 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
17	ジクロロメタン	mg/l	0.02 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
18	テトラクロロエチレン	mg/l	0.01 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
19	トリクロロエチレン	mg/l	0.01 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
20	ベンゼン	mg/l	0.01 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
21	塩素酸	mg/l	0.6 以下	0.07	0.10	0.07	0.14
22	クロロ酢酸	mg/l	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
23	クロロホルム	mg/l	0.06 以下	0.029	0.027	0.020	0.027
24	ジクロロ酢酸	mg/l	0.04 以下	0.002	0.006	0.004	0.007
25	ジブロモジクロロメタン	mg/l	0.1 以下	0.005	0.003	0.001 未満	0.001 未満
26	臭素酸	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
27	総トリハロメタン	mg/l	0.1 以下	0.046	0.039	0.023	0.031
28	トリクロロ酢酸	mg/l	0.2 以下	0.006	0.007	0.006	0.009
29	ブロモジクロロメタン	mg/l	0.03 以下	0.012	0.010	0.004	0.004
30	ブロモホルム	mg/l	0.09 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
31	ホルムアルデヒド	mg/l	0.08 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
32	亜鉛	mg/l	1.0 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.03	0.02
33	アルミニウム	mg/l	0.2 以下	0.04	0.03	0.02	0.02 未満
34	鉄	mg/l	0.3 以下	0.02	0.01	0.01 未満	0.08
35	銅	mg/l	1.0 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01
36	ナトリウム	mg/l	200 以下	24.4	18.6	7.8	8.2
37	マンガン	mg/l	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
38	塩化物イオン	mg/l	200 以下	21.0	10.4	7.5	18.1
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	300 以下	60	64	25	57
40	蒸発残留物	mg/l	500 以下	124	133	79	100
41	陰イオン界面活性剤	mg/l	0.2 以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
42	ジェオスミン	mg/l	0.00001 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000002
43	2-メチルイソボルネオール	mg/l	0.00001 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満
44	非イオン界面活性剤	mg/l	0.02 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
45	フェノール類	mg/l	0.005 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
46	有機物(TOC)	mg/l	3 以下	0.7	0.9	0.6	0.8
47	pH値		5.8以上8.6以下	8.0	8.3	7.3	7.2
48	味		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
49	臭気		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
50	色度	度	5 以下	0.7	1.1	0.8	1.3
51	濁度	度	2 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.10

項目名	単位	長坂水系	東組水系	真田水系	傍陽西部水系	傍陽中央水系	赤井水系
		給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値
一般細菌	個/ml	2	4	0	1	0	0
大腸菌		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム	mg/l	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
水銀	mg/l	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
セレン	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
鉛	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
六価クロム	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
亜硝酸態窒素	mg/l	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
シアン	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	0.43	0.26	1.59	0.28	0.90	0.51
フッ素	mg/l	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.10	0.07	0.05 未満
ぼう素	mg/l	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.03	0.02 未満	0.02
四塩化炭素	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
1,4-ジオキサン	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ジクロロメタン	mg/l	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
テトラクロロエチレン	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
トリクロロエチレン	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ベンゼン	mg/l	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
塩素酸	mg/l	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.06	0.05 未満	0.06
クロロ酢酸	mg/l	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	mg/l	0.006	0.005	0.004	0.008	0.010	0.025
ジクロロ酢酸	mg/l	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.005
ジブロモクロロメタン	mg/l	0.001 未満	0.001	0.001 未満	0.003	0.001	0.001 未満
臭素酸	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	mg/l	0.006	0.006	0.005	0.012	0.014	0.028
トリクロロ酢酸	mg/l	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.008
ブロモジクロロメタン	mg/l	0.001 未満	0.001	0.001	0.003	0.004	0.003
ブロモホルム	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ホルムアルデヒド	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
亜鉛	mg/l	0.01 未満	0.01	0.02	0.01 未満	0.01 未満	0.01
アルミニウム	mg/l	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
鉄	mg/l	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
銅	mg/l	0.01	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
ナトリウム	mg/l	2.7	5.3	4.9	16.6	4.3	5.8
マンガン	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
塩化物イオン	mg/l	0.9	7.4	1.5	15.9	9.2	1.9
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	17	25	30	57	19	27
蒸発残留物	mg/l	44	81	83	120	50	85
陰イオン界面活性剤	mg/l	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
ジオオスミン	mg/l						
2-メチルイソボルネオール	mg/l						
非イオン界面活性剤	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
フェノール類	mg/l	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
有機物(TOC)	mg/l	0.2 未満	0.2 未満	0.3	0.2 未満	0.7	0.5
pH値		7.6	7.6	7.3	8.3	7.9	8.0
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	度	0.3	0.1	0.3	0.2	0.6	0.8
濁度	度	0.01 未満	0.02	0.03	0.01 未満	0.02	0.03

イ 水質管理目標設定項目 (将来にわたって安全性を確保するために、監視していくことが望ましい項目)

採水日:H26.5.8

採水日:H26.7.3

項目名	単位	目標値	染屋浄水場系 給水栓水	石舟浄水場系 給水栓水
1 アンチモン	mg/l	0.02 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
2 ウラン	mg/l	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
3 ニッケル	mg/l	0.02 以下	0.001 未満	0.001 未満
5 1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.004 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
8 トルエン	mg/l	0.4 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	mg/l	0.1 以下	0.01 未満	0.01 未満
10 亜塩素酸	mg/l	0.6 以下	----	----
12 二酸化塩素	mg/l	0.6 以下	----	----
13 ジクロロアセトニトリル	mg/l	0.01 以下	0.001	0.001 未満
14 抱水クロラール	mg/l	0.02 以下	0.003	0.002 未満
15 農薬類		検出値と目標値 の比の和として、 1以下	0.001 未満	0.001 未満
16 残留塩素	mg/l	1 以下	0.2	0.4
17 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	10以上100以下	47	56
18 マンガン	mg/l	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満
19 遊離炭酸	mg/l	20 以下	0.5 未満	0.5 未満
20 1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	0.3 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
21 メチル-tert-ブチルエーテル	mg/l	0.02 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
22 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	mg/l	3 以下	1.9	1.7
23 臭気強度(TON)		3 以下	1	1 未満
24 蒸発残留物	mg/l	30以上200以下	87	99
25 濁度	度	1 以下	0.01 未満	0.01 未満
26 pH値		7.5 程度	8.0	8.3
27 腐食性(ランゲリア指数)		-1程度以上とし 極力0に近づける	-0.9	-0.4
28 従属栄養細菌	個/ml	2000 以下	11	19
29 1,1-ジクロロエチレン	mg/l	0.1 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
30 アルミニウム	mg/l	0.1 以下	0.03	0.02

腰越浄水場系 給水栓水	鹿教湯浄水場系 給水栓水
0.0002 未満	0.0002 未満
0.0002 未満	0.0002 未満
0.001 未満	0.001 未満
0.0002 未満	0.0002 未満
0.0005 未満	0.0005 未満
0.01 未満	0.01 未満
----	----
----	----
0.001 未満	0.001 未満
0.002	0.004
0.010	----
0.3	0.3
25	50
0.005 未満	0.005 未満
1.8	3.5
0.0002 未満	0.0002 未満
0.0005 未満	0.0005 未満
1.6	1.4
1 未満	1 未満
74	96
0.01 未満	0.01 未満
7.3	7.1
-2.1	-1.9
2	18
0.0002 未満	0.0002 未満
0.02	0.01 未満

4、6、7、11番は欠番

ウ その他の項目

採水日:H26.8.25

採水日:H25.7.3

項目名	単位	染屋浄水場系 原水	石舟浄水場系 原水
1 クリプトスポリジウム	(個/10L)	0	0
2 ジアルジア	(個/10L)	0	0

腰越浄水場系 原水	鹿教湯浄水場系 原水
0	0
0	0

## (8) 電力使用量の推移

合計 (単位:kWh)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	498,792	12.50%	443,385
5月	435,263	△0.58%	437,806
6月	484,106	2.51%	472,236
7月	506,808	△0.75%	510,620
8月	565,207	△1.15%	571,771
9月	553,450	△4.81%	581,392
10月	477,632	△4.06%	497,836
11月	435,163	△5.81%	461,990
12月	430,987	0.03%	430,866
1月	454,972	△3.71%	472,496
2月	429,224	△8.06%	466,860
3月	409,326	△29.82%	583,239
計	5,680,930	△4.21%	5,930,497

上田地域 (単位:kWh)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	337,675	15.39%	292,632
5月	273,033	△2.99%	281,458
6月	339,393	6.53%	318,591
7月	361,871	△0.06%	362,095
8月	386,580	0.05%	386,395
9月	377,811	△1.68%	384,260
10月	323,760	△4.82%	340,156
11月	275,266	△5.09%	290,035
12月	280,594	1.61%	276,154
1月	292,443	△2.29%	299,308
2月	278,373	△7.50%	300,949
3月	271,114	△37.22%	431,873
計	3,797,913	△4.19%	3,963,906

丸子地域 (単位:kWh)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	73,083	14.91%	63,598
5月	78,156	19.69%	65,298
6月	67,765	10.27%	61,453
7月	69,654	17.49%	59,286
8月	78,997	12.95%	69,939
9月	74,283	4.25%	71,255
10月	73,875	8.93%	67,821
11月	77,095	△2.43%	79,016
12月	68,708	△1.36%	69,656
1月	83,733	△2.08%	85,510
2月	75,645	△0.47%	76,002
3月	69,977	△0.04%	70,008
計	890,971	6.21%	838,842

真田地域 (単位:kWh)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	14,785	△2.65%	15,187
5月	13,417	△20.67%	16,912
6月	13,864	△12.90%	15,917
7月	14,439	△8.92%	15,853
8月	15,450	△15.30%	18,241
9月	14,916	△13.75%	17,293
10月	15,614	△10.70%	17,484
11月	19,819	△8.01%	21,545
12月	21,923	6.52%	20,582
1月	22,653	9.71%	20,649
2月	19,547	5.53%	18,522
3月	16,745	2.94%	16,267
計	203,172	△5.26%	214,452

菅平地域 (単位:kWh)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	65,016	△4.22%	67,879
5月	64,232	△6.88%	68,980
6月	58,019	△17.81%	70,589
7月	56,003	△18.53%	68,742
8月	77,911	△15.13%	91,797
9月	80,571	△21.00%	101,988
10月	59,775	△11.60%	67,618
11月	57,845	△12.15%	65,844
12月	55,651	△5.86%	59,114
1月	49,688	△18.38%	60,876
2月	49,693	△24.04%	65,416
3月	46,794	△20.53%	58,880
計	721,198	△14.93%	847,723

武石地域 (単位:kWh)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	2,506	△7.70%	2,715
5月	2,780	16.66%	2,383
6月	2,298	3.89%	2,212
7月	2,685	27.55%	2,105
8月	2,839	18.00%	2,406
9月	2,592	5.02%	2,468
10月	2,492	15.48%	2,158
11月	2,926	10.67%	2,644
12月	2,454	△3.58%	2,545
1月	3,300	11.00%	2,973
2月	2,766	6.43%	2,599
3月	2,616	3.56%	2,526
計	32,254	8.48%	29,734

獅子ヶ城地域 (単位:kWh)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	5,727	316.81%	1,374
5月	3,645	31.35%	2,775
6月	2,767	△20.35%	3,474
7月	2,156	△15.08%	2,539
8月	3,430	14.60%	2,993
9月	3,277	△20.62%	4,128
10月	2,116	△18.58%	2,599
11月	2,212	△23.88%	2,906
12月	1,657	△41.14%	2,815
1月	3,155	△0.79%	3,180
2月	3,200	△5.10%	3,372
3月	2,080	△43.55%	3,685
計	35,422	△1.17%	35,840

(9) 薬品使用量の推移

ア ポリ塩化アルミニウム(PAC)

上田地域

(単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	4,400	2.33%	4,300
5月	5,100	75.86%	2,900
6月	14,800	4.23%	14,200
7月	18,400	148.65%	7,400
8月	19,300	85.58%	10,400
9月	5,500	△78.85%	26,000
10月	8,100	△54.75%	17,900
11月	1,600	166.67%	600
12月	1,100	83.33%	600
1月	1,500	650.00%	200
2月	1,300	△40.91%	2,200
3月	4,500	△68.75%	14,400
計	85,600	△15.33%	101,100

丸子地域

(単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	1,800	△14.29%	2,100
5月	2,400	60.00%	1,500
6月	5,900	136.00%	2,500
7月	5,300	103.85%	2,600
8月	4,000	90.48%	2,100
9月	3,200	△20.00%	4,000
10月	1,700	△52.78%	3,600
11月	2,200	46.67%	1,500
12月	4,100	105.00%	2,000
1月	3,700	12.12%	3,300
2月	2,200	△8.33%	2,400
3月	2,600	18.18%	2,200
計	39,100	31.21%	29,800

イ ポリシリカ鉄(PSI)

丸子地域

(単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	8,400	31.25%	6,400
5月	7,200	18.03%	6,100
6月	5,800	5.45%	5,500
7月	5,100	△1.92%	5,200
8月	7,900	33.90%	5,900
9月	6,200	△4.62%	6,500
10月	6,400	4.92%	6,100
11月	7,800	44.44%	5,400
12月	5,600	7.69%	5,200
1月	6,200	31.91%	4,700
2月	6,900	53.33%	4,500
3月	7,600	52.00%	5,000
計	81,100	21.95%	66,500



ウ 次亜塩素酸ナトリウム

合計 (単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	9,111	△11.34%	10,276
5月	11,715	0.65%	11,639
6月	12,532	△8.88%	13,753
7月	15,547	1.22%	15,360
8月	16,983	△10.43%	18,961
9月	14,014	△9.07%	15,412
10月	13,019	7.67%	12,092
11月	11,202	1.52%	11,034
12月	10,052	0.45%	10,007
1月	8,475	△15.17%	9,990
2月	8,414	△10.15%	9,364
3月	9,331	△3.67%	9,686
計	140,395	△4.86%	147,574

上田地域 (単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	6,100	△10.29%	6,800
5月	7,900	1.28%	7,800
6月	8,500	△5.56%	9,000
7月	10,900	△3.54%	11,300
8月	12,300	△9.56%	13,600
9月	10,100	△6.48%	10,800
10月	9,000	13.92%	7,900
11月	7,200	2.86%	7,000
12月	6,700	4.69%	6,400
1月	5,400	△15.63%	6,400
2月	5,300	△8.62%	5,800
3月	6,100	△1.61%	6,200
計	95,500	△3.54%	99,000

丸子地域 (単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	2,200	△15.38%	2,600
5月	3,000	3.45%	2,900
6月	3,200	△15.79%	3,800
7月	3,800	22.58%	3,100
8月	3,800	△11.63%	4,300
9月	3,000	△16.67%	3,600
10月	3,100	△3.13%	3,200
11月	3,200	3.23%	3,100
12月	2,500	△7.41%	2,700
1月	2,300	△14.81%	2,700
2月	2,200	△18.52%	2,700
3月	2,400	△7.69%	2,600
計	34,700	△6.97%	37,300

真田地域 (単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	680	△8.11%	740
5月	690	△8.00%	750
6月	710	△8.97%	780
7月	710	△7.79%	770
8月	710	△10.13%	790
9月	710	△8.97%	780
10月	690	△8.00%	750
11月	680	△9.33%	750
12月	680	△9.33%	750
1月	670	△9.46%	740
2月	670	△9.46%	740
3月	670	△8.22%	730
計	8,270	△8.82%	9,070

武石地域 (単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
4月	131	△3.68%	136
5月	125	△33.86%	189
6月	122	△29.48%	173
7月	137	△27.89%	190
8月	173	△36.16%	271
9月	204	△12.07%	232
10月	229	△5.37%	242
11月	122	△33.70%	184
12月	172	9.55%	157
1月	105	△30.00%	150
2月	244	96.77%	124
3月	161	3.21%	156
計	1,925	△12.66%	2,204



# 公共下水道事業編



# 1 事業の概要

## (1) 事業の沿革

上田市の公共下水道事業は、昭和 42 年公共下水道の事業の認可を受け、旧上田市の中心市街地から着手し、以来管渠施設の整備と下水処理場の建設を進めてきました。

公共下水道は、上田地域では千曲川右岸地域の「上田処理区・神川東処理区」を「上田終末処理場」、千曲川左岸地域の「南部処理区・中塩田処理区」を「南部終末処理場」、別所温泉処理区を「別所温泉終末処理場」の 3 つの施設で処理しています。

真田地域では、菅平処理区を「菅平浄化センター」、真田処理区を「真田浄化センター」の 2 つの施設で処理し、丸子地域では丸子処理区(丸子分区・依田分区)を「丸子浄化センター」、西内処理区を「西内浄化センター」の 2 つの施設で処理しています。

平成 18 年 3 月の新上田市の誕生に伴い、千曲川右岸地域に 4 処理区・千曲川左岸地域に 5 処理区を抱え、処理区域面積 4,615ha、計画処理人口 152,700 人を目標に下水道管渠の建設と終末処理場の拡張を行い千曲川をはじめとする公共用水域の水質汚濁の防止、快適で文化的な生活環境作りを目指しています。

## (2) 事業のあゆみ

### ア 上田地域

上田地域の公共下水道事業は、昭和 42 年に当初事業認可を取得し、下水道事業に着手した。その後、管渠施設の整備と下水処理場の建設を進め、昭和 47 年には上田終末処理場の供用開始に至り、さらに平成 7 年に別所温泉終末処理場、平成 11 年に南部終末処理場の供用開始に至っている。

また、下水道全体計画は、当初昭和 42 年の 1,129ha (千曲川右岸の市街地) から昭和 55 年には千曲川左岸の南部処理区を加えて 2,230ha に拡大し、平成 2 年には別所温泉処理区、平成 7 年には中塩田処理区、平成 8 年には神川東処理区を加えて現在 3,444ha となっている。

昭和39年	4月	建設部都市計画係にて認可事務開始
昭和42年	3月	公共下水道の設置を市議会で議決
	9月	第1期計画決定(公共:上田処理区)487.4ha
	10月	事業計画認可(公共:上田処理区)190.5ha 管渠布設開始
昭和44年	5月	第1期受益者負担金省令公布(㎡当たり90.76円) 賦課区域面積168.4ha 終末処理場建設開始
昭和46年	7月	建設部に下水道課を新設
	10月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)
昭和47年	4月	下水道条例公布
	5月	下水道課に普及係、建設係を設置

昭和47年	7月	終末処理場運転開始供用開始告示57ha 終末処理場を上小衛生施設組合に管理委託
昭和51年	1月	第1期計画決定変更(公共:上田処理区)(計画面積合計550ha)
	3月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)225.4ha (認可面積合計415.9ha)
昭和53年	4月	終末処理場の管理委託を民間管理会社に変更
	7月	下水道使用料の3か年次分改定
	12月	第2期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり200円) 賦課区域面積138.7ha
昭和56年	3月	計画決定変更(公共:上田処理区)(計画面積合計1,155ha)
	7月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)583ha(認可面積合計998.9ha)
昭和58年	12月	第3期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり270円) 下水道使用料改定
昭和59年	4月	第3期工事区域の内、前期分賦課区域公告307.8ha
昭和61年	10月	下水道課に下水浄化センター設置3係となる
昭和62年	1月	終末処理場の用地拡大計画決定
	2月	終末処理場の用地拡大事業計画変更認可
昭和62年	12月	下水道使用料改定
昭和63年	3月	ポンプ場位置変更の計画決定
昭和63年	8月	ポンプ場位置変更の事業計画変更認可
平成元年	4月	下水道使用料改定(消費税導入) 第3期工事区域の内、後期分賦課区域公告255.3ha
平成2年	3月	ポンプ場位置変更、終末処理場用地減少の計画変更
	7月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)136.1ha(認可面積合計1,135ha)
	12月	上塩尻ポンプ場運転開始
平成3年	3月	第4期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり360円)
	4月	第4期工事区域の賦課区域公告109.7ha
	10月	計画決定(特環:別所温泉処理区)68ha(計画面積合計1,223ha)
	12月	事業計画認可(特環:別所温泉処理区)68ha(認可面積合計1,203ha)
平成4年	4月	下水道使用料改定
	10月	下塩尻ポンプ場運転開始
	12月	受益者負担金条例公布(特環:m <sup>2</sup> 当たり470円)
平成5年	4月	別所温泉処理区の賦課区域公告61.9ha
	7月	計画決定変更(公共:上田処理区)655ha(公共:南部処理区)850ha (計画面積合計2,728ha)
	11月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)330ha(公共:南部処理区)292ha (認可面積合計1,825ha)
平成6年	12月	第5期受益者負担金条例公布(m <sup>2</sup> 当たり510円)
平成7年	4月	第5期工事区域の賦課区域公告545ha
	5月	機構改革により農村下水道課と合併
	7月	下水道使用料改定
	12月	別所温泉終末処理場運転開始一部供用開始
平成8年	1月	事業計画変更認可(特環:別所温泉処理区)事業完了年月日、事業費の変更

平成8年	12月	上田終末処理場内汚泥焼却炉運転開始
平成9年	4月	機構改革により建設部下水道課から水道局下水道課、水道局計画管理課の2課となる。 下水道使用料改定
平成10年	2月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)345ha(公共:南部処理区)304ha 事業計画認可(特環:中塩田処理区)98ha(認可面積合計2,572ha)
	12月	第6期受益者負担金(分担金)条例公布(m <sup>2</sup> 当たり560円)
平成11年	2月	事業認可(特環:神川東処理区)98ha(認可面積合計2,670ha)
	4月	下水道使用料改定
	7月	計画決定変更(公共:上田処理区)70ha(計画面積合計2,798ha)
	10月	事業計画変更認可(公共:南部処理区)34ha(特環:中塩田処理区)136ha (認可面積合計2,840ha)
	12月	南部終末処理場運転開始
平成12年	4月	機構改革により計画管理課を営業課と改称する。
	6月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)70ha (特環:神川東処理区)125ha (認可面積合計3,035ha)
	11月	計画決定変更北部汚水中継ポンプ場廃止
平成13年	4月	水道局を上下水道局と改称し、事業管理者を置く。 下水道事業に地方公営企業法を全部適用する。 下水道使用料改定
	6月	計画決定変更(公共:南部処理区)15ha(計画面積合計2,813ha) 事業計画変更認可(公共:南部処理区)235ha (特環:中塩田処理区)128ha (認可面積合計3,398ha)
平成14年	10月	事業計画変更認可(特環:神川東処理区)58ha (認可面積合計3,456ha)
平成15年	3月	事業計画変更認可 (特環:別所温泉処理区)事業年度の変更 平成14年度→平成19年度 (認可面積合計3,456ha)
	4月	中塩田処理区一部供用開始(約2,500戸7,000人)
	12月	神川東処理区一部供用開始(約1,100戸2,900人) 神川東ポンプ場運転開始
平成16年	3月	計画決定変更(公共:上田処理区) 国分汚水ポンプ場をマンホール形式ポンプ場に変更 事業計画変更認可(公共:上田処理区) 国分汚水ポンプ場をマンホール形式ポンプ場に変更
	10月	事業計画変更認可(公共:上田終末処理場・南部終末処理場) 設備の構造及び能力の変更 下水道法施行令の改定に伴う計画放流水の変更
平成20年	3月	事業計画変更認可(公共:上田処理区・南部処理区 特環:別所温泉処理区・中塩田処理区・神川東処理区)計画諸元及び事業区域・工事終了予定年月日の
平成21年	3月	下水道地震対策緊急整備計画策定(上田処理区管渠)
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	1月	下水道長寿命化計画策定(管渠、マンホールポンプ)

- 平成26年 3月 事業計画の変更(公共:上田処理区・南部処理区 特環:別所温泉処理区・中塩田処理区・神川東処理区)工事終了予定年月日の変更  
 平成27年 3月 計画決定変更(上田都市計画及び丸子都市計画の合併)

## イ 丸子地域

丸子地域の公共下水道事業は、昭和55年2月に西内処理区の当初事業認可を取得し、下水道事業に着手した。その後、昭和62年12月に西内終末処理場の供用開始に至り、さらに平成11年3月に丸子終末処理場の供用開始に至っている。

また、下水道全体計画は当初昭和52年4月の西内処理区(47ha)から、平成2年3月に丸子処理区を加え、その後、平成20年3月に見直し計画を立案し、現在845haとなっている。

### ・公共(丸子処理区)

- 平成2年 3月 基本計画策定  
 平成4年度 終末処理場位置決定  
 平成5年 3月 第2次都市計画変更決定  
 平成5年 11月 下水道法及び都市計画変更決定(99.0ha)  
 管渠工事着手  
 平成6年度 第1回変更事業認可(幹線管渠路線変更)  
 処理場用地買収(土地開発公社)  
 処理場実施(基本)設計業務委託(日本下水道事業団)  
 平成7年度 処理場用地買戻し(~10年度)  
 処理場実施(詳細)設計業務委託(日本下水道事業団)  
 平成7年 5月 第1回変更事業認可(幹線管渠路線変更)  
 平成8年度 処理場建設工事に係る基本協定締結(日本下水道事業団)  
 処理場第1期建設工事着手(水処理施設:2,400m<sup>3</sup>/日)  
 (汚泥処理設備:2,400m<sup>3</sup>/日)  
 事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団)  
 公共下水道事業受益者負担金に関する条例制定  
 平成9年 8月 第2回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)510.0ha  
 平成10年度 平成11年3月27日一部供用開始  
 平成11年度 処理場第2期基本協定変更(日本下水道事業団)  
 (水処理施設:9,600m<sup>3</sup>/日)  
 平成12年度 全体計画見直し業務委託(日本下水道事業団)  
 平成14年度 第3次都市計画変更決定  
 平成14年 8月 第3回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)716.0ha  
 (水処理施設:12,000m<sup>3</sup>/日)  
 平成15年度 事業再評価の実施(事業継続)  
 平成16年度 事業再評価の実施(事業継続)  
 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日)  
 下水道使用料改定諮問(アップ答申を得る)



		議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日)
		都市計画決定区域の変更
平成17年度		地方公営企業法を全部適用
平成20年	3月	第4回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)752.0ha
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	3月	事業計画の変更(工事終了予定年月日の変更)
平成27年	3月	計画決定変更(上田都市計画及び丸子都市計画の合併)
・特環(西内処理区)		
昭和52年度		基本計画策定
昭和54年度		処理場位置決定
		公共下水道事業特別会計設置
昭和55年度		下水道係新設
		処理場用地買収
昭和55年	3月	下水道法事業認可(47.0ha)
昭和56年度		処理場用地買収
昭和57年度		管渠工事着手
		事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
昭和58年	10月	第1回変更事業認可(区域及び計画汚水量変更)49.1ha
昭和59年度		処理場実施(基本)設計業務委託(日本下水道事業団)
		特定環境保全公共下水道審議会条例制定
		下水道事業受益者分担に関する条例制定
昭和60年度		処理場実施(詳細)設計業務委託(日本下水道事業団)
昭和60年	5月	第2回変更事業認可(処理方式変更:回転円盤→OD)
		処理場用地買収
		処理場建設工事に係る基本協定締結(日本下水道事業団)
		公共下水道都市計画決定
		処理場第1期建設工事着手(水処理施設:2,200m <sup>3</sup> /日)
		(汚泥処理設備:1,650m <sup>3</sup> /日)
昭和62年度		下水道条例制定
		下水道条例施行規則制定
		下水道指定工事店の指定等に関する規則制定
		水洗便所改造資金融資あっ旋要綱制定
		処理場管理本館及び水処理施設完成
		一部供用開始(12月15日)
昭和63年度		下水道事業受益者分担に関する条例施行規則制定
		処理場第1期建設工事完了
平成元年度		下水道条例の一部改正
		下水道条例施行規則の一部改正
		49.1haの管渠整備完了
		事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
		処理場第2期実施(詳細)設計業務委託(下水道事業団)
平成2年度		処理場第2期建設工事着手(水処理施設:1,100m <sup>3</sup> /日)

		(汚泥処理設備:1,650m <sup>3</sup> /日)
		処理場汚泥処理設備全設備完了
平成2年	8月	第3回変更事業認可(区域の変更)64.8ha
平成3年度		処理場全体計画施設完了
		全体事業計画の見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成4年	5月	第4回変更事業認可(全体計画区域の拡大)79.1ha
平成5年度		計画区域内の管渠整備概成
平成6年度		下水道条例の全部改正
		下水道条例施行規則の全部改正
		下水道排水設備指定工事店規則の全部改正
平成7年度		第5回変更事業認可(事業期間の延伸)
平成11年度		下水道使用料改定諮問(審議会5回開催、24.6%アップ答申を得る)
		議会3月定例会、使用料24.6%アップ改定案提出 継続審議
平成12年度		議会6月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成13年1月1日)
		全体事業計画の見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成16年度		事業再評価の実施(事業継続)
		議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日)
		下水道使用料改定諮問(アップ答申を得る)
		議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日)
平成16年	11月	都市計画決定区域の変更
平成17年	3月	第6回変更事業認可(計画区域拡大)86.0ha
平成17年度		地方公営企業法を全部適用
平成20年	3月	第7回変更事業認可(計画人口、計画汚水量変更)
平成21年	3月	下水道地震対策緊急整備計画策定(管渠、処理場)
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	3月	事業計画の変更(工事終了予定年月日の変更)
平成27年	3月	計画決定変更(上田都市計画及び丸子都市計画の合併)

## ウ 真田地域

真田地域の公共下水事業は、昭和52年に菅平処理区の当初事業認可を取得し、下水道事業に着手した。その後、昭和60年6月に菅平浄化センターの供用開始に至り、さらに平成9年4月に真田浄化センターの供用開始に至っている。

また、下水道全体計画は当初の菅平処理区(210ha)から、平成4年度に真田処理区を加え、その後、平成10年度に真田処理区の見直し、平成13年度に菅平処理区の見直し計画(区域の縮小)を立案し、現在326haとなっている。

### ・特環(真田処理区)

平成4年	3月	基本計画策定
	12月	下水道法事業認可
平成5年	3月	処理場用地買収
		処理場地質調査

平成6年	6月	処理場水処理棟建設工事着手
平成7年	7月	処理場管理汚泥棟建設工事着手 処理場水処理機械電気設備工事着手(1/2系列 1,600m <sup>3</sup> /日)
平成8年	3月	第1回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸及び全体計画の一部見直し)
	7月	処理場汚泥設備工事着手 処理場場内整備工事
平成9年	4月	平成9年4月1日一部供用開始(1/2系列1,600m <sup>3</sup> /日) 処理場汚泥処理設備工事着手
平成10年	11月	全体計画区域の見直し(全体計画区域の拡大及び排水量原単位の見直し) 第2回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成期限の延伸)
平成11年	12月	第3回変更事業認可(区域の拡大)
平成13年	10月	処理場水処理機械電気工事着手(2/2系列 1,600m <sup>3</sup> /日)
平成14年	2月	154ha管渠整備完了
	3月	2/2系列目供用開始(1,600m <sup>3</sup> /日)
平成16年	2月	第4回変更事業認可(計画処理量の変更及び工事完成予定の延伸) (3,200m <sup>3</sup> /日→2,400m <sup>3</sup> /日)
平成20年	3月	事業計画変更認可(計画諸元、施設計画の変更及び工事終了予定年月日の変更、計画処理量変更)(2,400m <sup>3</sup> /日→3,200m <sup>3</sup> )
	4月	地方公営企業法を全部適用
平成21年	3月	下水道地震対策緊急整備事業策定(処理場)
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	3月	事業計画の変更(工事終了予定年月日の変更)

・特環(菅平処理区)

昭和52年	2月	基本計画策定 下水道法事業認可 処理場用地買収
	6月	処理場実施設計 処理場造成工事 管渠工事着手
昭和53年	5月	処理場実施設計 処理場造成工事
昭和54年	9月	第1回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸) 処理場土木工事着手
昭和55年	7月	処理場建築工事着手
昭和57年	9月	処理場機械設備工事着手
昭和58年	1月	第2回変更事業認可(放流渠の位置の変更及び工事完成予定の延伸)
昭和59年	9月	処理場電気設備工事着手
昭和60年	6月	1/2系列供用開始(2,250m <sup>3</sup> /日)(6月24日)
昭和62年	12月	第3回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
昭和63年	8月	第4回変更事業認可(区域の拡大)
平成元年	12月	3/4系列目供用開始(1,125m <sup>3</sup> /日)

平成4年	7月	第5回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸)
	12月	4/4系列目供用開始(1,125m <sup>3</sup> /日)
平成5年	9月	172ha管渠整備完了
平成9年	7月	第6回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
平成13年	3月	第7回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
平成14年	3月	全体計画見直し(区域の縮小及び水処理方式の変更)
平成15年	3月	第8回変更事業認可(水処理方式の変更)
平成19年	12月	OD法で処理開始(水処理方式の変更) ※OD法=酸化溝法(オキシデーションディッチ法)
平成20年	3月	事業計画変更認可(計画諸元、施設計画の変更及び工事終了予定年月日の変更)
	4月	地方公営企業法を全部適用
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	1月	下水道長寿命化計画策定(マンホールポンプ)
	3月	事業計画の変更(工事終了予定年月日の変更)



## (3) 事業計画

項 目		単位	上田公共下水道事業					
			上田終末処理場		南部終末処理場		別所温泉 終末処理場	
			上田処理区	神川東 処理区	南部処理区	中塩田 処理区	別所温泉 処理区	
目標年次	全体計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
	認可計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
計画処理区域	全体計画	ha	1,869	282	859	364	70	
	認可計画	ha	1,869	282	859	364	70	
計画処理人口	常住人口	人	52,100	9,900	29,400	9,900	1,300	
	観光人口(宿泊)	人	--	--	--	--	1,400	
	観光人口(日帰り)	人	6,200	--	--	2,300	2,200	
生活・営業 汚水量原単位	日平均	生活	L/日・人	290	220	270	220	230
		営業	L/日・人	120	40	50	40	--
		営業用水率	%	40	20	20	20	--
		計	L/日・人	410	260	320	260	230
	日最大	L/日・人	550	350	430	350	330	
	時間最大	L/日・人	940	600	730	600	560	
地下水量原単位		L/日・人	110	70	60	50	70	
計画汚水量(日最大)	生活・営業	m <sup>3</sup> /日	28,660	3,470	12,640	3,470	430	
	地下水量	m <sup>3</sup> /日	5,730	690	1,760	500	90	
	工場	m <sup>3</sup> /日	4,180	90	880	--	--	
	観光	m <sup>3</sup> /日	527	--	--	127	737	
	その他	m <sup>3</sup> /日	3,000	--	--	--	--	
	計	m <sup>3</sup> /日	42,097	4,250	15,280	4,097	1,257	
計画処理水量(日平均)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	33,482	3,340	11,960	3,162	898	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	33,802	3,340	11,960	3,162	898	
計画処理水量(日最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	42,097	4,250	15,280	4,097	1,257	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	37,912	4,064	14,116	3,801	1,242	
計画処理水量(時間最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	69,028	6,810	24,980	6,647	2,065	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	69,668	6,810	24,980	6,647	2,065	

項 目		単位	丸子公共下水道事業			真田公共下水道事業		
			丸子浄化センター		西内 浄化センター	菅平 浄化センター	真田 浄化センター	
			丸子処理区 (丸子分区)	丸子処理区 (依田分区)	西内処理区	菅平処理区	真田処理区	
目標年次	全体計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
	認可計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
計画処理区域	全体計画	ha	559	200	86	172	154	
	認可計画	ha	557	195	86	172	154	
計画処理人口	常住人口	人	14,600	5,500	1,100	900	5,000	
	観光人口(宿泊)	人	--	--	2,200	6,400	--	
	観光人口(日帰り)	人	--	--	400	1,900	--	
生活・営業 汚水量原単位	日平均	生活	L/日・人	240	220	440	275	220
		営業	L/日・人	70	40	--	--	40
		営業用水率	%	30	20	--	--	20
		計	L/日・人	310	260	440	275	260
	日最大	L/日・人	410	350	590	670	350	
	時間最大	L/日・人	700	600	890	1,340	700	
地下水原単位		L/日・人	60	50	120	130	50	
計画汚水量(日最大)	生活・営業	m <sup>3</sup> /日	5,990	1,930	650	600	1,750	
	地下水量	m <sup>3</sup> /日	880	280	130	120	250	
	工場	m <sup>3</sup> /日	2,630	10	120	--	--	
	観光	m <sup>3</sup> /日	--	--	1,192	3,742	--	
	その他	m <sup>3</sup> /日	--	--	360	--	--	
	計	m <sup>3</sup> /日	9,500	2,220	2,452	4,462	2,000	
計画処理水量(日平均)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	7,780	1,720	1,957	1,918	1,550	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	7,850	1,750	2,017	1,918	1,590	
計画処理水量(日最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	9,500	2,220	2,452	4,462	2,000	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	8,736	2,090	2,442	4,376	1,990	
計画処理水量(時間最大)	全体計画	m <sup>3</sup> /日	16,360	3,600	3,508	8,814	3,750	
	認可計画	m <sup>3</sup> /日	16,510	3,660	3,608	8,814	3,830	

## 2 財政の状況

### (1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
下水道事業収益		6,455,869,255	33.76%	4,826,569,069
営業収益		2,536,613,496	1.78%	2,492,207,954
営業外収益		3,865,238,264	65.58%	2,334,361,115
特別利益		54,017,495	皆増	-
下水道事業費用		6,097,044,155	35.42%	4,502,421,904
営業費用		4,521,157,610	41.47%	3,195,830,105
営業外費用		1,267,117,545	△3.02%	1,306,591,799
特別損失		308,769,000	皆増	-
収支差引額		358,825,100	10.70%	324,147,165

(税込・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
損益勘定留保資金発生額		1,972,004,622	△10.34%	2,199,462,714
減価償却費		3,493,538,446	58.84%	2,199,462,714
長期前受金戻入(△)		△1,566,947,596	皆増	-
固定資産除却費		49,937,381	皆増	-
固定資産売却損		-	—	-
固定資産譲渡損		-	—	-
繰延勘定償却		-	—	-
固定資産除却損		-	—	-
消費税資本的収支調整額(△)		△4,523,609	皆増	-
欠損金(△)		-	—	-
欠損金処理額		-	—	-
その他		-	—	-
損益勘定留保資金補てん額		2,355,460,541	△3.16%	2,432,345,119
過年度不足分補てん額		-	—	-
過年度分修正		-	—	-
損益勘定留保資金残高		3,152,122,859	△10.85%	3,535,578,778



## (2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度		平成25年度
	平成26年度	対前年度比	
資本的収入	652,182,656	△6.10%	694,552,400
企業債	201,600,000	3.76%	194,300,000
国庫補助金	28,827,700	△58.56%	69,560,800
受益者負担金	88,867,956	△1.02%	89,780,600
工事負担金	26,715,000	60.43%	16,652,000
他会計補助金	306,172,000	△5.58%	324,259,000
固定資産売却代金	-	—	-
貸付金返還金	-	—	-
他会計長期借入金	-	—	-
他会計出資金	-	—	-
他会計負担金	-	—	-
その他資本的収入	-	—	-
資本的支出	3,331,817,662	0.76%	3,306,651,139
建設改良費	391,197,479	△16.63%	469,242,373
企業債償還金	2,934,943,038	3.45%	2,837,036,016
補助金返還金	5,593,725	皆増	-
受益者負担金返還金	83,420	△77.62%	372,750
他会計長期借入金返還金	-	—	-
投資	-	—	-
開発費	-	—	-
退職給与金	-	—	-
試験研究費	-	—	-
災害損失	-	—	-
その他資本的支出	-	—	-
収支差引額	△2,679,635,006	2.59%	△2,612,098,739
翌年度繰越充当額	28,930,200	△7.81%	31,382,500

(税込・単位:円)

項目	年度		平成25年度
	平成26年度	対前年度比	
補てん財源	2,708,565,206	2.46%	2,643,481,239
消費税資本的収支調整額	-	皆減	2,425,000
繰越工事資金	31,382,500	△34.09%	47,617,745
損益勘定留保資金	2,355,460,541	△3.16%	2,432,345,119
引継金	-	—	-
利益剰余金処分量	321,722,165	99.71%	161,093,375
減債積立金	321,722,165	99.71%	161,093,375
建設改良積立金	-	—	-
未処分利益剰余金	-	—	-
その他	-	—	-
補てん不足額	-	—	-

## (3) 財務諸表の推移

## ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
営業収益		2,359,259,990	△0.60%	2,373,578,968
下水道使用料		2,357,593,590	△0.63%	2,372,579,890
一般会計負担金		-	—	-
受託事業収益		-	—	-
その他営業収益		1,666,400	66.79%	999,078
営業費用		4,456,176,047	41.04%	3,159,490,077
管渠費		100,349,037	△18.29%	122,812,009
ポンプ場費		16,304,651	△40.46%	27,385,993
処理場費		596,556,927	△2.54%	612,129,842
受託事業費		-	—	-
水質規制費		1,718,200	△1.82%	1,750,050
普及促進費		2,414,702	6.96%	2,257,671
業務費		68,823,510	5.85%	65,021,100
総係費		126,533,193	△1.66%	128,670,698
減価償却費		3,493,538,446	58.84%	2,199,462,714
資産減耗費		49,937,381	皆増	-
その他営業費用		-	—	-
営業利益・損失		△2,096,916,057	166.81%	△785,911,109
営業外収益		3,865,896,220	65.58%	2,334,811,038
受取利息及び配当金		6,429,930	△13.66%	7,447,536
国庫(県)補助金		-	皆減	539,000
他会計補助金		2,289,104,000	△1.09%	2,314,309,000
長期前受金戻入		1,566,947,596	皆増	-
その他雑収益		3,414,694	△72.72%	12,515,502
営業外費用		1,150,879,949	△6.22%	1,227,177,764
支払利息及び企業債取扱諸費		1,142,977,932	△5.40%	1,208,182,542
繰延勘定償却		-	—	-
その他雑支出		7,902,017	△58.40%	18,995,222
経常利益・損失		618,100,214	92.12%	321,722,165
特別利益		54,017,495	皆増	-
固定資産売却益		-	—	-
過年度損益修正益		-	—	-
その他特別利益		54,017,495	皆増	-
特別損失		308,769,000	皆増	-
固定資産売却損		-	—	-
過年度損益修正損		-	—	-
災害派遣費		-	—	-
その他特別損失		308,769,000	皆増	-
当年度純利益・損失		363,348,709	12.94%	321,722,165
前年度繰越利益剰余金・欠損金		-	—	-
その他未処分利益剰余金変動額		3,788,405,484	皆増	-
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		4,151,754,193	1190.48%	321,722,165

イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度	
			対前年度比		
利益剰余金 (欠損金)の部	減債積立金	前年度繰入額	321,722,165	99.71%	161,093,375
		前年度処分量	321,722,165	99.71%	161,093,375
		当年度末残高	-	—	-
		積立金合計	-	—	-
		前年度利益剰余金処分量	321,722,165	99.71%	161,093,375
		減債積立金	321,722,165	99.71%	161,093,375
		前年度欠損金処理額	-	—	-
		前年度純利益・損失	363,348,709	12.94%	321,722,165
		前年度減債積立金からの組入れ	321,722,165	皆増	-
		会計制度移行処理	3,466,683,319	皆増	-
	当年度末処分利益剰余金・未処理欠損金	4,151,754,193	1190.48%	321,722,165	
資本剰余金の部	国庫補助金	前年度処分量	-	—	-
		前年度発生高	-	皆減	29,483,486,342
		前年度処分量	35,826,518,836	皆増	-
	受益者負担金	前年度末残高	52,947,515	△99.85%	35,879,466,351
		前年度処分量	-	—	-
		前年度発生高	-	皆減	7,297,780,114
	工事負担金	前年度処分量	8,858,628,094	皆増	-
		前年度末残高	-	皆減	8,858,628,094
		前年度処分量	-	—	-
	他会計補助金	前年度処分量	-	—	-
		前年度発生高	-	皆減	1,380,340,934
		前年度処分量	4,420,218,450	皆増	-
	受贈財産評価額その他資本的収入	前年度末残高	-	皆減	4,420,218,450
		前年度処分量	-	—	-
		前年度発生高	-	皆減	32,033,750
翌年度繰越資本剰余金	前年度処分量	254,003,750	皆増	-	
	前年度末残高	1,680,708	△99.34%	255,684,458	
	前年度処分量	-	—	-	
翌年度繰越資本剰余金	前年度発生高	-	—	-	
	前年度処分量	495,238	皆増	-	
	前年度末残高	-	皆減	495,238	
	翌年度繰越資本剰余金	54,628,223	△99.89%	49,638,169,899	

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	平成26年度末		平成25年度末
			対前年度比	
固定資産		94,138,931,560	△13.79%	109,200,274,650
有形固定資産		94,138,930,678	△13.79%	109,198,423,980
土地	地	3,542,715,454	0.00%	3,542,715,454
建物	物	5,379,738,935	△20.26%	6,746,235,363
構築物	物	75,961,201,453	△8.32%	82,853,853,787
機械及び装置	置	9,152,551,931	△42.81%	16,004,552,611
車両運搬具	具	2,769,812	36.38%	2,030,898
工具器具及び備品	品	22,300,270	△36.77%	35,269,680
建設仮勘定	定	77,652,823	464.08%	13,766,187
無形固定資産	産	882	△99.95%	1,850,670
地上権	権	-	皆減	85,618
地役権	権	882	△99.95%	1,765,052
投資その他の資産	産	-	-	-
破産更生債権	権	50,748,453	皆増	-
貸倒引当金(△)	(△)	△ 50,748,453	皆増	-
流動資産	産	5,090,782,002	△3.45%	5,272,897,512
現金及び預金	金	4,822,956,585	△1.95%	4,918,979,409
現金	金	31,000	0.00%	31,000
預金	金	4,822,925,585	△1.95%	4,918,948,409
未収金	金	264,957,417	△16.01%	315,474,903
営業未収金	金	255,976,033	△13.09%	294,521,851
貸倒引当金(△)	(△)	△ 91,736,132	皆増	-
営業外未収金	金	-	-	-
その他の未収金	金	100,717,516	380.68%	20,953,052
前払金	金	2,868,000	△92.54%	38,443,200
繰延資産	産	-	-	-
資産合計	計	99,229,713,562	△13.32%	114,473,172,162

固	定	負	債	49,925,365,161	4077.61%	1,195,071,159				
企	業	債	48,706,898,648	皆増	-	-				
建	設	改	良	等	企	業	債	48,706,898,648	皆増	-
引	修	繕	引	当	金	1,218,466,513	1.96%	1,195,071,159		
退	職	給	付	引	当	金	1,062,757,236	△4.91%	1,117,647,236	
						155,709,277	101.11%	77,423,923		
流	動	負	債	3,301,734,648	1645.63%	189,142,910				
企	業	債	3,070,202,535	皆増	-	-				
建	設	改	良	等	企	業	債	3,070,202,535	皆増	-
未	業	払	未	払	金	223,303,878	18.15%	189,004,909		
營	業	未	払	金	127,354,996	15.95%	109,836,655			
營	業	外	未	払	金	55,576,600	65.76%	33,528,200		
そ	の	他	未	払	金	40,372,282	△11.54%	45,640,054		
引	賞	与	引	当	金	7,370,000	皆増	-		
						6,303,000	皆増	-		
						1,067,000	皆増	-		
そ	の	他	流	動	負	債	858,235	521.90%	138,001	
預	り				金	858,235	521.90%	138,001		
繰	延	取	益	33,177,609,529	皆増	-				
長	期	前	受	金	49,794,493,760	皆増	-			
収	益	化	累	計	額	(△)	△16,616,884,231	皆増	-	
負	債	合	計	86,404,709,338	6142.15%	1,384,214,069				
資	本	金	8,618,621,808	△86.35%	63,129,066,029					
自	己	資	本	金	8,618,621,808	0.00%	8,618,621,808			
引	継	資	本	金	6,695,524,934	0.00%	6,695,524,934			
組	入	資	本	金	1,923,096,874	0.00%	1,923,096,874			
借	入	資	本	金	-	皆減	54,510,444,221			
企	業	債	-	皆減	54,510,444,221					
剩	余	金	4,206,382,416	△91.58%	49,959,892,064					
資	本	剩	余	金	54,628,223	△99.89%	49,638,169,899			
国	庫	補	助	金	52,947,515	△99.85%	35,879,466,351			
受	益	者	負	担	金	-	皆減	8,858,628,094		
工	事	負	担	金	-	皆減	223,677,308			
他	会	計	補	助	金	-	皆減	4,420,218,450		
受	贈	財	産	評	価	額	1,680,708	△99.34%	255,684,458	
そ	の	他	資	本	的	収	入	-	皆減	495,238
利	益	剩	余	金	4,151,754,193	1190.48%	321,722,165			
						4,151,754,193	1190.48%	321,722,165		
資	本	合	計	12,825,004,224	△88.66%	113,088,958,093				
負	債	資	本	合	計	99,229,713,562	△13.32%	114,473,172,162		

## (4) 資金の推移

(単位:円)

項目	年度		対前年度比
	平成26年度	平成25年度	
取	5,462,642,299	6,046,183,835	△9.65%
入			
事業収益	4,608,420,562	4,603,093,967	0.12%
前年度未収金	239,674,763	760,597,118	△68.49%
企業債	201,600,000	194,300,000	3.76%
国庫補助金	8,417,500	56,278,300	△85.04%
受益者負担金	86,346,116	89,777,800	△3.82%
工事負担金	9,810,200	16,652,000	△41.09%
他会計補助金	306,172,000	324,259,000	△5.58%
一時借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-
前払金戻入	-	-	-
契約保証金	2,139,396	1,143,713	87.06%
還付預り金	29,700	14,643	102.83%
その他預り金	-	-	-
資産売却代金	-	-	-
その他資本的収入	-	-	-
特別会計引継金	-	-	-
事業費用戻入	32,062	67,294	△52.36%
支	5,558,665,123	6,251,461,145	△11.08%
出			
事業費用	2,006,715,491	2,013,285,367	△0.33%
前年度未払金	178,594,509	927,112,631	△80.74%
建設改良費	294,934,157	361,263,989	△18.36%
企業債償還金	2,934,943,038	2,837,036,016	3.45%
受益者負担金返還金	83,420	372,750	△77.62%
一時借入金返済	-	-	-
短期貸付金	-	-	-
前払金	92,709,630	108,602,894	△14.63%
契約保証金返還	1,348,196	71,663	1781.30%
還付金	2,504,311	3,715,835	△32.60%
その他預り金	-	-	-
補助金返還金	5,593,725	-	皆増
引当金取崩	41,238,646	-	皆増
収支差引額	△96,022,824	△205,277,310	△53.22%
前年度末現金預金残高	4,918,979,409	5,124,256,719	△4.01%
当年度末現金預金残高	4,822,956,585	4,918,979,409	△1.95%

## (5) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度		
		構成比	対前年度比	構成比	対前年度比	
費用合計		5,607,055,996	100.00%	27.82%	4,386,667,841	100.00%
維持管理費①		970,539,618	17.31%	△0.87%	979,022,585	22.32%
職員給与費		104,243,926	1.86%	△5.93%	110,820,360	2.53%
動力費		181,004,269	3.23%	2.28%	176,976,577	4.03%
光熱水費		851,274	0.02%	△17.63%	1,033,468	0.02%
通信運搬費		3,864,920	0.07%	△6.05%	4,113,888	0.09%
修繕費		77,072,520	1.37%	△52.02%	160,629,203	3.66%
材料費		1,617,650	0.03%	△26.22%	2,192,435	0.05%
薬品費		42,650,000	0.76%	△12.98%	49,010,000	1.12%
路面復旧費		-	0.00%	-	-	0.00%
委託料		420,829,400	7.50%	6.65%	394,606,845	9.00%
その他		138,405,659	2.47%	73.79%	79,639,809	1.82%
資本費②		4,636,516,378	82.69%	36.06%	3,407,645,256	77.68%
支払利息		1,142,977,932	20.38%	△5.40%	1,208,182,542	27.54%
減価償却費		3,493,538,446	62.31%	58.84%	2,199,462,714	50.14%
その他		-	0.00%	-	-	0.00%
公費負担分		3,678,863,040	65.62%	50.58%	2,443,165,849	55.70%
維持管理費①'		19,452,000	0.35%	1.73%	19,121,000	0.44%
資本費②'		3,659,411,040	65.26%	50.96%	2,424,044,849	55.26%
使用料対象経費③		1,928,192,956	34.39%	△0.79%	1,943,501,992	44.30%
維持管理費①-①'		951,087,618	16.96%	△0.92%	959,901,585	21.88%
資本費②-②'		977,105,338	17.43%	△0.66%	983,600,407	22.42%

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度	
		対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比
年間有収水量 (m <sup>3</sup> ) ④		12,614,270	△1.01%		12,742,963
汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> ) ③/④		152.86	0.22%		152.52
維持管理分		75.40	0.09%		75.33
資本費分		77.46	0.35%		77.19
使用料収入 (円) ⑤		2,357,593,590	△0.63%		2,372,579,890
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> ) ⑤/④		186.90	0.38%		186.19

## (6) 固定資産の推移

### ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
土地		3,542,715,454	0.00%	3,542,715,454
施設用地		3,542,715,454	0.00%	3,542,715,454
建物		5,379,738,935	△20.26%	6,746,235,363
施設用建物		5,378,935,980	△20.26%	6,745,350,657
その他建物		802,955	△9.24%	884,706
構築物		75,961,201,453	△8.32%	82,853,853,787
排水設備		70,086,465,013	△7.27%	75,583,928,834
処理設備		5,407,774,819	△18.28%	6,617,250,642
その他構築物		466,961,621	△28.45%	652,674,311
機械及び装置		9,152,551,931	△42.81%	16,004,552,611
電気設備		2,983,195,145	△41.40%	5,090,679,058
内燃設備		96,326,304	△63.87%	266,643,184
ポンプ設備		1,222,614,426	△30.65%	1,762,980,701
滅菌設備		102,233,942	△54.56%	224,991,410
その他機械装置		4,748,182,114	△45.17%	8,659,258,258
車両運搬具		2,769,812	36.38%	2,030,898
工具器具及び備品		22,300,270	△36.77%	35,269,680
建設仮勘定		77,652,823	464.08%	13,766,187

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

### イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
地上権		-	皆減	85,618
地役権		882	△99.95%	1,765,052



## (7) 企業債残高の推移

### ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
財政 金融 資金	特別会計からの引継額	-	-	-
	借入額	201,600,000	3.76%	194,300,000
	返済額	1,015,012,335	6.89%	949,560,853
	年度末未償還残高	19,479,523,611	△4.01%	20,292,935,946
地方 金融 機構 団体	特別会計からの引継額	-	-	-
	借入額	-	-	-
	返済額	1,072,520,403	1.32%	1,058,599,305
	年度末未償還残高	16,907,454,081	△5.97%	17,979,974,484
保簡 険易 資金 生命	特別会計からの引継額	-	-	-
	借入額	-	-	-
	返済額	847,410,300	2.24%	828,875,858
	年度末未償還残高	15,390,123,491	△5.22%	16,237,533,791
合 計	特別会計からの引継額	-	-	-
	借入額	201,600,000	3.76%	194,300,000
	返済額	2,934,943,038	3.45%	2,837,036,016
	年度末未償還残高	51,777,101,183	△5.01%	54,510,444,221

### イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
1.0%未満		366,790,958	△2.24%	375,201,254
1.0%以上2.0%未満		20,071,927,493	△3.76%	20,857,149,626
2.0%以上3.0%未満		25,052,961,804	△4.80%	26,315,245,388
3.0%以上4.0%未満		4,004,868,216	△7.57%	4,332,975,770
4.0%以上5.0%未満		2,280,552,712	△13.28%	2,629,872,183
5.0%以上6.0%未満		-	-	-
6.0%以上7.0%未満		-	-	-
7.0%以上7.5%未満		-	-	-
7.5%以上8.0%未満		-	-	-
8.0%以上		-	-	-

## (8) 繰入金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
損 益 勘 定 繰 入 金	営業収益	-	-	-
	基準内繰入金	-	-	-
	基準外繰入金	-	-	-
資本 勘 定 繰 入 金	営業外収益	2,289,104,000	△1.09%	2,314,309,000
	基準内繰入金	2,288,541,000	△1.09%	2,313,658,000
	基準外繰入金	563,000	△13.52%	651,000
合 計	計	2,289,104,000	△1.09%	2,314,309,000
	基準内繰入金	2,288,541,000	△1.09%	2,313,658,000
	基準外繰入金	563,000	△13.52%	651,000
資本 勘 定 繰 入 金	資本勘定繰入金	306,172,000	△5.58%	324,259,000
	基準内繰入金	297,491,000	2.49%	290,275,000
	基準外繰入金	8,681,000	△74.46%	33,984,000
合 計	計	2,595,276,000	△1.64%	2,638,568,000
	基準内繰入金	2,586,032,000	△0.69%	2,603,933,000
	基準外繰入金	9,244,000	△73.31%	34,635,000

## (9) 経営分析

## ア 労働の生産性

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	8,687	↓ 548	9,235	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			9,511		
労働生産性 (千円)	上田市	196,605	↓ 1,193	197,798	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示し高いほどよい。
	全国平均			131,956		
労働分配率 (%)	上田市	4.42	↓ 0.25	4.67	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			7.21		
職員1人あたり有収水量 (m <sup>3</sup> /人)	上田市	1,051,189	↓ 10,725	1,061,914	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	全国平均			634,978		

## イ 施設の効率性

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	51.08	↓ 0.25	51.33	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			69.72		
負荷率 (%)	上田市	71.92	↑ 11.05	60.87	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{1日最大処理水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	全国平均			72.07		
最大稼働率 (%)	上田市	71.03	↓ 13.29	84.32	$\frac{\text{1日最大処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いため、注意が必要である。
	全国平均			96.75		
有収率 (%)	上田市	85.75	↓ 0.46	86.21	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間処理水量}} \times 100$	処理水量のうち、実際に使用料収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	全国平均			70.91		
管渠使用効率 (m <sup>3</sup> /m)	上田市	16.13	↓ 0.11	16.24	$\frac{\text{年間処理水量}}{\text{管渠総延長}}$	管1mあたり、年間どのくらいの汚水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	全国平均			39.89		

ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	△1.96	↓1.28	△0.68	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			0.47		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	△88.88	↓55.77	△33.11	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	全国平均			11.81		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.02	0.00	0.02	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			0.04		
経常収支比率 (%)	上田市	111.02	↑3.69	107.33	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	経常的な収支の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	全国平均			105.73		
使用料単価 (円/m)	上田市	186.90	↑0.71	186.19	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1m <sup>3</sup> 当たりの使用料。高いほど使用料水準が高いことを示す。
	全国平均			136.89		
汚水処理原価 (円/m)	上田市	152.86	↑0.34	152.52	$\frac{\text{汚水処理費用}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1m <sup>3</sup> 当たりの処理費用。高いほど使用料水準を高くする必要がある。
	全国平均			58.98		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	172.97	↑2.47	170.50	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	全国平均			132.22		
企業債 元金償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	124.49	↑4.91	119.58	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			98.18		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	48.48	↓2.44	50.92	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			34.04		
減価償却率 (%)	上田市	3.72	↑1.68	2.04	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	全国平均			2.07		

(注) 平均経営資本=(総資本(負債資本合計)-建設仮勘定-投資)の前年度末当年度末平均

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	94.87	↓0.52	95.39	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	全国平均			97.80		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	46.36	↓4.81	51.17	$\frac{\text{資本}+\text{繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	全国平均			43.78		
固定比率 (%)	上田市	204.64	↑18.22	186.42	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}+\text{繰延収益}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかをみる指標。理論上は100%以下が望ましい。
	全国平均			165.40		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	50.31	↑1.65	48.66	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			29.44		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	98.14	↑2.59	95.55	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	全国平均			98.90		
流動比率 (%)	上田市	154.19	↓2,633.59	2,787.78	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	全国平均			197.62		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	154.10	↓2,613.36	2,767.46	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	全国平均			158.09		

(注) この表では、借入資本金を資本ではなく固定負債に分類して算出を行っている。

\* 全国平均は、法適用(財務適用を含む)の公共下水道事業及び特定環境公共下水道事業の平均である。

\* 出典: 地方公営企業年鑑

### 3 業務の状況

#### (1) 業務量

年度		平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
A	行政区域内人口 (人)	156,593	△0.66%	157,630
B	対象区域内人口 (人)	126,325	△0.76%	127,297
C	整備済人口 (人)	125,793	△0.28%	126,152
D	処理区域内人口 (人)	125,793	△0.28%	126,144
E	水洗化人口 (人)	113,760	0.58%	113,109
C/A	整備率 (対行政区域内) (%)	80.33	/	80.03
C/B	(対対象区域内) (%)	99.58		99.10
D/A	普及率 (対行政区域内) (%)	80.33	/	80.03
D/B	(対対象区域内) (%)	99.58		99.09
E/A	水洗化率 (対行政区域内) (%)	72.65	/	71.76
E/B	(対対象区域内) (%)	90.05		88.85
E/D	(対処理区域内) (%)	90.43		89.67
F	処理区域内戸数 (戸)	51,776	0.77%	51,379
G	水洗化戸数 (戸)	46,337	1.60%	45,607
G/F	水洗化率 (%)	89.50	/	88.77
	整備面積 (ha)	4,309.82	0.23%	4,300.11
	処理可能面積 (ha)	4,309.82	0.24%	4,299.44
	使用料調定件数 (件)	298,716	1.58%	294,057
H	年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	14,711,303	△0.48%	14,782,025
I	年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	12,614,270	△1.01%	12,742,963
I/H	有収率 (%)	85.75	/	86.21

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

## (2) 水洗化人口の推移

(単位:人)

事業・処理区	年度	平成26年度末		平成25年度末	
		水洗化率	対前年度比		
上田公共下水道事業		90,130	90.62%	0.88%	89,347
上田処理区		48,331	94.23%	0.37%	48,152
南部処理区		25,025	87.99%	1.74%	24,598
別所温泉処理区		1,255	91.34%	△0.48%	1,261
中塩田処理区		7,943	83.73%	0.03%	7,941
神川東処理区		7,576	85.38%	2.45%	7,395
丸子公共下水道事業		18,570	89.27%	△0.49%	18,662
丸子処理区(丸子分区)		12,739	89.97%	△0.84%	12,847
西内処理区		1,019	93.74%	△5.03%	1,073
丸子処理区(依田分区)		4,812	86.61%	1.48%	4,742
真田公共下水道事業		5,060	91.52%	△0.78%	5,100
菅平処理区		690	94.65%	△2.54%	708
真田処理区		4,370	91.04%	△0.50%	4,392
計		113,760	90.43%	0.58%	113,109

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

## (3) 処理可能面積の推移

(単位:ha)

事業・処理区	年度	平成26年度末		平成25年度末
			対前年度比	
上田公共下水道事業		3,216.11	0.25%	3,207.98
上田処理区		1,777.57	0.03%	1,777.00
南部処理区		784.06	0.97%	776.50
別所温泉処理区		68.12	0.00%	68.12
中塩田処理区		330.25	0.00%	330.25
神川東処理区		256.11	0.00%	256.11
丸子公共下水道事業		767.71	0.29%	765.46
丸子処理区(丸子分区)		501.80	0.45%	499.55
西内処理区		85.00	0.00%	85.00
丸子処理区(依田分区)		180.91	0.00%	180.91
真田公共下水道事業		326.00	0.00%	326.00
菅平処理区		172.00	0.00%	172.00
真田処理区		154.00	0.00%	154.00
計		4,309.82	0.24%	4,299.44

(4) 受益者負担金・分担金の状況

(1㎡あたり・単位:円)

区分・処理区	期間	平成18年3月6日～
上田地域		560
丸子地域		810

(5) 収納状況の推移

ア 下水道使用料

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					前年との差	
平成25年度	2,491,208,876	2,462,664,886	28,543,990	98.85%	0.10	16,347,999
平成26年度	2,534,947,096	2,508,618,473	26,328,623	98.96%	0.11	11,795,389

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

イ 受益者負担金

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					前年との差	
平成25年度	89,255,610	86,079,310	3,176,300	96.44%	0.67	9,647,610
平成26年度	86,868,020	82,764,770	4,103,250	95.28%	△1.16	19,767,342

(注) それぞれ、5月末日時点の数値である。

(6) 下水道使用料の納付方法(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	平成26年度	
			構成比
口座振替		24,527	82.85%
直接納付		5,076	17.15%
コンビニエンスストア		3,749	12.66%
その他		1,327	4.48%
合計		29,603	100.00%

(注) 旧上田市で実施していたコンビニ収納を平成18年7月から全地域で始めた。

(7) 下水道排水設備資金融資利子補給制度

ア 制度の概要

融資限度額	100万円	利率	各金融機関の定める利率（市の利子補給率は1.9%以内）
償還方法	元金均等又は元利均等によるほか融資機関の定める方法		
利子補給期間	5年以内		
利子補給要件	① 下水道排水設備資金であること。（公共・特環区域内の一般住宅） ② 建築物の所有者又は所有者の同意を得た占有者 ③ 市税、受益者負担金、水道料金等を滞納していない者 ④ 供用開始後3年以内に排水設備工事が完了見込みの者。		
借入手続	各金融機関、上下水道局サービス課または各地域自治センター上下水道課窓口にて手続きをする。		

イ 融資利用状況

年度	確認申請戸数	融資利用戸数	利用率	利子補給件数	融資金額	利子補給額
	(戸)	(戸)	(%)	(件)	(千円)	(千円)
18年度	2,263	3	0.13	37	2,600	217
19年度	2,103	3	0.14	30	3,000	168
20年度	1,868	2	0.11	27	1,526	142
21年度	1,388	1	0.07	19	1,000	98
22年度	1,180	0	0.00	10	—	50
23年度	1,414	0	0.00	7	—	23
24年度	1,043	2	0.19	5	1,270	13
25年度	1,054	0	0.00	3	—	26
26年度	1,050	1	0.10	3	640	18

(注)平成20年度は地方公営企業法を適用した特環真田、菅平処理区の数値を含む。

ウ 制度の変遷

年度	融資限度額	約定利率	本人利率	市負担率	利子補給期間	備考
平成18年度	100万円	各金融機関 取決めによる		1.9%以内	5年以内	
19年度						
20年度						
21年度						
22年度						
23年度						
24年度						
25年度						
26年度	↓					↓

## 4 施設の状況

### (1) 処理場の状況

#### ア 上田終末処理場

処 理 区	上田処理区/神川東処理区
位 置	上田市秋和29番地
敷 地 面 積	約53,600㎡
処 理 方 式	標準活性汚泥法
供 用 開 始	昭和47年7月1日
放 流 先	千曲川
計 画 処 理 水 量	

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	36,900m <sup>3</sup> /日	33,600m <sup>3</sup> /日	28,200m <sup>3</sup> /日
日 最 大	46,400m <sup>3</sup> /日	42,000m <sup>3</sup> /日	35,250m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	68,200人	65,775人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:250mg/L・SS:180mg/L

BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計画流入水質  
計画放流水質  
主要施設

施設名称	形式及び能力	
管理棟	1階 RC造 事務所、宿直室、電気室、更衣室 2階 RC造 水質検査室、会議室、更衣室	延べ面積: 706.6㎡
沈砂棟	鉄骨造平屋建 沈砂池 平行流重力式 長8.0m×幅1.0m×深さ0.75m 長8.0m×幅1.6m×深さ0.75m	延べ面積: 412.29㎡ 2池 1池
汚水ポンプ室	立軸渦巻斜流ポンプ φ300×5.5m×10.0m <sup>3</sup> ×15kW φ400×5.5m×20.0m <sup>3</sup> ×15kW φ300×5.0m×11.0m <sup>3</sup> ×15kW φ400×5.0m×22.0m <sup>3</sup> ×30kW	1台 1台 1台 1台
1系流量計	1系流入流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ900 1系放流流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ1000	1基 1基
最初沈殿池	平行流長方形 RC造 長30.0m×幅10.0m×深さ2.8m×2池	3系列
反応タンク	散気式旋回流方式 RC造 長35.0m×幅6.0m×深さ5.0m×2池	5系列
最終沈殿池	平行流長方形 RC造 長28.0m×幅4.0m×深さ3.5m×2池 長28.0m×幅4.1m×深さ3.0m×2池	1系列 2系列
塩素滅菌室	塩素注入機 2kg/時	2台
送風機	多段式ターボブロワ φ300×70m <sup>3</sup> /min×5,800mmHg×130kW 多段式ターボブロワ(インレットペーン) φ300×80m <sup>3</sup> /min×56.8kpa×130kW	2台 1台
脱臭機	活性炭吸着方式 299m <sup>3</sup> /min 脱臭ファン 270m <sup>3</sup> /min×2.4Kpa×18.5kw 生物脱臭方式 角形充填塔式 29m <sup>3</sup> /min 脱臭ファン 29m <sup>3</sup> /min×3.5Kpa×5.5kw	1台 1台 1台 1台
砂ろ過器	移床式連続砂ろ過器 5.0m <sup>2</sup> 1,000m <sup>3</sup> /日	2台
スカム処理室	スカム分離機 回転ドラムスクリーン φ800×長28.0m	1台
汚泥ポンプ室	返送汚泥ポンプ φ200×6.3m <sup>3</sup> /min×14m×30kW 余剰汚泥ポンプ φ80×0.7m <sup>3</sup> /min×16m×7.5kW	2台 2台
汚泥貯留槽	内径7.0m×深4.0m・容量308m <sup>3</sup>	
機械濃縮棟	RC造 常圧浮上濃縮装置(NIAS) 内径2.3m×高3.2m×2.2kW	延べ面積: 80.60㎡ 2基
汚泥消化タンク	円錐形 RC造 嫌気性加温式段消化 φ12.0×9.0m	2槽
ガスタンク	有水式ガスホルダ 内径9.4m×高8.4m・容量500m <sup>3</sup>	2基



汚泥処理施設

施設名称	形式及び能力	
汚泥処理棟	RC造 ボイラー設備 炉筒煙管ボイラー	延べ面積: 706.6㎡ 1台
新汚泥処理棟	RC造 地下1階 地上3階 常圧浮上濃縮装置 浮上面積 7.2㎡ φ3.2×3.9mH 9.2kW 遠心脱水機 5㎡/時 15kW 活性炭吸着方式 44㎡/min 脱臭ファン 44㎡/min×2.0Kpa×5.5kw 生物脱臭方式 角形充填塔式 44㎡/min 監視制御施設 第1系列、第2系列、汚泥処理、焼却設備 受変電施設 第1系列、第2系列、汚泥処理、焼却設備	延べ床面積: 2,345.44㎡ 2基 3基 1台 1台 1台
消化タンク棟	RC造 地上4階 地下1階 温水器150,000kcal/min 熱交換器124,400kcal/min 消化汚泥引抜きポンプ φ100×1.0㎡/min×20m×7.5kw 濃縮汚泥移送リレーポンプ φ80×11㎡/min×30m×3.7kw 汚泥循環ポンプ φ100×1.0㎡/min×25m×11kw 消化槽:動力制御盤 コントロールセンタ 補助リレー盤 脱硫装置:動力制御盤 監視制御装置	延べ面積: 1,019㎡ 各1基 2台 2台 2台 一式 一式
消化タンク	PC造 2,400㎡ φ16m H=26.5m スクリュュー式攪拌機 11kw ドラフトチューブ φ500×13.5m	1基 1台 1台
脱硫棟	鉄骨造 平屋 高機能脱硫装置 85Nm <sup>3</sup> /h×0.9MPa×4kw 消化ガス圧縮機 85Nm <sup>3</sup> /h×0.9MPa×45kw(VVVF) 高圧水給水ポンプ 35㎡/h×140m×22kw(VVVF) 受水槽 FRP10㎡ 生物脱臭方式 角形充填塔式 2.8㎡/min 余剰ガス燃焼装置 φ1.7m H=10m 170Nm <sup>3</sup> /h	延べ面積: 172㎡ 1基 2基 2基 1基 1基 1基
ガスホルダ	横型円筒形ガスホルダ φ3.0m L=9.5m 0.97MPa 容量74㎡	1基
バイオガス充填機	第2種製造 72Nm <sup>3</sup> /日 19.6MPa	1基
トイレ棟	男子(小便器1基、洋式便器1基)女子(洋式便器1基) 手洗器各1台	延べ面積: 15.7㎡
焼却棟	鉄骨造 流動床式汚泥焼却炉 能力25t/日 空気予熱器 60.4㎡×1,520MJ/h×650℃ 白煙防止予熱器 60.7㎡×1,063MJ/h×300℃ サイクロン φ565mm×高5,175mm 5,400㎡/h 電気集塵機 乾式上向流式 6,100㎡ 55kW	延べ面積: 731.21㎡ 1基 1基 1基 1基 1基
電気棟	RC造 地下1階 地上2階	延べ面積: 707.72㎡

第2系列水処理施設

施設名称	形式及び能力
水処理棟	RC造 地上2階 延べ面積: 1,681.5m <sup>2</sup> 送風機室、脱臭機室、換気機械室、電気室、スカム処理室、砂ろ過機室、塩素注入室
流量計	流入流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ600 1基 放流流量計 電磁式流量計 潜水式 φ400 1基
最初沈殿池	平行流長方形 長18.0m×幅3.5m×深さ3.0m×2池 1/2列
反応タンク	散気式全面曝気方式、水中攪拌式曝気方式 長53.1m×幅7.5m×深さ5.5m×1池 1/2列
最終沈殿池	平行流長方形 長45.0m×幅3.5m×深さ3.5m×2池 1/2列
送風機	ルーツ式ブロワ φ150×24m <sup>3</sup> /min×75.5Kpa×55kw 2台
脱臭機	活性炭吸着方式 30m <sup>3</sup> /min 1/2台 脱臭ファン 30m <sup>3</sup> /min×2Kpa×3.7kw 1/2台
スカム分離機	スカム分離機 脱水機構付ドラムスクリーン φ780×長3.5m×2.4m <sup>3</sup> /min×1.5kw 1台
消毒設備	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ φ25×0.1~0.55l/min×0.4kw 2台
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150×2.2m <sup>3</sup> /min×4m×3.7kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ100×0.7m <sup>3</sup> /min×4m×2.2kW 2台
電気計装設備	変電設備 6kv 一式 運転操作設備 コントロールセンタ、補助継電器盤、プログラマブルコントローラ、動力制御盤、インバータ式可変速制御装置 一式 計装設備 一式

イ 南部終末処理場

処 理 区 南部処理区/中塩田処理区  
 位 置 上田市下之条1155-15  
 敷 地 面 積 約40,000m<sup>2</sup>  
 処 理 方 式 標準活性汚泥法  
 供用開始年月日 平成11年12月1日  
 放 流 先 鯉座川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	15,200m <sup>3</sup> /日	14,000m <sup>3</sup> /日	16,800m <sup>3</sup> /日
日 最 大	19,400m <sup>3</sup> /日	17,900m <sup>3</sup> /日	21,450m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	41,600人	39,558人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

計画流入水質 BOD:200mg/L・SS:190mg/L  
 計画放流水質 BOD:15mg/L・SS:30mg/L  
 主要施設

施設名称	形式及び能力
管理棟	1階 事務室、作業員控室、宿直室、理化学実験室、自家発電機室 2階 会議室、電気室、管理制御室 延べ面積: 1,763.1m <sup>2</sup> 自家発電機 単純開放サイクル1軸式ガスタービン 581PS 交流発電機 500kVA、6,600V 1台
沈殿池	平行重力式 長6.0m×幅2.0m×深2.0m 1池
水中ポンプ	水中ベレードレスポンプ φ200mm×3.7m <sup>3</sup> /分×13m×15kW 2台 φ250mm×7.4m <sup>3</sup> /分×13m×37kW 2台
流量計	電磁流量計 φ300mm 1基
最初沈殿池	平行流式長方形沈殿池 長14.9m×幅5.1m×深3.0m 6池
反応タンク	水中攪拌式曝気方式 長43.9m×幅10.6m×深5.5m 2池 散気式全面曝気方式、水中攪拌式曝気方式 長43.9m×幅10.6m×深5.5m 1池
最終沈殿池	平行流式長方形沈殿池 長39.9m×幅5.1m×深3.5m 6池
塩素混和池	次亜塩素酸ソーダ流入ポンプ 0.04~0.20/分 2台 0.02~0.40/分 2台
送風機	ルーツ式ブローア φ150mm×25m <sup>3</sup> /分×60.8kpa×55kW 4台
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150mm×2.6m <sup>3</sup> /分×6.5m×7.5kW 2台 φ150mm×2.5m <sup>3</sup> /分×5.0m×5.5kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ100mm×0.7m <sup>3</sup> /分×13m×7.5kW 4台 初沈生汚泥ポンプ φ100mm×0.6m <sup>3</sup> /分×15m×7.5kW 4台
重力濃縮機	直径6.7m×深3.6m・容量 127m <sup>3</sup> 2台
汚泥処理棟	造粒濃縮機 延べ面積: 2,077.4m <sup>2</sup> 360kgDS/時 II型 1.5kw 1台 汚泥脱水機 ベルトプレス ろ布幅2.0m 1台 汚泥脱水機 圧入式スクレープレス φ800 290 kgDS/h 1台

ウ 丸子浄化センター

処 理 区 丸子処理区(丸子分区・依田分区)  
 位 置 上田市生田2600  
 敷 地 面 積 約30,000㎡  
 処 理 方 式 オキシデーシオンディッチ法  
 供 用 開 始 平成11年3月27日  
 放 流 先 依田川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	9,500m <sup>3</sup> /日	8,800m <sup>3</sup> /日	7,100m <sup>3</sup> /日
日 最 大	11,700m <sup>3</sup> /日	10,800m <sup>3</sup> /日	8,800m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	20,100人	19,266人	

計画流入水質 BOD:250mg/L・SS:210mg/L  
 計画放流水質 BOD:15mg/L・SS:30mg/L  
 主要施設

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階建 RC造 延べ床面積: 421.86㎡ 1階 会議室、水質試験室、倉庫 2階 事務室、集中監視室
沈砂池ポンプ棟	地上2階地下2階 延べ床面積: 773.56㎡ 水中汚水ポンプ φ150mm×2.5m <sup>3</sup> ×21m×15kW 2台 φ250mm×5.0m <sup>3</sup> ×20m×30kW 2台 揚砂ポンプ φ100mm×0.3m <sup>3</sup> ×27m×22kW 1台 破碎機 立軸ドラム回転式 1.5kW 1台 スクリーンユニット 1,200×3,750×1,300mm 1.54kW 1台 活性炭吸着塔 立形3層式 16m <sup>3</sup> /min 1台
反応タンク	オキシデーシオンディッチ RC造 43.6m×23.55m×5.15m 実長150.2m×幅5.5m×深3.0m 4池
最終沈殿池	RC造 直径 20.8m×深さ 4.75m 4池 掻寄機 中央駆動支柱形 φ20.0m×水深3.5m×0.4kW 4台
塩素混和池	地上1階地下1階 RC造 延べ床面積: 69.68㎡ φ1,600mm、H=2,000mm 最大貯留容量6.3m <sup>3</sup> 2基
曝気装置	縦軸型 機械式 φ2300×22kW 酸素供給能力28.8kgO <sub>2</sub> /kWH以上×22kW 6基 酸素供給能力46.2kgO <sub>2</sub> /kWH以上×30kW 2基
汚泥棟	地上3階 地下1階 RC造 延べ床面積: 1,395.16㎡ 脱水機 多重円盤型スクリュープレス(5軸) 2.0kW 2台 ケーキホッパ 角形電動開閉式 12m <sup>3</sup> 1台 活性炭吸着塔 立形3層式 10m <sup>3</sup> /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ100×1.7m <sup>3</sup> /min×8m×5.5kW 6台 返送汚泥ポンプ φ150×3.4m <sup>3</sup> /min×7m×1.1kW 1台 余剰汚泥ポンプ φ80×0.6m <sup>3</sup> /min×13m×3.7kW 3台 φ100×0.6m <sup>3</sup> /min×18m×5.5kW 2台

エ 別所温泉終末処理場

処 理 区 別所温泉処理区  
 位 置 上田市別所温泉字山王田9-1  
 敷 地 面 積 約9,940㎡  
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法  
 供 用 開 始 平成7年12月1日  
 放 流 先 湯川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	900m <sup>3</sup> /日	900m <sup>3</sup> /日	1,700m <sup>3</sup> /日
日 最 大	1,260m <sup>3</sup> /日	1,240m <sup>3</sup> /日	2,400m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	4,900人	4,837人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

BOD:170mg/L・SS:90mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階建 RC造 延べ床面積: 512.76㎡ 1階 会議室、水質試験室 2階 電気室、倉庫
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 長130.6m×幅4.0m×深2.5m 2池
最終沈殿池	RC造 直径14.0m×深さ3.5m 2池 掻寄機 中央駆動式懸垂形 φ14m×水深3.5m×0.4kW 2台
塩素接触タンク	RC造 長19.5m×幅1.0m×深1.25m 塩素接触装置 導入水溶解型 175m <sup>3</sup> /時 1池
曝気装置	スクリーパー形曝気機 酸素供給能力2.0kgO <sub>2</sub> /kWh以上×4.5kW 6台
汚泥分配槽	鋼板製分配槽 約1.0W×3.0L×1.5H
機械棟	地上1階 地下1階 RC造 延べ床面積: 702.94㎡ 造粒濃縮装置 ベストユニット 処理量0.1tDS/時 7.75kW 1基 脱水機 ベルトプレス ろ布幅1.0m 2.25kW 1台 ケーキホッパ 鋼板製角型電動カットゲージ式 6m <sup>3</sup> 1基 活性炭吸着塔 立型充填塔(カートリッジ) 20m <sup>3</sup> /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150×1.3m <sup>3</sup> /min×9m×3.7kW 3台 余剰汚泥ポンプ φ125×8.3~25m <sup>3</sup> /時×10mH×11kW 2台
砂ろ過器	移床式上向流連続砂ろ過器 100m <sup>3</sup> /日 1基

オ 西内浄化センター

処 理 区	西内処理区
位 置	上田市平井1756-5
敷 地 面 積	約11,670m <sup>2</sup>
処 理 方 式	オキシデーシオンディッチ法
供 用 開 始	昭和62年12月15日
放 流 先	内村川
計 画 処 理 水 量	

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	2,000m <sup>3</sup> /日	1,900m <sup>3</sup> /日	2,600m <sup>3</sup> /日
日 最 大	2,500m <sup>3</sup> /日	2,400m <sup>3</sup> /日	3,300m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	3,700人	3,651人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:100mg/L・SS:80mg/L

BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計画流入水質  
計画放流水質  
主要施設

施設名称	形式及び能力
管理機械棟	地上2階地下1階 RC造 延べ床面積: 796.64m <sup>2</sup> B1階 機械室 1階 事務室兼監視室、水質試験室、機械室 2階 会議室、電気室
反応タンク	オキシデーシオンディッチ RC造 長52.4m×幅10.4m×深5.2m 実長98m×幅4.6m×深3.1m 3池
最終沈殿池	RC造 直径10.8m×深さ5.1m 2池 直径14.3m×深さ5.1m 2池 揺寄機 中央駆動式懸垂形 φ10m×水深5.1m×0.4kW 2台 中央駆動式懸垂形 φ13m×水深2.5m×0.4kW 2台
塩素接触タンク	塩素接触装置 導入水型 φ420×H900 1基
曝気装置	横軸ローター φ1,000×2,500mmL 2基×3池 ベベルヘリカル減速機 減速比1/18インバータ制御 200V×60Hz 6基
機械棟	脱水機 多重円盤外銅スクリーブレス 1基 脱水機 ベルトプレス長4.4m×幅1.35m×高2m 2.65kW 1台 コンベア トラフ形コンベア ベルト500mm×機長13m15° 1台 ケーキホッパ 角形鋼板製電動式ホッパー 4m <sup>3</sup> 1基 活性炭吸着塔 角形定着式鋼板製吸着棟 20m <sup>3</sup> /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ100×0.77m <sup>3</sup> /min×4m×1.5kW 2台 返送汚泥ポンプ φ150×1.5m <sup>3</sup> /min×4m×1.5kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ65×0.4m <sup>3</sup> /min×10m×1.5kW 2台

カ 菅平浄化センター

処 理 区 菅平処理区  
 位 置 上田市菅平高原1278-2826  
 敷 地 面 積 約22,000m<sup>2</sup>  
 処 理 方 法 オキシデーションディッチ法  
 供 用 開 始 昭和60年6月24日  
 放 流 先 神川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	1,900m <sup>3</sup> /日	1,900m <sup>3</sup> /日	1,900m <sup>3</sup> /日
日 最 大	4,500m <sup>3</sup> /日	4,400m <sup>3</sup> /日	4,500m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	9,200人	9,016人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:350mg/L・SS:200mg/L  
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計画流入水質  
 計画放流水質  
 主要施設

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階地下2階 RC造 延べ床面積: 1,631.7m <sup>2</sup> 1階 自家発電気室、宿直室、受変電気室 2階 事務室、水質試験室、会議室、中央管理室
沈砂池棟	RC造 延べ床面積: 180m <sup>2</sup> エアレーション沈砂池 長2.0×幅2.0×深さ2.5m 2池
調整槽	長16.3m×幅3.73×深さ3.1m 4池 ブロー φ80mm×3m <sup>3</sup> ×3.5mAq×3.7kW 2台 φ100mm×6.4m <sup>3</sup> ×3.5mAq×7.5kW 2台
流量計	パーシャルフリューム流量計 スロート幅 9cm 1基
オキシデーション ディッチ棟	平屋建 RC造 延べ床面積: 496.77m <sup>2</sup>
反応タンク (OD)	オキシデーションディッチ RC造 水路長55.6m×幅6.2m×有効水深5.0m 2池
最終沈殿池	地上1階 地下1階 RC造 放射流式円形 RC造 内径19m×深さ4.3m 2池
汚泥棟	地上1階 地下1階 RC造 延べ面積: 383.06m <sup>2</sup> 脱水機室、搬出室、換気機械室

キ 真田浄化センター

処 理 区 真田処理区  
 住 所 上田市真田町長6247-1  
 敷 地 面 積 約5,570㎡  
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法  
 供 用 開 始 平成9年4月1日  
 放 流 先 神川  
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	1,600m <sup>3</sup> /日	1,600m <sup>3</sup> /日	2,500m <sup>3</sup> /日
日 最 大	2,000m <sup>3</sup> /日	2,000m <sup>3</sup> /日	3,200m <sup>3</sup> /日
計画処理人口	5,000人	4,978人	

計画流入水質 BOD:260mg/L・SS:180mg/L  
 計画放流水質 BOD:15mg/L・SS:30mg/L  
 主要施設

施設名称	形式及び能力
管理汚泥棟	地上2階地下1階 RC造 延べ床面積: 1,092㎡ 1階 事務・管理制御室、水質試験室、会議室、宿直室 2階 換気機械室 地下1階 電気室、脱水機室、搬出室、汚泥貯留槽、濃縮タンク 遠心脱水機 処理能力 7m <sup>3</sup> /日 1基
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 水路長120.4m×幅9.0m×有効水深3.0m 2池
最終沈殿池	RC造 直径 16.0m×有効水深 3.5m 放射流円形 2池
塩素接触水路	RC造 水路幅1.0m×水路長31m×深さ1.1m 1水路
汚泥貯留濃縮槽	内径4.0m×深さ3.0m 1槽
汚泥貯留槽	幅4.0m×長さ4.0m×深さ3.0m 1槽





## (2) ポンプ場の状況

### ア 上塩尻中継ポンプ場

処 理 区 上田処理区  
 住 所 上田市上塩尻彦坊941-14  
 敷 地 面 積 2,000m<sup>2</sup>  
 供 用 開 始 平成2年12月

#### 主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 2階建 延べ床面積: 646.44m <sup>2</sup>
流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製角形ゲート(電動自動下降式) W500×H750×0.4kW 2門
自動除塵機	全面掻揚形間欠式 目巾200mm×75° ×0.75kw 1台
しき搬出コンベア	No.1 トラフ形ベルトコンベア W500×L約8m×1.5kw 1台 No.2 横棧耳付傾斜コンベア W500×水平9.4m×1.5kW 1台
揚砂ポンプ	水中汚水ポンプ φ100×0.75m <sup>3</sup> /分×29m×11kw 1台
沈砂掻寄機	スクリーコンベア式 φ300×1.3m <sup>3</sup> /時×0.75kw 1台
しき脱水機	スクリー式 約1m <sup>3</sup> /時×5.5kw+0.4kw 1台
汚水ポンプ	スクリー遠心型水中ポンプ φ200×5.3m <sup>3</sup> /分×45kw 3台
脱臭設備	活性炭吸着塔 二層カートリッジ式 26m <sup>3</sup> /分 1台 脱臭ファン 耐食性ターボファン 2.2kw 1台
遠方監視制御装置	屋内自立形 200bit/s 1面
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 1台

### イ 下塩尻中継ポンプ場

処 理 区 上田処理区  
 住 所 上田市下塩尻字下川原 1688  
 敷 地 面 積 2,000m<sup>2</sup>  
 供 用 開 始 平成4年10月

#### 主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 1階建 延べ床面積: 295.76m <sup>2</sup>
流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製角形ゲート(電動式) W400×H600×0.4kw 1門
破碎機	立軸回転式 7,000m <sup>3</sup> /日 φ381×42rpm×0.75kw 1台
汚水ポンプ	吸込スクリー付遠心型水中ポンプ φ150×2.4m <sup>3</sup> /分×27m×22kw 3台
ポンプ井攪拌機	水中プロペラ式 φ200×7.2m <sup>3</sup> /分×1,130rpm×1.1kw 1台
脱臭設備	活性炭吸着塔 三層カートリッジ式 10m <sup>3</sup> /分 1台 脱臭ファン 片吸込ターボファン 1.5kw 1台
遠方監視制御装置	屋内自立形 200bit/s 1面
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ3W 420V 60Hz 100KVA 300PS 1台

ウ 神川東中継ポンプ場

処 理 区 神川東処理区  
 住 所 上田市岩下字加賀川原15-3  
 敷 地 面 積 2,365m<sup>2</sup>  
 供 用 開 始 平成15年12月

主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 2階建 地下1階 延べ床面積: 444.32m <sup>2</sup>
流入ゲート	主流入ゲート 外ネジ式丸形铸铁製(電動式) φ600×0.4kw 1門 流入ゲート 外ネジ式角形铸铁製(手動式) W600×H600 2門
自動除塵機	ダブルチェーン式背面かき揚げ形 目巾2.5mm×60° ×0.4kw 1台
しき脱水機	二軸対向スクルー式 600L/H投入形 0.75kw×200V×60Hz 1台
汚水ポンプ	吸込スクルー付水中汚水ポンプ φ200×3.8m <sup>3</sup> /分×22m×30kw 2台
脱臭設備	活性炭吸着塔 カートリッジ式 14m <sup>3</sup> /分 1台 脱臭ファン 片吸込ターボファン 1.5kw 1台
給水装置	給水ユニット 40L/分×22m 0.4kw×2 1台
井戸ポンプ	水中井戸ポンプ 160L/分×40m 2.2kw 1台
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ3W 200V 60Hz 175KVA 1台

## (3) 管渠延長等の状況

公共下水道計

(単位:m)

管種・口径		年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
			布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	30,097.8	0.0	0.0	30,097.8
	400~500mm	19,704.6	0.0	0.0	19,704.6
	600~800mm	19,786.5	0.0	0.0	19,786.5
	900mm以上	3,383.7	0.0	0.0	3,383.7
	ヒューム管延長計	72,972.6	0.0	0.0	72,972.6
陶管	250mm以下	21,989.7	0.0	0.0	21,989.7
	300mm	3,522.5	0.0	0.0	3,522.5
	350~800mm	699.5	0.0	0.0	699.5
	陶管延長計	26,211.7	0.0	0.0	26,211.7
塩化ビニール管	200mm以下	654,583.9	2,322.7	0.0	652,261.2
	250mm	122,808.7	0.0	0.0	122,808.7
	300~800mm	13,628.2	0.0	0.0	13,628.2
	塩化ビニール管延長計	791,020.8	2,322.7	0.0	788,698.1
FRP管(全口径)		3,806.5	0.0	0.0	3,806.5
鋳鉄管(全口径)		15,997.1	0.0	0.0	15,997.1
鋼管(全口径)		596.2	0.0	0.0	596.2
その他		1,780.6	0.0	0.0	1,780.6
管路延長計		912,385.5	2,322.7	0.0	910,062.8

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	平成26年度		平成25年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	726	0	0	726
	750mm(0号)	958	0	0	958
	900mm(1号)	21,835	47	0	21,788
	1,200mm(2号)	840	0	0	840
	1,500mm(3号)	102	0	0	102
	1,800mm	3	0	0	3
	小判型	28	0	0	28
	矩形	3	0	0	3
	特殊	521	0	0	521
	小口径・楕円	13,986	120	0	13,866
	マンホール計	39,002	167	0	38,835
	マンホールポンプ	125	2	0	123

ア 上田処理区

(単位:m)

管種・口径		年度 年度末 延長	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
			布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	7,684.0	0.0	0.0	7,684.0
	400~500mm	5,696.1	0.0	0.0	5,696.1
	600~800mm	12,317.6	0.0	0.0	12,317.6
	900mm以上	2,868.3	0.0	0.0	2,868.3
	ヒューム管延長計	28,566.0	0.0	0.0	28,566.0
陶管	250mm以下	19,325.6	0.0	0.0	19,325.6
	300mm	3,027.2	0.0	0.0	3,027.2
	350~800mm	699.5	0.0	0.0	699.5
	陶管延長計	23,052.3	0.0	0.0	23,052.3
塩化ビニール管	200mm以下	162,750.1	242.5	0.0	162,507.6
	250mm	95,841.0	0.0	0.0	95,841.0
	300~800mm	7,762.0	0.0	0.0	7,762.0
	塩化ビニール管延長計	266,353.1	242.5	0.0	266,110.6
FRP管(全口径)		3,615.1	0.0	0.0	3,615.1
鋳鉄管(全口径)		5,189.7	0.0	0.0	5,189.7
鋼管(全口径)		405.9	0.0	0.0	405.9
その他		204.7	0.0	0.0	204.7
管路延長計		327,386.8	242.5	0.0	327,144.3

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	平成26年度		平成25年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	723	0	0	723
	750mm(0号)	444	0	0	444
	900mm(1号)	8,171	3	0	8,168
	1,200mm(2号)	356	0	0	356
	1,500mm(3号)	61	0	0	61
	1,800mm	3	0	0	3
	小判型	28	0	0	28
	矩形	3	0	0	3
	特殊	79	0	0	79
	小口径・楕円	3,363	12	0	3,351
	マンホール計	13,231	15	0	13,216
	マンホールポンプ	27	0	0	27

イ 南部処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成26年度		平成25年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	1,069.4	0.0	0.0	1,069.4
	400～500mm	9,455.3	0.0	0.0	9,455.3
	600～800mm	2,618.9	0.0	0.0	2,618.9
	900mm以上	229.5	0.0	0.0	229.5
	ヒューム管延長計	13,373.1	0.0	0.0	13,373.1
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	132,062.2	1,626.1	0.0	130,436.1
	250mm	5,820.1	0.0	0.0	5,820.1
	300～800mm	2,242.7	0.0	0.0	2,242.7
	塩化ビニール管延長計	140,125.0	1,626.1	0.0	138,498.9
FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0	
鋳鉄管(全口径)	1,896.7	0.0	0.0	1,896.7	
鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	688.5	0.0	0.0	688.5	
管路延長計	156,083.3	1,626.1	0.0	154,457.2	

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成26年度		平成25年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	3	0	0	3
	750mm(0号)	344	0	0	344
	900mm(1号)	3,370	42	0	3,328
	1,200mm(2号)	378	0	0	378
	1,500mm(3号)	0	0	0	15
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	1
	小口径・楕円	2,848	83	0	2,765
	マンホール計	6,959	125	0	6,834
マンホールポンプ	27	2	0	25	

ウ 丸子処理区(丸子分区)

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成26年度		平成25年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	3,880.9	0.0	0.0	3,880.9
	400~500mm	2,438.4	0.0	0.0	2,438.4
	600~800mm	2,830.9	0.0	0.0	2,830.9
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	9,150.2	0.0	0.0	9,150.2
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	109,469.6	239.0	0.0	109,230.6
	250mm	419.8	0.0	0.0	419.8
	300~800mm	70.3	0.0	0.0	70.3
	塩化ビニール管延長計	109,959.7	239.0	0.0	109,720.7
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	铸铁管(全口径)	18.8	0.0	0.0	18.8
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	35.6	0.0	0.0	35.6
	管路延長計	119,164.3	239.0	0.0	118,925.3

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成26年度		平成25年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	4,572	2	0	4,570
	1,200mm(2号)	60	0	0	60
	1,500mm(3号)	3	0	0	3
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	432	0	0	432
	小口径・楕円	3,527	22	0	3,505
	マンホール計	8,594	24	0	8,570
マンホールポンプ	14	0	0	14	

(注) マンホール・マンホールポンプの設置個数は、依田分区を含む。

エ 別所温泉処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 延長・個数	平成26年度		平成25年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400~500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
陶管	250mm以下	608.8	0.0	0.0	608.8
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	608.8	0.0	0.0	608.8
塩化ビニール管	200mm以下	11,392.9	0.0	0.0	11,392.9
	250mm	349.7	0.0	0.0	349.7
	300~800mm	832.6	0.0	0.0	832.6
	塩化ビニール管延長計	12,575.2	0.0	0.0	12,575.2
FRP管(全口径)		87.0	0.0	0.0	87.0
鋳鉄管(全口径)		263.1	0.0	0.0	263.1
鋼管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
その他		0.0	0.0	0.0	0.0
管路延長計		13,534.1	0.0	0.0	13,534.1

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	平成26年度		平成25年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	5	0	0	5
	900mm(1号)	451	0	0	451
	1,200mm(2号)	4	0	0	4
	1,500mm(3号)	2	0	0	2
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	187	0	0	187
	マンホール計	649	0	0	649
	マンホールポンプ	4	0	0	4



オ 中塩田処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	平成26年度			平成25年度
		年度末 延長・個数	布設・設置	除却・撤去	年度末 延長・個数
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400~500mm	719.7	0.0	0.0	719.7
	600~800mm	1,929.3	0.0	0.0	1,929.3
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	2,649.0	0.0	0.0	2,649.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	60,656.0	26.1	0.0	60,629.9
	250mm	8,586.4	0.0	0.0	8,586.4
	300~800mm	678.1	0.0	0.0	678.1
	塩化ビニール管延長計	69,920.5	26.1	0.0	69,894.4
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	1,907.8	0.0	0.0	1,907.8
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0
	管路延長計	74,477.3	26.1	0.0	74,451.2

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成26年度		平成25年度
			設置	撤去	年度末 個数
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	71	0	0	71
	900mm(1号)	1,481	0	0	1,481
	1,200mm(2号)	21	0	0	21
	1,500mm(3号)	1	0	0	1
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	6	0	0	6
	小口径・楕円	1,330	3	0	1,327
	マンホール計	2,910	3	0	2,907
マンホールポンプ	13	0	0	13	

## カ 神川東処理区

(単位:m・個・箇所)

年度 管種・口径		年度末 延長・個数	平成26年度		平成25年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	698.7	0.0	0.0	698.7
	400~500mm	1,175.0	0.0	0.0	1,175.0
	600~800mm	50.8	0.0	0.0	50.8
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	1,924.5	0.0	0.0	1,924.5
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	46,641.4	0.0	0.0	46,641.4
	250mm	3,080.4	0.0	0.0	3,080.4
	300~800mm	418.6	0.0	0.0	418.6
	塩化ビニール管延長計	50,140.4	0.0	0.0	50,140.4
FRP管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
鋳鉄管(全口径)		1,976.9	0.0	0.0	1,976.9
鋼管(全口径)		138.0	0.0	0.0	138.0
その他		0.0	0.0	0.0	0.0
管路延長計		54,179.8	0.0	0.0	54,179.8

(単位:個・箇所)

年度 管種・口径		年度末 個数	平成26年度		平成25年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	35	0	0	35
	900mm(1号)	1,248	0	0	1,248
	1,200mm(2号)	13	0	0	13
	1,500mm(3号)	3	0	0	3
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	2	0	0	2
	小口径・楕円	1,110	0	0	1,110
	マンホール計	2,411	0	0	2,411
マンホールポンプ		11	0	0	11

キ 丸子処理区(依田分区)

(単位:m)

管種・口径	年度	平成26年度		平成25年度 年度末 延長	
		年度末 延長	布設 除却		
ヒューム管	350mm以下	598.0	0.0	0.0	598.0
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	598.0	0.0	0.0	598.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	63,310.9	189.0	0.0	63,121.9
	250mm	599.4	0.0	0.0	599.4
	300～800mm	58.7	0.0	0.0	58.7
	塩化ビニール管延長計	63,969.0	189.0	0.0	63,780.0
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	189.0	0.0	0.0	189.0
	鋼管(全口径)	20.5	0.0	0.0	20.5
	その他	210.7	0.0	0.0	210.7
	管路延長計	64,987.2	189.0	0.0	64,798.2

(注) マンホール・マンホールポンプの設置個数は、丸子分区に含まれている。

ク 西内処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 延長・個数	平成26年度		平成25年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	10,069.1	0.0	0.0	10,069.1
	400~500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	10,069.1	0.0	0.0	10,069.1
陶管	250mm以下	2,055.3	0.0	0.0	2,055.3
	300mm	495.3	0.0	0.0	495.3
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	2,550.6	0.0	0.0	2,550.6
塩化ビニール管	200mm以下	6,232.3	0.0	0.0	6,232.3
	250mm	54.9	0.0	0.0	54.9
	300~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	塩化ビニール管延長計	6,287.2	0.0	0.0	6,287.2
FRP管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
鋳鉄管(全口径)		2,232.1	0.0	0.0	2,232.1
鋼管(全口径)		31.8	0.0	0.0	31.8
その他		284.0	0.0	0.0	284.0
管路延長計		21,454.8	0.0	0.0	21,454.8

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	平成26年度		平成25年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	47	0	0	47
	900mm(1号)	660	0	0	660
	1,200mm(2号)	0	0	0	0
	1,500mm(3号)	4	0	0	4
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	191	0	0	191
	マンホール計	902	0	0	902
	マンホールポンプ	8	0	0	8

ケ 管平処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 延長・個数	平成26年度		平成25年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	4,942.3	0.0	0.0	4,942.3
	400~500mm	220.1	0.0	0.0	220.1
	600~800mm	39.0	0.0	0.0	39.0
	900mm以上	285.9	0.0	0.0	285.9
	ヒューム管延長計	5,487.3	0.0	0.0	5,487.3
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	7,432.6	0.0	0.0	7,432.6
	250mm	7,228.3	0.0	0.0	7,228.3
	300~800mm	1,415.2	0.0	0.0	1,415.2
	塩化ビニール管延長計	16,076.1	0.0	0.0	16,076.1
FRP管(全口径)		104.4	0.0	0.0	104.4
鋳鉄管(全口径)		1,780.2	0.0	0.0	1,780.2
鋼管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
その他		102.2	0.0	0.0	102.2
管路延長計		23,550.2	0.0	0.0	23,550.2

(単位:個・箇所)

管種・口径		年度 年度末 個数	平成26年度		平成25年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	12	0	0	12
	900mm(1号)	621	0	0	621
	1,200mm(2号)	3	0	0	3
	1,500mm(3号)	9	0	0	9
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	21	0	0	21
	マンホール計	666	0	0	666
マンホールポンプ		7	0	0	7

コ 真田処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成26年度		平成25年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	1,155.4	0.0	0.0	1,155.4
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	1,155.4	0.0	0.0	1,155.4
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	54,635.9	0.0	0.0	54,635.9
	250mm	828.7	0.0	0.0	828.7
	300～800mm	150.0	0.0	0.0	150.0
	塩化ビニール管延長計	55,614.6	0.0	0.0	55,614.6
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	542.8	0.0	0.0	542.8
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	254.9	0.0	0.0	254.9
	管路延長計	57,567.7	0.0	0.0	57,567.7

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成26年度		平成25年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	1,261	0	0	1,261
	1,200mm(2号)	5	0	0	5
	1,500mm(3号)	4	0	0	4
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	1	0	0	1
	小口径・楕円	1,409	0	0	1,409
	マンホール計	2,680	0	0	2,680
マンホールポンプ	14	0	0	14	

## (4) 処理水量の推移

(単位: m<sup>3</sup>・m<sup>3</sup>/日)

処理場名 項目	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
処理場 処理水量 合計	14,711,302	△0.48%	14,782,025
上田終末処理場			
処理水量	7,937,896	△1.50%	8,058,878
月最大	714,394	△1.60%	726,047
月最小	585,453	△2.89%	602,888
晴天時日最大(日付)	25,210 (8/27)	△12.98%	28,970 (2/28)
晴天時日最小(日付)	19,473 (5/4)	6.21%	18,334 (1/1)
雨天時日最大(日付)	31,287 (10/6)	△10.98%	35,148 (9/16)
雨天時日最小(日付)	18,824 (5/5)	△1.57%	19,125 (1/2)
日平均	21,741	△1.52%	22,077
南部終末処理場			
処理水量	3,084,631	0.40%	3,072,315
月最大	274,620	1.06%	271,736
月最小	228,669	△0.03%	228,740
晴天時日最大(日付)	9,558 (7/21)	△1.07%	9,661 (9/17)
晴天時日最小(日付)	7,920 (2/13)	4.43%	7,584 (3/10)
雨天時日最大(日付)	9,615 (10/6)	△18.32%	11,771 (9/16)
雨天時日最小(日付)	7,729 (4/18)	1.94%	7,582 (2/15)
日平均	8,449	0.39%	8,416
別所温泉終末処理場			
処理水量	302,187	△0.07%	302,388
月最大	28,366	2.81%	27,592
月最小	22,430	△1.85%	22,853
晴天時日最大(日付)	1,027 (1/2)	△1.44%	1,042 (8/16)
晴天時日最小(日付)	659 (6/11)	△1.64%	670 (7/22)
雨天時日最大(日付)	1,154 (8/16)	△25.64%	1,552 (9/16)
雨天時日最小(日付)	684 (7/14)	1.03%	677 (12/18)
日平均	828	0.00%	828
丸子浄化センター			
処理水量	1,806,990	3.10%	1,752,670
月最大	163,390	6.32%	153,680
月最小	134,700	1.71%	132,440
晴天時日最大(日付)	5,600 (8/13)	△3.45%	5,800 (9/17)
晴天時日最小(日付)	4,520 (11/23)	2.96%	4,390 (4/1)
雨天時日最大(日付)	5,940 (7/9)	△7.04%	6,390 (9/16)
雨天時日最小(日付)	4,480 (11/9)	5.66%	4,240 (2/15)
日平均	4,949	3.08%	4,801
西内浄化センター			
処理水量	623,362	3.82%	600,438
月最大	62,794	2.23%	61,427
月最小	40,175	5.49%	38,084
晴天時日最大(日付)	2,188 (8/20)	△37.98%	3,528 (9/17)
晴天時日最小(日付)	1,289 (1/25)	13.97%	1,131 (1/15)
雨天時日最大(日付)	2,457 (10/6)	△52.79%	5,204 (9/16)
雨天時日最小(日付)	1,288 (2/15)	11.42%	1,156 (1/8)
日平均	1,706	3.83%	1,643
菅平浄化センター			
処理水量	562,883	△5.97%	598,595
月最大	95,196	0.55%	94,678
月最小	21,859	△27.22%	30,036
晴天時日最大(日付)	3,964 (4/1)	△15.87%	4,712 (3/31)
晴天時日最小(日付)	630 (11/15)	△21.84%	806 (5/27)
雨天時日最大(日付)	4,300 (4/4)	△8.28%	4,688 (3/30)
雨天時日最小(日付)	630 (10/31)	△19.64%	784 (7/4)
日平均	1,541	△5.98%	1,639
真田浄化センター			
処理水量	393,353	△0.85%	396,741
月最大	35,468	0.44%	35,312
月最小	29,258	△1.04%	29,566
晴天時日最大(日付)	1,288 (7/11)	0.31%	1,284 (12/31)
晴天時日最小(日付)	933 (3/2)	100.65%	465 (10/28)
雨天時日最大(日付)	1,274 (6/21)	△27.28%	1,752 (10/21)
雨天時日最小(日付)	976 (11/9)	5.74%	923 (2/15)
日平均	1,077	△0.92%	1,087

## (5) 水質検査結果

平成26年度

項目			上田	南部	別所	丸子	西内	菅平	真田	
流入水 (午前9時採水)	水温 (°C)	平均	19.4	18.9	23.5	17.5	21.0	13.6	17.0	
		最大	26.6	25.0	29.2	26.1	27.0	22.4	24.2	
		最小	12.8	11.2	17.0	10.1	9.0	7.5	10.1	
	pH	平均	7.6	7.7	7.1	7.3	6.9	7.0	7.1	
		最大	8.2	8.2	8.3	8.2	8.1	7.5	7.9	
		最小	7.0	7.2	6.6	6.6	6.6	6.1	6.7	
	透視度	平均	3.5	3.4	5.4	3.2	9.7	5.4	2.9	
		最大	4.5	4.1	8.4	4.2	15	19	6.0	
		最小	2.7	2.9	3.3	2.6	5.0	1.5	1.5	
	SS (mg/ℓ)	平均	270	270	140	250	93	141	210	
		最大	350	330	360	340	280	840	350	
		最小	170	200	54	110	43	5	90	
	BOD (mg/ℓ)	平均	280	290	170	270	85	138	240	
		最大	390	370	260	410	230	390	360	
		最小	160	190	25	190	37	20	160	
	放 流 水	水温 (°C)	平均	20.4	19.4	23.1	16.1	18.3	13.7	17.4
			最大	28.1	25.2	30.0	26.0	25.2	23.3	24.6
			最小	13.5	14.0	15.0	2.0	10.5	8.0	10.8
pH		平均	7.2	7.0	6.8	6.7	6.8	6.4	6.5	
		最大	7.6	7.2	7.0	7.0	7.0	6.9	7.0	
		最小	6.7	6.8	6.4	6.5	6.5	6.1	6.4	
透視度		平均	91	94	100	99	> 100	100	> 100	
		最大	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	
		最小	41	65	100	55	> 100	100	> 100	
SS (mg/ℓ)		平均	3	3	1	1	2	1	1	
		最大	6	7	4	6	3	2	2	
		最小	1	1	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1	
BOD (mg/ℓ)		平均	4.2	3.4	1.6	1.7	1.9	1.2	1.3	
		最大	10	7.2	3.4	2.7	3.7	1.8	2.8	
		最小	< 1.0	1.2	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0	
COD (mg/ℓ)		平均	11	10	4.7	6.9	3.3	4.2	7.0	
		最大	13	15	6.0	9.1	4.2	6.5	8.8	
		最小	9.2	9.8	3.8	5.8	2.0	1.9	5.9	
大腸菌群数 (ヶ/mℓ)	平均	3	20	170	117	190	32	66		
	最大	26	150	460	660	340	170	340		
	最小	0	0	0	4	40	0	0		
残留塩素 (mg/ℓ)	平均	0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	0.05	< 0.05	< 0.05		
	最大	0.10	< 0.05	< 0.05	< 0.05	0.05	< 0.05	< 0.05		
	最小	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05		



下水排除基準

	対象事業場・排水量	特定施設を設置している事業場		その他の事業場
		50m <sup>3</sup> /日以上	50m <sup>3</sup> /日未満	
処理困難項目	対象物質又は項目			
	カドミウム及びその化合物 *1	0.03以下	0.03以下	0.03以下
	シアン化合物 *2	1 [0.5]以下	1 [0.5]以下	1 [0.5]以下
	有機りん化合物	1以下	1以下	1以下
	鉛及びその化合物	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	六価クロム化合物 *2	0.5 [0.3]以下	0.5 [0.3]以下	0.5 [0.3]以下
	砒素及びその化合物	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物 *2	0.005 [0.003]以下	0.005 [0.003]以下	0.005 [0.003]以下
	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと
	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003以下	0.003以下	0.003以下
	トリクロロエチレン	0.3以下	0.3以下	0.3以下
	テトラクロロエチレン	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	ジクロロメタン	0.2以下	0.2以下	0.2以下
	四塩化炭素	0.02以下	0.02以下	0.02以下
	1,2-ジクロロエタン	0.04以下	0.04以下	0.04以下
	1,1-ジクロロエチレン	1以下	1以下	1以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4以下	0.4以下	0.4以下
	1,1,1-トリクロロエタン	3以下	3以下	3以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	0.06以下	0.06以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.02以下	0.02以下	0.02以下
	チラウム	0.06以下	0.06以下	0.06以下
	シマジン	0.03以下	0.03以下	0.03以下
	チオベンカルブ	0.2以下	0.2以下	0.2以下
	ベンゼン	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	セレン及びその化合物	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	ほう素及びその化合物 *1	10以下	10以下	10以下
ふっ素及びその化合物 *1	8以下	8以下	8以下	
1,4-ジオキサン *1	0.5以下	0.5以下	0.5以下	
環境項目	フェノール類	5以下	5以下	5以下
	銅及びその化合物 *3	3[2]以下	[3以下] 3以下	3以下
	亜鉛及びその化合物 *1/*3	2以下	[5以下] 2以下	2以下
	鉄及びその化合物(溶解性)	10以下	10以下	10以下
	マンガン及びその化合物(溶解性)	10以下	10以下	10以下
クロム及びその化合物 *3	2[1]以下	[2以下] 2以下	2以下	
物質	ダイオキシン類 *4	10以下	10以下	10以下
その他の項目	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量 *1/*5	380未満	380未満	380未満
	水素イオン濃度 (pH) *5	5を超え9未満	5を超え9未満	5を超え9未満
	生物化学的酸素要求量 (BOD) *5/*6	600未満	600未満	600未満
	浮遊物質 (SS) *5/*6	600未満	600未満	600未満
	ノルマルヘキサン/鉱油類	5以下	5以下	5以下
	抽出物質含有量動植物油脂類	30以下	30以下	30以下
	温度 *5	45未満	45未満	45未満
よう素消費量	220未満	220未満	220未満	

- ・単位は、ダイオキシン類はpg-TEQ/l、pHは水素指数、温度は℃、その他はmg/lで示す。
- ・ 内は直罰が適用される基準を、それ以外は除害施設の設置等に係る基準を示す。
- ・\*1 カドミウムは業種ごとに平成28年11月30日又は平成29年11月30日まで、ほう素、ふっ素、アンモニア性窒素等含有量は業種ごとに平成28年6月30日まで、1,4-ジオキサンは業種ごとに平成27年5月24日まで、亜鉛は業種ごとに平成28年12月10日まで特定施設に係る排除基準についてそれぞれ暫定基準が適用される。
- ・\*2 シアン、六価クロム、総水銀の[ ]内の数値は上乘せ基準を示し、昭和54年10月31日において既に設置されている排水量が500m<sup>3</sup>/日未満の特定施設設置者等を除き適用される。
- ・\*3 銅、亜鉛、クロムの[ ]内の数値は上乘せ基準を示し、水質汚濁防止法施行令別表第1の26,27,47,49,52,53,58,61,62,63,65,66の各号に掲げる施設を設置し排水量が500m<sup>3</sup>/日以上又は50m<sup>3</sup>/日未満の事業場に適用される。
- ・\*4 ダイオキシン類の直罰基準は、ダイオキシン類対策特別措置法第2条第2項による特定施設を設置する事業場に適用される。
- ・\*5 アンモニア性窒素等含有量、pH、BOD、SS、温度は、排水量が終末処理場で処理される量の4分の1以上である事業場について、上乘せ基準が適用される場合がある。
- ・\*6 BOD、SSは、排水量が10m<sup>3</sup>/日未満である場合には適用されない。
- ・農業集落排水は、その他の事業場に係る排除基準が適用される。ただし、[ ]内の数値は適用されない。

(6) 電力(動力)使用量の推移

ア 動力用電力使用量の推移

(単位:kwh)

	平成26年度		平成25年度
	対前年度比		
処理場及びポンプ場			
合計	9,106,278	△0.48%	9,149,963
上田終末処理場			
水処理			
流入他	789,900	△0.28%	792,150
ブロワ	938,550	△0.27%	941,130
汚泥処理			
既設汚泥	46,690	△0.43%	46,890
動力1次	1,503,400	△1.29%	1,522,990
汚泥焼却	1,365,970	4.76%	1,303,870
その他	394,220	△0.47%	396,080
計	5,038,730	0.71%	5,003,110
上塩尻ポンプ場	92,540	3.84%	89,120
下塩尻ポンプ場	52,650	△4.34%	55,040
神川東ポンプ場	82,388	△6.05%	87,694
南部終末処理場			
水処理棟			
ブロワ	747,071	△5.12%	787,353
その他	189,949	△1.97%	193,767
管理棟			
沈砂池ポンプ棟(動力き電)	290,737	3.24%	281,618
汚泥棟(動力き電)	142,384	△13.42%	164,448
管理棟(動力き電)	47,129	3.89%	45,364
照明き電	62,780	△0.59%	63,150
その他	43,050	△15.26%	50,800
計	1,523,100	△4.00%	1,586,500
別所温泉終末処理場			
水処理	141,248	△3.56%	146,460
汚泥処理	67,920	△0.22%	68,070
その他	33,052	△7.60%	35,770
計	242,220	△3.23%	250,300
丸子浄化センター			
水処理	959,391	0.62%	953,502
汚泥処理	56,614	7.16%	52,831
その他	87,745	24.78%	70,317
計	1,103,750	2.52%	1,076,650
西内浄化センター			
水処理・その他	154,761	△11.57%	175,005
汚泥処理	4,830	△10.46%	5,394
計	159,591	△11.53%	180,399
菅平浄化センター			
水処理	172,274	△4.31%	180,027
汚泥処理	20,372	△7.90%	22,119
その他	289,743	△2.65%	297,624
計	482,389	△3.48%	499,770
真田浄化センター			
水処理	207,890	2.79%	202,240
汚泥処理	74,910	2.17%	73,320
その他	46,120	0.65%	45,820
計	328,920	2.35%	321,380

イ 燃料使用量の推移 (上田終末処理場)

年度	A 重油使用量				消化ガス使用量		
	搬入量	焼却炉	ボイラー	合計	ボイラー	焼却炉	合計
	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
25	0	0	0	0	0	306,184	306,184
26	0	0	0	0	0	315,669	315,669

年度	都市ガス使用量		
	焼却炉	温水ボイラー	合計
	m <sup>3</sup>		
25	161,319	42,948	204,267
26	176,179	41,981	218,160

(7) 薬品使用量の推移

ア 消毒用薬品(塩素滅菌：次亜塩素酸ナトリウム)

(単位:ℓ・mg/ℓ)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
上田終末処理場			
1 系 注入量	79,720	△18.23%	97,490
系 注入率	1.75		2.12
2 系 注入量	10,370	△9.31%	11,435
系 注入率	0.85		0.88
南部終末処理場			
注入量	39,838	0.56%	39,617
注入率	1.36		1.36
丸子浄化センター			
注入量	11,500	△12.88%	13,200
注入率	0.79		0.94
菅平浄化センター			
注入量	3,469	△10.15%	3,861
注入率	0.70		0.72

イ 消毒用薬品(塩素滅菌：固形塩素)

(単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
別所温泉終末処理場	205	△0.97%	207
西内浄化センター	227	10.73%	205
真田浄化センター	235	△13.60%	272

ウ 高分子凝集剤

(単位:kg)

		平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
上田終末処理場	濃縮	10,175	△0.98%	10,276
上田終末処理場	脱水	11,696	△13.26%	13,484
南部終末処理場	脱水	6,346	3.79%	6,114
別所温泉終末処理場	脱水	208	△11.49%	235
丸子浄化センター	脱水	1,921	12.14%	1,713
西内浄化センター	脱水	163	△11.89%	185
菅平浄化センター	脱水	220	△27.15%	302
真田浄化センター	脱水	1,156	3.86%	1,113

エ 無機凝集剤

(単位:kg)

	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
上田終末処理場	0		0
南部終末処理場	0		0
別所温泉終末処理場	4,278	4.93%	4,077
丸子浄化センター	45,559	△2.57%	46,763
西内浄化センター	4,695	△19.66%	5,844
菅平浄化センター	7,221	12.88%	6,397
真田浄化センター	0		0



# 農業集落排水事業編



# 1 事業の概要

## (1) 事業の沿革

上田市の農業集落排水事業は、上田地域の下組地区が昭和 61 年に事業化され、以後上田地区 18 地区、丸子地域 3 地区、真田地域 3 地区、武石地域 3 地区、合計 27 地区 27 施設で事業を進めてきました。

平成元年に最初の下組地区が供用開始となり、平成 16 年には最後の殿城地区が供用開始となり全 27 地区で計画面積 1,209ha、計画人口 41,790 人の整備が終了しております。

今後は、効率的な維持管理を目指し、コスト縮減及び廃棄物の再資源化に取り組み、循環型社会の形成を目指していきます。その一環として、平成 20 年度から平成 21 年度にかけ下組地区を下之郷地区へ統合する機能強化事業に着手し、平成 22 年度から農業集落排水処理施設は 1 箇所減となり 26 箇所となっています。

## (2) 事業のあゆみ

### ア 上田地域

上田地域の農業集落排水事業は、昭和 61 年に下組地区が事業採択され事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成元年には下組地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成 16 年に上田地域で最後の殿城地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初昭和 61 年の下組地区 17.5ha の着手から各地区を追加し、平成 10 年には殿城地区を加えて現在 825.5ha となっている。

昭和60年	9月	下組地区陳情
昭和61年	5月	下組地区事業採択
	12月	仁古田地区陳情
昭和62年	3月	上田市農業集落排水事業費分担金条例及び施行規程施行
昭和63年	3月	下之郷地区陳情
	5月	仁古田地区事業採択
	7月	岡地区陳情
	12月	下小島地区陳情
	12月	古安曾地区陳情
平成元年	3月	上田市農業集落排水施設条例及び施行規程施行
	5月	下組地区供用開始
		下之郷地区事業採択
	9月	保野舞田地区陳情
		富士山地区陳情
	12月	浦里地区陳情
平成 3年	2月	室賀地区陳情
	5月	岡地区事業採択
	7月	仁古田地区供用開始
	8月	小井田地区陳情

平成 3年	8月	豊殿南部地区陳情
	9月	八木沢地区陳情
平成 4年	1月	林之郷地区陳情
	3月	小泉地区陳情
	4月	山田地区陳情
	5月	下小島地区事業採択
		小井田地区事業採択
	6月	殿城地区陳情
平成 5年	5月	古安曾地区事業採択
		保野舞田地区事業採択
平成 6年	4月	岡地区供用開始
	5月	富士山地区事業採択
		豊殿南部地区事業採択
平成 7年	1月	下之郷地区供用開始
		下小島地区供用開始
	5月	八木沢地区事業採択
		浦里地区事業採択
	10月	小井田地区供用開始
平成 8年	5月	室賀地区事業採択
		林之郷地区事業採択
平成 9年	5月	山田地区事業採択
		小泉地区事業採択
平成10年	4月	古安曾地区供用開始
		保野舞田地区供用開始
		殿城地区事業採択
		仁古田地区処理機能強化事業採択(脱臭設備)
平成11年	3月	豊殿南部地区供用開始
		富士山地区供用開始
	12月	八木沢地区供用開始
		浦里地区供用開始
平成13年	4月	地方公営企業法を全部適用
	7月	林之郷地区供用開始
	12月	室賀地区供用開始
平成14年	4月	山田地区供用開始
	10月	小泉地区供用開始
平成16年	4月	殿城地区供用開始
平成20年	4月	下組・下之郷地区資源循環統合補助事業採択
平成22年	4月	下組・下之郷地区統合及び下組処理場廃止
平成26年	7月	仁古田地区処理機能強化事業採択(防食)



## イ 丸子地域

丸子地域の農業集落排水事業は、平成4年に藤原田地区が事業採択され事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成7年には藤原田地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成12年に丸子地域で最後の和子地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初平成4年の藤原田地区17haの着手から、平成6年に荻窪地区17ha、平成8年には和子地区27haを追加し、現在61haとなっている。

平成4年度	藤原田地区事業採択承認 藤原田地区管渠工事着手 丸子町農業集落排水事業分担金条例制定
平成5年度	藤原田地区処理施設建設工事着手
平成6年度	荻窪地区事業採択承認 荻窪地区管渠工事着手 丸子町農業集落排水施設条例制定
平成7年度	藤原田地区供用開始(4月1日) 藤原田地区事業完了
平成8年度	和子地区事業採択承認 和子地区管渠工事着手 荻窪地区処理施設建設工事着手
平成10年度	荻窪地区供用開始(4月1日)
平成12年度	和子地区供用開始(4月1日)
平成17年度	地方公営企業法を全部適用

## ウ 真田地域

真田地域の農業集落排水事業は、昭和63年に本原地区が事業採択され事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成3年には本原地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成12年に真田地域で最後の本原南地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初昭和63年の本原地区32haの着手から、平成4年に上洗馬地区22ha、平成8年には本原南地区68haを追加し、現在122haとなっている。

昭和63年	4月	本原地区事業採択承認
平成元年	2月	本原地区管渠工事着手
平成2年	9月	本原地区処理施設建設工事着手
平成3年	4月	本原地区供用開始(4月20日)
	10月	本原地区事業完了
平成4年	4月	上洗馬地区事業採択承認
	7月	上洗馬地区管渠工事着手

平成5年	9月	上洗馬地区処理施設建設工事着手
平成7年	4月	上洗馬地区供用開始(4月26日)
平成8年	3月	上洗馬地区事業完了
	5月	本原南地区事業採択承認
	12月	本原南地区管渠工事着手
平成10年	12月	本原南地区処理施設建設工事着手
平成12年	12月	本原南地区供用開始(12月8日)
平成13年	10月	本原南地区事業完了
平成20年	4月	地方公営企業法を全部適用

## エ 武石地域

武石地域の農業集落排水事業は、平成5年に武石地区が事業採択され、事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成9年には武石地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成14年に武石地域で最後の余里小沢根地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初平成5年の武石地区153haの着手から、平成7年に本入地区28ha、平成9年には余里小沢根地区13.7haを追加し、現在194.7haとなっている。

平成5年	3月	武石村農業集落排水事業分担金徴収条例制定
	4月	武石地区事業採択承認
	10月	武石地区管渠工事着手
平成6年	11月	武石地区処理施設建設工事着手
平成7年		本入地区事業採択承認
	12月	本入地区管渠工事着手
平成9年	3月	武石村農業集落排水施設条例制定
	4月	武石地区供用開始(4月1日)
		余里小沢根地区事業採択承認
平成10年	6月	余里小沢根地区管渠工事着手
	10月	本入地区処理施設建設工事着手
平成12年	4月	本入地区供用開始(4月1日)
	12月	余里小沢根地区処理施設建設工事着手
平成14年	4月	余里小沢根地区供用開始(4月1日)
平成20年	4月	地方公営企業法を全部適用



## (3) 事業計画

	対象集落	事業年度	採択 年度	供用開始 年月日	計画			排除 方式
					面積 (ha)	人口 (人)	戸数 (戸)	
下組	(下之郷地区と統合し下組・下之郷)	S61～S63	S61	H1. 5. 12	17. 5	650	160	分流式
下之郷	(下組地区と統合し下組・下之郷)	H1～H7	H1	H7. 1. 1	55. 0	2, 700	443	分流式
仁古田	仁古田	S63～H5	S63	H3. 7. 17	41. 0	1, 400	261	分流式
岡	岡	H3～H6	H3	H6. 4. 1	28. 0	940	214	分流式
下組・下之郷	下之郷、下組	H1～H21	H20	H7. 1. 1	72. 5	2, 690	537	分流式
下小島	下小島	H4～H7	H4	H7. 1. 1	16. 0	660	153	分流式
小井田	小井田	H4～H8	H4	H7. 10. 1	11. 0	300	70	分流式
古安曾	石神、鈴子、平井寺、柳沢	H5～H11	H5	H10. 4. 1	142. 0	2, 820	584	分流式
保野舞田	保野、舞田	H5～H11	H5	H10. 4. 1	75. 0	2, 990	609	分流式
豊殿南部	森、大日木、漆戸	H6～H11	H6	H11. 3. 1	18. 0	730	195	分流式
富士山	中組、奈良尾	H6～H11	H6	H11. 3. 1	52. 0	1, 610	353	分流式
八木沢	八木沢、八舞	H7～H12	H7	H11. 12. 1	45. 0	1, 800	416	分流式
浦里	越戸、浦野、藤之木	H7～H12	H7	H11. 12. 1	52. 0	2, 600	681	分流式
林之郷	林之郷	H8～H13	H8	H13. 7. 1	19. 0	1, 320	239	分流式
室賀	上室賀、下室賀、ひばりヶ丘	H8～H14	H8	H13. 12. 1	75. 0	2, 780	655	分流式
山田	山田	H9～H13	H9	H14. 4. 1	14. 0	550	105	分流式
小泉	小泉	H9～H14	H9	H14. 10. 1	68. 0	2, 990	626	分流式
殿城	矢沢、赤坂、下郷、宮之上、岩清水	H10～H16	H10	H16. 4. 1	95. 0	2, 460	620	分流式
布引	下之郷の一部	H6～H8	H6	H9. 10. 1	2. 0	180	18	分流式
藤原田	藤原田	H4～H7	H4	H7. 4. 3	17. 0	420	114	分流式
荻窪	荻窪	H6～H10	H6	H10. 4. 1	17. 0	670	140	分流式
和子	和子、下和子	H8～H12	H8	H12. 4. 1	27. 0	1, 060	266	分流式
本原	上原、下郷沢、中原、出早、町原の一部	S63～H4	S63	H3. 4. 20	32. 0	1, 270	306	分流式
上洗馬	田中、下横道、中横道、上横道	H4～H7	H4	H7. 4. 26	22. 0	970	234	分流式
本原南	大畑、下原、中原、表木、町原の一部	H8～H13	H8	H12. 12. 8	68. 0	2, 960	674	分流式
武石	鳥屋、沖、藪合、中島、七ヶ、片羽、堀の内、市ノ瀬、腰越の一部	H5～H9	H5	H9. 4. 1	153. 0	3, 570	820	分流式
本入	下本入、権現、下小寺尾、上小寺尾、唐沢、築地原	H7～H12	H7	H12. 4. 1	28. 0	870	255	分流式
余里小沢根	小沢根、余里	H9～H13	H9	H14. 4. 1	13. 7	520	169	分流式
					1, 275. 7	44, 480	9, 917	

計画汚水量			処理水の放流先名称
日最大 (m <sup>3</sup> /日)	日平均 (m <sup>3</sup> /日)	時間最大 (m <sup>3</sup> /hr)	
214.5	175.5	21.13	一級河川 駒瀬川
891.0	729.0	87.75	一級河川 尻無川
462.0	378.0	45.50	一級河川 浦野川
310.2	253.8	30.55	一級河川 浦野川
888.0	727.0	87.45	一級河川 尻無川
217.8	178.2	21.45	一級河川 産川
99.0	81.0	9.75	一級河川 瀬沢川
930.6	761.4	91.65	農業用排水路 ⇒ 一級河川 尻無川
986.7	807.3	97.18	一級河川 湯川
240.9	197.1	23.73	道路側溝 ⇒ 一級河川 神川
531.3	434.7	52.33	一級河川 尾根川
594.0	486.0	58.50	準用河川 腰巻川
858.0	702.0	84.50	用悪水路 ⇒ 一級河川 浦野川
435.6	356.4	42.90	道路側溝 ⇒ 一級河川 神川
917.4	750.6	90.35	一級河川 室賀川
181.5	148.5	17.88	農業用排水路 ⇒ 一級河川 追開沢川
986.7	807.3	97.18	農業用排水路 ⇒ 一級河川 浦野川
811.8	664.2	79.95	一級河川 神川
59.4	48.6	5.85	普通河川 三郎川
139.0	114.0	13.70	普通河川 郷尻沢川
222.0	181.0	21.80	一級河川 内村川
350.0	286.2	34.50	一級河川 内村川
419.0	219.0	41.30	農業用排水路 ⇒ 一級河川 神川
320.0	150.0	31.50	一級河川 洗馬川
800.0	390.0	78.80	農業用排水路 ⇒ 一級河川 神川
1,176.1	964.0	116.00	一級河川 依田川
286.7	235.0	28.30	一級河川 武石川
172.0	141.0	16.90	砂防河川 小沢根川
14,501.2	11,366.8	1,428.38	

## 2 財政の状況

### (1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	年度		平成25年度
	平成26年度	対前年度比	
農業集落排水事業収益	1,627,758,370	42.92%	1,138,919,956
営業収益	411,662,380	2.10%	403,190,427
営業外収益	1,212,862,909	64.85%	735,729,529
特別利益	3,233,081	皆増	-
農業集落排水事業費用	1,549,434,472	26.98%	1,220,180,708
営業費用	1,241,848,810	34.30%	924,685,922
営業外費用	277,508,781	△3.77%	288,386,404
特別損失	30,076,881	323.12%	7,108,382
収支差引額	78,323,898	△196.39%	△81,260,752

(税込・単位:円)

項目	年度		平成25年度
	平成26年度	対前年度比	
損益勘定留保資金発生額	364,660,616	△22.32%	469,419,197
減価償却費	866,915,177	59.49%	543,571,567
長期前受金戻入	△484,028,333	皆増	-
固定資産除却費	-	——	-
固定資産売却損	-	——	-
固定資産譲渡損	-	——	-
繰延勘定償却	-	——	-
固定資産除却損	-	皆減	7,108,382
消費税資本的収支調整額(△)	△18,226,228	56.24%	△11,665,332
欠損金(△)	-	皆減	△69,595,420
欠損金処理額	-	——	-
その他	-	——	-
損益勘定留保資金補てん額	438,937,773	2.40%	428,656,705
過年度不足分補てん額	-	——	-
過年度分修正	-	——	-
損益勘定留保資金残高	836,141,924	△8.16%	910,419,081

## (2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
資本的収入		296,782,000	1.97%	291,059,000
企業債		-	-	-
国・県補助金		2,484,000	皆増	-
受益者分担金		-	-	-
工事負担金		28,645,000	△4.79%	30,086,000
他会計補助金		265,653,000	1.79%	260,973,000
固定資産売却代金		-	-	-
貸付金返還金		-	-	-
他会計長期借入金		-	-	-
他会計出資金		-	-	-
その他資本的収入		-	-	-
資本的支出		735,719,773	2.22%	719,715,705
建設改良費		15,102,720	40.55%	10,745,229
企業債償還金		720,617,053	1.64%	708,970,476
補助金返還金		-	-	-
受益者分担金返還金		-	-	-
他会計長期借入金返還金		-	-	-
投資		-	-	-
開発費		-	-	-
退職給与金		-	-	-
試験研究費		-	-	-
災害損失		-	-	-
その他資本的支出		-	-	-
収支差引額		△438,937,773	2.40%	△428,656,705
翌年度繰越充当額		-	-	-

(税込・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
補てん財源		438,937,773	2.40%	428,656,705
消費税資本的収支調整額		-	-	-
繰越工事資金		-	-	-
引継金		-	-	-
損益勘定留保資金		438,937,773	2.40%	428,656,705
利益剰余金処分額		-	-	-
減債積立金		-	-	-
建設改良積立金		-	-	-
未処分利益剰余金		-	-	-
その他		-	-	-
補てん不足額		-	-	-

## (3) 財務諸表の推移

## ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度		平成25年度
	平成26年度	対前年度比	
営業収益	382,881,131	△0.29%	383,994,879
農業集落排水使用料	382,765,831	△0.30%	383,911,079
一般会計負担金	-	—	-
受託事業収益	-	—	-
その他の営業収益	115,300	37.59%	83,800
営業費用	1,216,167,077	33.69%	909,658,306
管理渠費	40,257,550	△7.67%	43,603,428
処 理 場 費	265,159,833	△2.20%	271,129,251
受託事業費	-	—	-
水質規制費	424,400	△60.41%	1,072,000
普及促進費	-	皆減	12,210
業務費	8,184,632	△9.46%	9,039,535
総係費	35,225,485	△14.56%	41,230,315
減価償却費	866,915,177	59.49%	543,571,567
資産減耗費	-	—	-
その他の営業費用	-	—	-
営業利益・損失	△833,285,946	58.52%	△525,663,427
営業外収益	1,212,973,690	64.83%	735,876,312
受取利息及び配当金	1,315,184	34.49%	977,916
他会計補助金	727,458,000	△0.99%	734,712,000
長期前受金戻入	484,028,333	皆増	-
その他の雑収益	172,173	△7.63%	186,396
営業外費用	256,293,818	△6.02%	272,699,923
支払利息及び企業債取扱諸費	253,273,555	△6.06%	269,612,090
繰延勘定償却	-	—	-
その他の雑支出	3,020,263	△2.19%	3,087,833
経常利益・損失	123,393,926	△297.47%	△62,487,038
特別利益	3,233,081	皆増	-
固定資産売却益	-	—	-
過年度損益修正益	-	—	-
その他の特別利益	3,233,081	皆増	-
特別損失	30,076,881	323.12%	7,108,382
固定資産売却損	-	—	-
その他の特別損失	30,076,881	皆増	-
固定資産除却損	-	皆減	7,108,382
当年度純利益・損失	96,550,126	△238.73%	△69,595,420
前年度繰越利益剰余金・欠損金	△820,558,712		△750,963,292
会計基準見直しにより発生した利益剰余金	1,893,203,833		-
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	1,169,195,247		△820,558,712



イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
利益剰余金	前年度繰入額	-	—	-
	前年度処分額	-	—	-
	前年度末残高	-	—	-
	積立金合計	-	—	-
剰余金(欠損金)の部	前年度利益剰余金処分額	-	—	-
	減債積立金	-	—	-
	前年度欠損金処理額	-	—	-
	前年度純利益・損失	96,550,126	△238.73%	△69,595,420
	会計基準見直しにより発生した利益剰余金	1,893,203,833	皆増	-
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	1,169,195,247	△242.49%	△820,558,712	
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	109,447,395
	前年度処分額	114,204,825	皆増	-
	前年度末残高	-	皆減	114,204,825
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	13,522,634,937
	前年度処分額	13,489,700,209	皆増	-
	前年度末残高	76,002,633	△99.44%	13,565,702,842
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	1,263,263,807
	前年度処分額	2,963,221,693	皆増	-
	前年度末残高	-	皆減	2,963,221,693
剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	614,999,385
	前年度処分額	615,273,031	皆増	-
	前年度末残高	-	皆減	615,273,031
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	-	皆減	2,908,207,138
	前年度処分額	3,143,425,994	皆増	-
前年度末残高	-	皆減	3,143,425,994	
翌年度繰越資本剰余金	76,002,633	△99.63%	20,401,828,385	

※資本剰余金の部の各当年度処分額は、償却資産の取得に充てられた財源であり、会計基準の見直しにより資本剰余金から長期前受金へ振り替えた。

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	平成26年度末		平成25年度末
			対前年度比	
固 定 資 産		26,523,252,213	△16.55%	31,784,203,012
有 形 固 定 資 産		26,521,380,213	△16.54%	31,775,641,004
土 地		945,424,130	0.00%	945,424,130
建 築 物		1,081,240,274	△22.41%	1,393,448,287
機 械 及 び 装 置		23,317,770,432	△11.61%	26,380,485,151
車 両 運 搬 具 品		1,165,256,215	△61.77%	3,048,211,544
工 具 器 具 及 び 備 品		728,300	△28.61%	1,020,125
建 設 仮 勘 定		6,360,862	△9.80%	7,051,767
無 形 固 定 資 産		4,600,000	皆増	-
地 上 権		1,872,000	△78.14%	8,562,008
地 役 権		-	皆減	4,462,553
電 話 加 入 権		-	皆減	2,227,455
投 資 そ の 他 の 資 産		1,872,000	0.00%	1,872,000
破 産 更 正 債 権		-	-	-
貸 倒 引 当 金 ( △ )		1,997,300	皆増	-
		△1,997,300	皆増	-
流 動 資 産		1,240,775,600	3.70%	1,196,521,549
現 金 及 び 預 金		1,199,120,555	5.09%	1,140,991,131
現 預 金		-	-	-
未 収 金		1,199,120,555	5.09%	1,140,991,131
未 収 金		41,655,045	△24.99%	55,530,418
営 業 未 収 金		50,751,681	△5.62%	53,774,418
貸 倒 引 当 金 ( △ )		△ 9,096,636	皆増	-
営 業 外 未 収 金		-	-	-
そ の 他 未 収 金		-	皆減	1,756,000
前 払 金		-	-	-
繰 延 勘 定 資 産 合 計		-	-	-
		27,764,027,813	△15.82%	32,980,724,561
固 定 負 債		10,578,697,721	4062.75%	254,127,483
企 業 債		10,319,940,402	皆増	-
建 設 改 良 等 企 業 債		10,319,940,402	皆増	-
引 当 金		258,757,319	1.82%	254,127,483
修 繕 引 当 金		233,012,250	△4.55%	244,110,250
退 職 給 付 引 当 金		25,745,069	157.01%	10,017,233
流 動 負 債		787,468,907	2362.77%	31,974,985
企 業 債		738,142,676	皆増	-
建 設 改 良 等 企 業 債		738,142,676	皆増	-
未 払 金		46,352,513	45.07%	31,952,359
営 業 未 払 金		35,947,433	33.44%	26,938,839
営 業 外 未 払 金		9,270,000	151.07%	3,692,200
そ の 他 未 払 金		1,135,080	△14.09%	1,321,320
引 当 金		2,874,000	皆増	-
賞 与 引 当 金		2,462,000	皆増	-
法 定 福 利 費 引 当 金		412,000	皆増	-
そ の 他 流 動 負 債		99,718	340.72%	22,626
預 り 金		99,718	340.72%	22,626
繰 延 収 益		13,818,011,016	皆増	-
長 期 前 受 金		20,603,262,804	皆増	-
収 益 化 累 計 額 ( △ )		△ 6,785,251,788	皆増	-
負 債 合 計		25,184,177,644	8702.50%	286,102,468

資	本	金	1,334,652,289	△89.82%	13,113,352,420																
自	己	資	本	金	1,334,652,289	0.00%	1,334,652,289														
引	繼	資	本	金	1,334,652,289	0.00%	1,334,652,289														
借	入	資	本	金	-	皆減	11,778,700,131														
企	業	業	業	債	-	皆減	11,778,700,131														
剩	余	金	1,245,197,880	△93.64%	19,581,269,673																
資	本	剩	余	金	76,002,633	△99.63%	20,401,828,385														
受	贈	財	産	評	額	-	皆減	114,204,825													
国	・	県	補	助	金	76,002,633	△99.44%	13,565,702,842													
他	会	計	補	助	金	-	皆減	2,963,221,693													
受	益	者	負	担	金	-	皆減	615,273,031													
工	事	負	担	金	-	皆減	3,143,425,994														
利	益	剩	余	金	1,169,195,247	△242.49%	△820,558,712														
	当	年	度	未	処	分	利	益	剩	余	金	・	未	処	理	欠	損	金	1,169,195,247	△242.49%	△820,558,712
資	本	合	計	2,579,850,169	△92.11%	32,694,622,093															
負	債	資	本	合	計	27,764,027,813	△15.82%	32,980,724,561													

※当年度未処分利益剰余金のうち、1,072,645,121円は、補てん財源として使用済み。

## (4) 資金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
取	入	1,438,414,151	0.83%	1,426,535,499
事業収益		1,095,695,522	0.11%	1,094,520,452
前年度未収金		45,936,549	7.55%	42,712,047
企業債		-	-	-
国・県補助金		2,484,000	皆増	-
受益者負担金		-	-	-
工事負担金		28,645,000	1.11%	28,330,000
他会計補助金		265,653,000	1.79%	260,973,000
一時借入金		-	-	-
短期貸付金入金		-	-	-
前払金戻入金		-	-	-
契約保証金		-	-	-
還付預り金		-	-	-
その他預り金		-	-	-
事業費用戻入		80	皆増	-
支	出	1,380,284,727	1.01%	1,366,527,232
事業費用		588,903,835	△2.05%	601,209,705
前年度未払金		31,952,359	△6.98%	34,349,207
建設改良費		13,967,640	48.21%	9,423,909
企業債償還金		720,617,053	1.64%	708,970,476
一時借入金返済		-	-	-
短期貸付金		-	-	-
前払金		11,949,900	△0.61%	12,023,580
契約保証金返還		-	-	-
還付金		726,776	32.06%	550,355
その他預り金		-	-	-
引当金取崩		12,167,164	皆増	-
補助金返還金		-	-	-
収支差引額		58,129,424	△3.13%	60,008,267
前年度末現金預金残高		1,140,991,131	5.55%	1,080,982,864
当年度末現金預金残高		1,199,120,555	5.09%	1,140,991,131

## (5) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度		
		構成比	対前年度比	構成比	対前年度比	
費用合計		1,472,460,895	100.00%	24.54%	1,182,358,229	100.00%
維持管理費①		352,272,163	23.92%	△4.58%	369,174,572	31.22%
職員給与費		32,944,506	2.24%	△13.31%	38,001,907	3.21%
動力費		75,375,959	5.12%	11.33%	67,704,916	5.73%
光熱水費		573,309	0.04%	△7.69%	621,102	0.05%
通信運搬費		4,447,032	0.30%	0.21%	4,437,879	0.38%
修繕費		31,697,500	2.15%	△44.73%	57,351,859	4.85%
材料費		21,000	0.00%	100.00%	10,500	0.00%
薬品費		2,067,360	0.14%	△5.55%	2,188,800	0.19%
路面復旧費		-	0.00%	-	-	0.00%
委託料		192,482,551	13.07%	3.88%	185,285,668	15.67%
その他		12,662,946	0.86%	△6.70%	13,571,941	1.15%
資本費②		1,120,188,732	76.08%	37.75%	813,183,657	68.78%
支払利息		253,273,555	17.20%	△6.06%	269,612,090	22.80%
減価償却費		866,915,177	58.88%	59.49%	543,571,567	45.97%
その他		-	0.00%	-	-	0.00%
公費負担分		1,037,991,659	70.49%	39.56%	743,769,210	62.91%
維持管理費①'		424,400	0.03%	△60.86%	1,084,210	0.09%
資本費②'		1,037,567,259	70.46%	39.70%	742,685,000	62.81%
使用料対象経費③		434,469,236	29.51%	△0.94%	438,589,019	37.09%
維持管理費①-①'		351,847,763	23.90%	△4.41%	368,090,362	31.13%
資本費②-②'		82,621,473	5.61%	17.20%	70,498,657	5.96%

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度	
			対前年度比		対前年度比
年間有収水量 (m <sup>3</sup> ) ④		2,076,047	△0.70%	2,090,787	0.24%
汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> ) ③/④		209.28	△0.24%	209.77	△7.68%
維持管理分		169.48	△3.73%	176.05	△4.28%
資本費分		39.80	18.03%	33.72	△22.11%
使用料収入 (円) ⑤		382,765,831	△0.30%	383,911,079	0.47%
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> ) ⑤/④		184.37	0.41%	183.62	0.22%

(6) 固定資産の推移

ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
土地		945,424,130	0.00%	945,424,130
施設用地		945,424,130	0.00%	945,424,130
建物		1,081,240,274	△22.41%	1,393,448,287
施設用建物		1,081,240,274	△22.41%	1,393,448,287
構築物		23,317,770,432	△11.61%	26,380,485,151
排水設備		20,544,373,045	△10.16%	22,868,515,910
処理設備		2,683,927,073	△18.68%	3,300,509,711
その他構築物		89,470,314	△57.69%	211,459,530
機械及び装置		1,165,256,215	△61.77%	3,048,211,544
電気設備		289,712,797	△60.61%	735,443,502
ポンプ設備		185,760,805	△49.30%	366,403,732
滅菌設備		9,933,045	△91.94%	123,220,058
その他機械装置		679,849,568	△62.71%	1,823,144,252
車両運搬具		728,300	△28.61%	1,020,125
工具器具及び備品		6,360,862	△9.80%	7,051,767
建設仮勘定		4,600,000	皆増	-

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
地上権		-	皆減	4,462,553
地役権		-	皆減	2,227,455
電話加入権		1,872,000	0.00%	1,872,000

## (7) 企業債残高の推移

ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
財政 金融 資	借入額	-	-	-
	返済額	448,724,306	1.15%	443,633,561
	年度末未償還残高	7,341,124,126	△5.76%	7,789,848,432
地方 公共 機関 共	借入額	-	-	-
	返済額	271,892,747	2.47%	265,336,915
	年度末未償還残高	3,716,958,952	△6.82%	3,988,851,699
簡易 生命 保険 資	借入額	-	-	-
	返済額	-	-	-
	年度末未償還残高	-	-	-
合 計	借入額	-	-	-
	返済額	720,617,053	1.64%	708,970,476
	年度末未償還残高	11,058,083,078	△6.12%	11,778,700,131

イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
起債前借		-	-	-
1.0%未満		-	-	-
1.0%以上2.0%未満		3,146,340,622	△5.69%	3,336,118,668
2.0%以上3.0%未満		6,363,446,467	△5.77%	6,753,409,181
3.0%以上4.0%未満		1,013,365,693	△7.66%	1,097,453,877
4.0%以上5.0%未満		534,930,296	△9.60%	591,718,405
5.0%以上6.0%未満		-	-	-
6.0%以上7.0%未満		-	-	-
7.0%以上7.5%未満		-	-	-
7.5%以上8.0%未満		-	-	-
8.0%以上		-	-	-

## (8) 繰入金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
損 益	営業収益	-	-	-
	基準内繰入金	-	-	-
	基準外繰入金	-	-	-
勘 定 繰 入 金	営業外収益	727,458,000	△0.99%	734,712,000
	基準内繰入金	539,815,000	△1.86%	550,026,000
	基準外繰入金	187,643,000	1.60%	184,686,000
	計	727,458,000	△0.99%	734,712,000
	基準内繰入金	539,815,000	△1.86%	550,026,000
	基準外繰入金	187,643,000	1.60%	184,686,000
資本 勘 定 繰 入 金	定繰入金	265,653,000	1.79%	260,973,000
	基準内繰入金	265,653,000	1.99%	260,463,000
	基準外繰入金	-	皆減	510,000
合 計		993,111,000	△0.26%	995,685,000
	基準内繰入金	805,468,000	△0.62%	810,489,000
	基準外繰入金	187,643,000	1.32%	185,196,000

## (9) 経営分析

### ア 労働の生産性

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	8,236	↑636	7,600	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			7,485		
労働生産性 (千円)	上田市	95,720	↑18,921	76,799	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示し高いほどよい。
	全国平均			68,534		
労働分配率 (%)	上田市	8.60	↓1.30	9.90	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			10.92		
職員1人あたり有収水量 (m <sup>3</sup> /人)	上田市	519,012	↑100,855	418,157	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	全国平均			438,496		

### イ 施設の効率性

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	57.43	↓0.42	57.85	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			53.00		
負荷率 (%)	上田市	75.65	↑15.71	59.94	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{1日最大処理水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	全国平均			58.52		
最大稼働率 (%)	上田市	75.92	↓20.59	96.51	$\frac{\text{1日最大処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いいため、注意が必要である。
	全国平均			90.57		
有収率 (%)	上田市	94.65	↑0.03	94.62	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間処理水量}} \times 100$	処理水量のうち、実際に使用料収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	全国平均			89.82		
管渠使用効率 (m <sup>3</sup> /m)	上田市	7.71	↓0.05	7.76	$\frac{\text{年間処理水量}}{\text{管渠総延長}}$	管1mあたり、年間どのくらいの汚水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	全国平均			6.05		



ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	△ 2.74	↓ 1.16	△ 1.58	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			△ 2.13		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	△ 217.64	↓ 80.75	△ 136.89	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	全国平均			△ 209.62		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.01	0.00	0.01	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			0.01		
経常収支比率 (%)	上田市	108.38	↑ 13.66	94.72	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	経常的な収支の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	全国平均			93.67		
使用料単価 (円/㎡)	上田市	184.37	↑ 0.75	183.62	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1㎡当たりの使用料。高いほど使用料水準が高いことを示す。
	全国平均			154.95		
汚水処理原価 (円/㎡)	上田市	209.28	↓ 0.49	209.77	$\frac{\text{汚水処理費用}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1㎡当たりの処理費用。高いほど使用料水準を高くする必要がある。
	全国平均			279.48		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	254.44	↓ 0.46	254.90	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	全国平均			344.31		
企業債 元金償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	188.27	↑ 3.60	184.67	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			247.72		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	66.17	↓ 4.06	70.23	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			96.58		
減価償却率 (%)	上田市	3.28	↑ 1.55	1.73	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	全国平均			1.86		

(注) 平均経営資本=(総資本(負債資本合計)-建設仮勘定-投資)の前年度末当年度末平均

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		平成26年度		平成25年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	95.53	↓ 0.84	96.37	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	全国平均			98.51		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	59.06	↓ 4.36	63.42	$\frac{\text{資本+繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	全国平均			55.70		
固定比率 (%)	上田市	161.75	↑ 9.79	151.96	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+繰延収益}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかをみる指標。理論上は100%以下が望ましい。
	全国平均			176.84		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	38.10	↑ 1.62	36.48	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			43.20		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	98.32	↑ 1.85	96.47	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債+繰延収益}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	全国平均			99.59		
流動比率 (%)	上田市	157.57	↓ 3,584.48	3,742.05	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	全国平均			136.14		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	157.57	↓ 3,584.48	3,742.05	$\frac{\text{現金預金+(未収金-貸倒引当金)}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	全国平均			135.02		

(注) この表では、借入資本金を資本ではなく固定負債に分類して算出を行っている。

(注) 平成26年度から、地方公営企業の会計基準が改正された。

\* 全国平均は、法適用(財務適用を含む)の農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設事業の平均である。

\* 出典:地方公営企業年鑑

### 3 業務の状況

#### (1) 業務量

年度		平成26年度		平成25年度
			対前年度比	
A	行政区域内人口 (人)	156,593	△0.66%	157,630
B	対象区域内人口 (人)	26,632	△1.23%	26,964
C	整備済人口 (人)	26,632	△1.23%	26,964
D	処理区域内人口 (人)	26,632	△1.23%	26,964
E	水洗化人口 (人)	24,754	△0.55%	24,890
C/A	整備率 (対行政区域内) (%)	17.01	/	17.11
C/B	率 (対対象区域内) (%)	100.00		100.00
D/A	普及率 (対行政区域内) (%)	17.01	/	17.11
D/B	率 (対対象区域内) (%)	100.00		100.00
E/A	水洗化率 (対行政区域内) (%)	15.81	/	15.79
E/B	(対対象区域内) (%)	92.95		92.31
E/D	(対処理区域内) (%)	92.95		92.31
F	処理区域内戸数 (戸)	10,272	0.29%	10,242
G	水洗化戸数 (戸)	9,398	1.18%	9,288
G/F	水洗化率 (%)	91.49	/	90.69
	整備面積 (ha)	1,202.20	0.00%	1,202.20
	処理可能面積 (ha)	1,202.20	0.00%	1,202.20
	使用料調定件数 (件)	55,408	1.52%	54,581
H	年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	2,193,336	△0.73%	2,209,566
I	年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	2,076,047	△0.70%	2,090,787
I/H	有収率 (%)	94.65	/	94.62

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

## (2) 水洗化人口の推移

(単位:人)

事業・処理区	年度	平成26年度末		平成25年度末	
		水洗化率	対前年度比		
上田農業集落排水事業		16,996	92.8%	△0.46%	17,074
下組		578	100.0%	1.05%	572
仁古田		983	99.2%	0.72%	976
下之郷		1,389	95.9%	△1.21%	1,406
岡		644	97.7%	△2.42%	660
下小島		320	98.2%	0.63%	318
小井田		193	99.0%	△3.02%	199
古安曾		1,744	94.9%	0.17%	1,741
保野舞田		1,872	95.4%	△1.32%	1,897
豊殿南部		416	87.9%	△0.48%	418
富士山		1,258	95.4%	0.32%	1,254
浦里		1,364	95.2%	△0.44%	1,370
八木沢		915	95.4%	0.99%	906
室賀		1,526	86.4%	△2.24%	1,561
林之郷		538	87.9%	△1.10%	544
山田		232	99.6%	0.43%	231
小泉		1,774	91.8%	1.26%	1,752
殿城		1,250	78.8%	△1.50%	1,269
丸子農業集落排水事業		1,310	95.8%	△1.95%	1,336
藤原田		346	100.0%	△2.81%	356
荻窪		315	94.3%	△3.96%	328
和子		649	94.3%	△0.46%	652
真田農業集落排水事業		3,339	96.2%	△0.27%	3,348
本原		1,092	98.8%	△0.73%	1,100
上洗馬		588	97.4%	△1.84%	599
本原南		1,659	94.2%	0.61%	1,649
武石農業集落排水事業		3,069	89.4%	△0.87%	3,096
武石		2,315	91.9%	△1.03%	2,339
本入		448	81.8%	0.90%	444
余里小沢根		306	83.6%	△2.24%	313
上田小規模集合排水処理施設事業		40	85.1%	11.11%	36
布引		40	85.1%	11.11%	36
計		24,754	92.9%	△0.55%	24,890

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

(3) 加入金の状況

(単位:円)

区分・処理区		期間
		平成18年3月6日～
一般住宅	下組	678,000
	仁古田	
	岡	
	下之郷	
	下小島	
	小井田	
	古安曾	
	保野舞田	
	豊殿南部	
	富士山	
	八木沢	
	浦里	
	林之郷	
室賀		
山田		
小泉		
殿城		
布引		
藤原田	660,000	
荻窪	670,000	
和子	550,000	
本原	400,000	
上洗馬		
本原南		
武石		
本入		
余里小沢根		
その他	全地区	管理者が定める。

(4) 収納状況の推移

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
				前年との差		
平成25年度	403,106,627	398,714,951	4,391,676	98.91%	△0.07	2,738,183
平成26年度	411,547,080	407,794,926	3,752,154	99.09%	0.18	2,124,461

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

(5) 農集排使用料の納付方法(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	平成26年度	
		件数	構成比
口座振替		5,294	87.40%
直接納付		763	12.60%
コンビニエンスストア		592	9.77%
その他		171	2.82%
合計		6,057	100.00%

(注) 旧上田市で実施していたコンビニ収納を平成18年7月から全地域で始めた。

## 4 施設の状況

### (1) 処理場の状況

処理場名	処理方式	位置	系列数	構造	延べ床面積 (㎡)
下組	JARUS-Ⅲ型	上田市富士山字下川原1742-2	平成22年4月 廃止		
仁古田	JARUS-Ⅲ型	上田市仁古田字花之木477-1	2系列	RC造	168.82
岡	JARUS-Ⅲ型	上田市岡字久保93-1	1系列	RC造	208.07
下之郷	JARUS-OD型	上田市下之郷字西原田436	1系列	RC造	588.43
下小島	JARUS-Ⅲ型	上田市本郷字北沖1170-2	1系列	RC造	201.98
小井田	JARUS-Ⅲ型	上田市芳田字井戸田388-2	1系列	RC造	106.51
古安曾	JARUS-OD型	上田市古安曾字三ヶ沖2585	1系列	RC造	531.91
保野舞田	JARUS-OD型	上田市保野字才勝木981-2	1系列	RC造	524.74
豊殿南部	JARUS-Ⅲ型	上田市漆戸字長峰226-1	1系列	RC造	221.96
富士山	JARUS-Ⅲ型	上田市富士山字上大吹3012	2系列	RC造	277.03
八木沢	JARUS-Ⅲ型	上田市八木沢字久保田1	2系列	RC造	333.12
浦里	JARUS-OD型	上田市越戸字湯道158-1	1系列	RC造	452.70
林之郷	JARUS-XⅣ型	上田市林之郷字中河原482-3	1系列	RC造	415.27
室賀	JARUS-OD型	上田市下室賀字嶽ノ里164-1	1系列	RC造	633.49
山田	JARUS-XⅣ型	上田市山田字長丁473-3	1系列	RC造	131.40
小泉	JARUS-XⅣ型	上田市小泉字醤油久保1302-28	2系列	RC造	478.41
殿城	JARUS-XⅣ型	上田市殿城字川原618	1系列	RC造	508.14
布引	JARUS-S型	上田市下之郷字中布引乙714-4	1系列	RC造	10.00
藤原田	JARUS-Ⅲ型	上田市藤原田794-1	1系列	RC造	143.37
荻窪	JARUS-Ⅲ型	上田市東内3129-1	1系列	RC造	168.78
和子	JARUS-OD型	上田市東内1147	1系列	RC造	253.50
本原	JARUS-Ⅲ型	上田市真田町本原1988-1	1系列	RC造	142.4
上洗馬	JARUS-Ⅲ型	上田市真田町傍陽5107	2系列	RC造	271.5
本原南	JARUS-OD型	上田市真田町本原679-1外	1系列	RC造	261.8
武石	JARUS-OD型	上田市武石沖5番地	1系列	RC造	623.04
本入	JARUS-Ⅲ型	上田市武石下本入93番地1	1系列	RC造	173.29
余里小沢根	JARUS-Ⅲ型	上田市武石小沢根834番地	1系列	RC造	152.95

- ・JARUS-S型 ……(接触ばっ気方式)  
槽内に設置した接触材の表面に好気性微生物を固着させ、ばっ気攪拌により微生物が汚水中の有機物を分解する方式
- ・JARUS-Ⅲ型 ……(嫌気濾床併用接触ばっ気方式)  
「汚水と嫌気性微生物が接触して、汚水中の有機物を分解する方式」と「槽内に設置した接触材の表面に好気性微生物を固着させ、ばっ気攪拌により微生物が汚水中の有機物を分解する方式」を組み合わせた方式
- ・JARUS-OD型 ……(オキシデーションデイツチ方式)  
反応槽としての循環水路(OD槽)と沈澱槽から構成され、循環水路内にばっ気装置を設け、これにより汚水と活性汚泥を混合・循環させながら酸素を供給し処理を行う方式
- ・JARUS-XⅣ型 ……(連続流入間欠ばっ気方式)  
汚水の流入を連続で受け入れつつ、ばっ気槽での運転(嫌気・好気)を制御機器等を活用して間欠で行う方式

## (2) 管渠延長等の状況

## ア 管路延長の状況

(単位:m)

処理区	年度	平成26年度		平成25年度 年度末 延長
		年度末 延長	布設 除却	
上田地区	下組	4,333	0	4,333
	仁古田	7,426	0	7,426
	岡	6,880	0	6,880
	下之郷	12,025	0	12,025
	下小島	3,568	0	3,568
	小井田	2,948	0	2,948
	古安曾	20,905	0	20,905
	保野舞田	16,053	0	16,053
	豊殿南部	5,333	0	5,333
	富士山	13,108	0	13,108
	八木沢	10,278	0	10,278
	浦里	13,718	0	13,718
	林之郷	5,182	0	5,182
	室賀	21,167	0	21,167
	山田	4,283	0	4,283
	小泉	21,245	0	21,245
	殿城	20,422	0	20,422
	布引	506	0	506
丸子地区	藤原田	4,295	0	4,295
	荻窪	5,138	0	5,138
	和子	9,083	0	9,083
真田地区	本原	7,424	0	7,424
	上洗馬	7,797	0	7,797
武石地区	本原南	13,755	0	13,755
	武石	27,475	0	27,475
	本入	12,735	0	12,735
	余里小沢根	7,508	0	7,508
	合計	284,590	0	284,590

イ マンホールポンプの設置状況

(単位:箇所)

処理区	年度	年度末 箇所数	平成26年度		平成25年度 年度末 箇所数
			布設	除却	
上田地区	下組	6	0	0	6
	仁古田	1	0	0	1
	岡	9	0	0	9
	下之郷	10	0	0	10
	下小島	1	0	0	1
	小井田	2	0	0	2
	古安曾	7	0	0	7
	保野舞田	8	0	0	8
	豊殿南部	2	0	0	2
	富士山	6	0	0	6
	八木沢	12	0	0	12
	浦里	6	0	0	6
	林之郷	3	0	0	3
	室賀	9	0	0	9
	山田	4	0	0	4
	小泉	7	0	0	7
	殿城	10	0	0	10
	布引	0	0	0	0
丸子地区	藤原田	0	0	0	0
	荻窪	7	0	0	7
	和子	1	0	0	1
真田地区	本原	0	0	0	0
	上洗馬	0	0	0	0
	本原南	2	0	0	2
武石地区	武石	16	0	0	16
	本入	4	0	0	4
	余里小沢根	8	0	0	8
合計		141	0	0	141

## (3) 処理水量の推移

(単位: m<sup>3</sup>)

処理場名	平成26年度		平成25年度
	対前年度比		
下組	平成22年4月 廃止		
仁古田	117,563.0	2.52%	114,672.0
岡	64,284.0	△1.66%	65,368.0
下之郷	179,727.4	2.53%	175,298.9
下小島	33,060.0	△3.46%	34,246.0
小井田	17,239.0	△1.59%	17,517.0
古安曾	149,072.5	△1.07%	150,678.2
保野舞田	168,059.6	△0.13%	168,281.9
豊殿南部	36,521.6	0.31%	36,409.2
富士山	110,599.0	1.56%	108,895.3
八木沢	81,118.0	△0.04%	81,150.0
浦里	114,007.0	1.50%	112,327.2
林之郷	44,924.4	1.65%	44,193.2
室賀	115,518.0	△1.18%	116,901.0
山田	14,454.6	△3.54%	14,984.3
小泉	154,947.1	0.83%	153,666.7
殿城	115,917.4	△1.23%	117,364.7
布引	4,269.0	△12.34%	4,870.0
小計	1,521,281.6	0.29%	1,516,823.6
丸子地区			
藤原田	27,287.5	△2.95%	28,117.9
荻窪	29,882.4	△1.76%	30,418.3
和子	50,718.7	△1.72%	51,608.2
小計	107,888.6	△2.05%	110,144.4
真田地区			
本原	83,302.7	△16.09%	99,276.2
上洗馬	45,219.9	△0.53%	45,461.9
本原南	147,879.7	0.85%	146,635.5
小計	276,402.3	△5.14%	291,373.6
武石地区			
武石	232,471.0	0.19%	232,029.4
本入	36,201.3	△0.85%	36,511.7
余里小沢根	19,091.2	△15.84%	22,683.3
小計	287,763.5	△1.19%	291,224.4
合計	2,193,336.0	△0.73%	2,209,566.0



## (4) 電力(動力)量の推移

(単位:kwh)

処理区	平成26年度		平成25年度	
		対前年度比		
下組	4月	0	0	
	5月	0	0	
	6月	0	0	
	7月	0	0	
	8月	0	0	
	9月	0	0	
	10月	0	0	
	11月	0	0	
	12月	0	0	
	1月	0	0	
	2月	0	0	
	3月	0	0	
	合計	0	0	
仁古田	4月	10,886	△3.77%	11,313
	5月	13,110	△4.94%	13,791
	6月	11,210	△5.85%	11,906
	7月	13,605	12.82%	12,059
	8月	12,591	4.43%	12,057
	9月	12,181	△6.35%	13,007
	10月	10,421	△2.68%	10,708
	11月	10,153	△16.05%	12,094
	12月	9,597	5.10%	9,131
	1月	12,126	2.55%	11,825
	2月	10,895	4.44%	10,432
	3月	8,780	△7.65%	9,507
	合計	135,555	△1.65%	137,830
岡	4月	8,910	△3.49%	9,232
	5月	10,175	△5.53%	10,771
	6月	9,215	△0.14%	9,228
	7月	9,548	3.74%	9,204
	8月	11,529	6.12%	10,864
	9月	9,554	△2.99%	9,848
	10月	8,621	△1.44%	8,747
	11月	7,389	△27.38%	10,175
	12月	6,411	△26.40%	8,711
	1月	8,508	△24.99%	11,342
	2月	6,750	△40.49%	11,342
	3月	6,908	5.63%	6,540
	合計	103,518	△10.76%	116,004
下之郷	4月	22,746	△0.68%	22,902
	5月	22,579	0.30%	22,512
	6月	24,238	2.18%	23,721
	7月	22,907	△2.25%	23,435
	8月	23,849	0.53%	23,723
	9月	23,716	△4.28%	24,776
	10月	22,463	1.76%	22,074
	11月	21,851	△5.37%	23,092
	12月	20,523	△4.33%	21,452
	1月	21,165	△4.58%	22,182
	2月	21,811	△5.82%	23,158
	3月	22,347	6.79%	20,926
	合計	270,195	△1.37%	273,953
下小島	4月	8,619	10.23%	7,819
	5月	10,990	30.65%	8,412
	6月	9,018	7.41%	8,396
	7月	9,370	7.84%	8,689
	8月	10,597	3.06%	10,282
	9月	9,160	△12.87%	10,513
	10月	8,792	7.68%	8,165
	11月	8,702	26.26%	6,892
	12月	7,670	△0.20%	7,685
	1月	9,631	△3.31%	9,961
	2月	7,944	△20.25%	9,961
	3月	7,392	25.97%	5,868
	合計	107,885	5.11%	102,643

(単位:kwh)

処理区	平成26年度		平成25年度	
		対前年度比		
小井田	4月	4,133	△2.48%	4,238
	5月	4,862	△1.84%	4,953
	6月	4,037	△4.63%	4,233
	7月	4,109	7.76%	3,813
	8月	4,849	△6.96%	5,212
	9月	4,040	△9.01%	4,440
	10月	4,666	8.89%	4,285
	11月	4,320	0.68%	4,291
	12月	3,902	0.44%	3,885
	1月	5,259	6.52%	4,937
	2月	4,213	1.47%	4,152
	3月	3,888	△0.33%	3,901
	合計	52,278	△0.12%	52,340
古安曾	4月	19,793	2.95%	19,226
	5月	18,981	2.99%	18,430
	6月	18,514	△5.51%	19,594
	7月	19,525	△0.01%	19,527
	8月	19,962	△1.11%	20,186
	9月	19,992	△1.36%	20,267
	10月	19,127	△0.67%	19,256
	11月	19,833	1.43%	19,554
	12月	19,169	0.96%	18,986
	1月	19,936	△1.07%	20,151
	2月	19,970	△0.35%	20,041
	3月	17,754	△1.27%	17,982
	合計	232,556	△0.28%	233,200
保野舞田	4月	19,919	△5.56%	21,092
	5月	19,364	△4.20%	20,213
	6月	19,050	△7.53%	20,601
	7月	20,169	△0.85%	20,342
	8月	22,140	4.61%	21,164
	9月	22,045	3.07%	21,388
	10月	20,952	3.58%	20,228
	11月	21,313	1.80%	20,936
	12月	20,346	0.08%	20,329
	1月	21,383	3.60%	20,639
	2月	21,133	1.56%	20,809
	3月	19,442	4.57%	18,592
	合計	247,256	0.37%	246,333
豊殿南部	4月	6,950	4.26%	6,666
	5月	8,190	0.45%	8,153
	6月	6,640	△3.35%	6,870
	7月	6,829	△0.89%	6,890
	8月	8,068	1.23%	7,970
	9月	6,816	△4.84%	7,163
	10月	7,579	3.07%	7,353
	11月	7,184	△1.86%	7,320
	12月	6,798	3.61%	6,561
	1月	8,670	3.71%	8,360
	2月	6,996	1.86%	6,868
	3月	6,561	△0.02%	6,562
	合計	87,281	0.63%	86,736
富士山	4月	14,881	△5.46%	15,740
	5月	18,737	△2.18%	19,155
	6月	15,319	△7.99%	16,649
	7月	16,876	△10.47%	18,849
	8月	19,688	△13.55%	22,774
	9月	16,503	△19.24%	20,434
	10月	17,180	△4.93%	18,071
	11月	15,420	△10.00%	17,133
	12月	12,444	△6.46%	13,304
	1月	16,646	1.23%	16,444
	2月	14,065	△14.47%	16,444
	3月	13,298	37.67%	9,659
	合計	191,057	△6.64%	204,656

(単位:kwh)

処理区	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
八木沢	4月	12,936 7.95%	11,983
	5月	17,796 22.65%	14,510
	6月	14,226 13.44%	12,541
	7月	14,886 19.48%	12,459
	8月	20,145 41.43%	14,244
	9月	15,467 16.62%	13,263
	10月	16,679 22.75%	13,588
	11月	15,739 15.63%	13,611
	12月	11,408 △8.10%	12,414
	1月	16,511 2.02%	16,184
	2月	14,484 11.48%	12,992
	3月	15,190 34.45%	11,298
	合計	185,467 16.58%	159,087
浦里	4月	15,820 7.36%	14,735
	5月	15,070 3.92%	14,501
	6月	15,751 4.35%	15,095
	7月	15,543 1.15%	15,366
	8月	15,935 △0.99%	16,095
	9月	17,314 4.36%	16,591
	10月	15,252 2.17%	14,928
	11月	15,442 0.38%	15,384
	12月	14,879 1.88%	14,605
	1月	15,506 △4.68%	16,268
	2月	15,392 △5.29%	16,251
	3月	13,958 △7.25%	15,049
	合計	185,862 0.54%	184,868
林之郷	4月	7,659 5.83%	7,237
	5月	6,886 △2.16%	7,038
	6月	7,681 3.67%	7,409
	7月	7,396 2.54%	7,213
	8月	7,621 △0.74%	7,678
	9月	7,535 0.15%	7,524
	10月	7,094 △7.01%	7,629
	11月	7,428 6.71%	6,961
	12月	7,308 9.21%	6,692
	1月	7,244 0.96%	7,175
	2月	7,185 1.34%	7,090
	3月	6,393 △2.22%	6,538
	合計	87,430 1.45%	86,184
室賀	4月	15,225 △6.69%	16,317
	5月	15,232 △5.63%	16,140
	6月	16,623 △5.21%	17,536
	7月	16,927 △4.50%	17,724
	8月	17,415 △4.85%	18,302
	9月	17,300 △5.17%	18,243
	10月	16,193 △5.54%	17,143
	11月	16,549 △5.32%	17,479
	12月	16,401 4.75%	15,657
	1月	17,160 7.36%	15,984
	2月	17,119 13.90%	15,030
	3月	15,665 14.17%	13,721
	合計	197,809 △0.74%	199,276
山田	4月	4,776 △22.10%	6,131
	5月	5,878 △22.89%	7,623
	6月	4,954 △23.48%	6,474
	7月	4,959 △15.98%	5,902
	8月	5,881 △0.31%	5,899
	9月	5,228 △5.00%	5,503
	10月	5,024 6.26%	4,728
	11月	5,676 4.70%	5,421
	12月	4,787 △0.73%	4,822
	1月	5,812 0.24%	5,798
	2月	4,876 △3.69%	5,063
	3月	4,639 △3.27%	4,796
	合計	62,490 △8.32%	68,160

(単位:kwh)

処理区	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
小泉	4月	20,673 △3.48%	21,419
	5月	20,165 △4.31%	21,074
	6月	21,005 △4.14%	21,913
	7月	20,733 △2.95%	21,363
	8月	21,127 △4.13%	22,038
	9月	20,899 △4.95%	21,988
	10月	20,032 △1.97%	20,435
	11月	20,914 △0.26%	20,968
	12月	21,243 6.92%	19,868
	1月	21,144 3.22%	20,484
	2月	21,168 2.11%	20,731
	3月	18,629 0.18%	18,595
	合計	247,732 △1.25%	250,876
殿城	4月	10,547 2.64%	10,276
	5月	9,962 4.72%	9,513
	6月	10,460 4.94%	9,968
	7月	10,176 7.22%	9,491
	8月	10,607 5.89%	10,017
	9月	10,674 5.38%	10,129
	10月	9,963 3.04%	9,669
	11月	10,592 4.62%	10,124
	12月	10,251 2.35%	10,016
	1月	10,571 △0.15%	10,587
	2月	10,385 △2.36%	10,636
	3月	9,372 △2.12%	9,575
	合計	123,560 2.97%	120,001
布引	4月	1,023 △45.87%	1,890
	5月	1,255 △40.49%	2,109
	6月	1,386 △13.32%	1,599
	7月	1,520 △2.31%	1,556
	8月	1,799 △7.84%	1,952
	9月	1,106 △38.96%	1,812
	10月	1,920 54.59%	1,242
	11月	1,463 △1.61%	1,487
	12月	1,247 4.79%	1,190
	1月	1,673 30.60%	1,281
	2月	1,325 3.43%	1,281
	3月	1,129 44.19%	783
	合計	16,846 △7.35%	18,182
藤原田	4月	4,614 0.87%	4,574
	5月	5,386 2.22%	5,269
	6月	4,348 △2.77%	4,472
	7月	4,555 △16.05%	5,426
	8月	5,150 △5.94%	5,475
	9月	4,509 △4.65%	4,729
	10月	4,912 7.23%	4,581
	11月	5,065 △5.94%	5,385
	12月	4,336 △0.73%	4,368
	1月	5,647 1.71%	5,552
	2月	4,597 2.98%	4,464
	3月	4,679 5.03%	4,455
	合計	57,798 △1.62%	58,750
荻窪	4月	8,731 △4.78%	9,169
	5月	9,647 3.91%	9,284
	6月	8,141 △10.92%	9,139
	7月	8,342 △2.18%	8,528
	8月	9,910 12.03%	8,846
	9月	8,495 △9.97%	9,436
	10月	8,771 3.96%	8,437
	11月	9,402 9.49%	8,587
	12月	8,038 16.49%	6,900
	1月	10,255 15.25%	8,898
	2月	8,383 2.14%	8,207
	3月	7,763 0.15%	7,751
	合計	105,878 2.61%	103,182

(単位:kwh)

処理区	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
和子	4月	8,916 △8.57%	9,752
	5月	10,145 7.82%	9,409
	6月	8,470 △10.85%	9,501
	7月	8,775 △4.11%	9,151
	8月	10,562 8.76%	9,711
	9月	8,671 18.91%	7,292
	10月	8,810 38.46%	6,363
	11月	9,655 34.68%	7,169
	12月	8,236 30.23%	6,324
	1月	10,362 39.86%	7,409
	2月	8,446 14.00%	7,409
	3月	8,001 11.33%	7,187
	合計	109,049 12.80%	96,677
本原	4月	13,528 △0.87%	13,647
	5月	15,344 △9.74%	17,000
	6月	13,344 △2.16%	13,639
	7月	15,077 11.59%	13,511
	8月	14,249 △16.80%	17,126
	9月	14,000 1.73%	13,762
	10月	13,781 △1.13%	13,939
	11月	13,610 △20.14%	17,042
	12月	12,671 △15.64%	15,020
	1月	16,242 9.48%	14,836
	2月	14,081 3.20%	13,644
	3月	11,357 △13.81%	13,176
	合計	167,284 △5.14%	176,342
上洗馬	4月	9,178 △20.29%	11,514
	5月	10,713 13.50%	9,439
	6月	8,767 1.99%	8,596
	7月	9,129 △13.97%	10,611
	8月	10,788 27.50%	8,461
	9月	9,066 4.27%	8,695
	10月	9,978 △4.94%	10,497
	11月	9,433 5.37%	8,952
	12月	9,433 △11.92%	10,709
	1月	10,721 16.18%	9,228
	2月	9,381 5.56%	8,887
	3月	8,599 △3.51%	8,912
	合計	115,186 0.60%	114,501
本原南	4月	16,829 △9.09%	18,512
	5月	16,097 1.06%	15,928
	6月	16,504 10.35%	14,956
	7月	16,309 △11.57%	18,443
	8月	16,937 12.82%	15,012
	9月	16,831 11.04%	15,157
	10月	15,202 △21.47%	19,358
	11月	15,899 11.49%	14,260
	12月	14,668 △18.42%	17,980
	1月	15,905 1.29%	15,703
	2月	15,965 6.68%	14,966
	3月	13,769 △5.79%	14,615
	合計	190,915 △2.04%	194,890
武石	4月	25,864 3.14%	25,076
	5月	24,913 0.72%	24,735
	6月	25,924 0.14%	25,887
	7月	24,905 △1.76%	25,351
	8月	26,263 △0.72%	26,453
	9月	25,770 △2.23%	26,359
	10月	24,593 △3.56%	25,500
	11月	25,294 △0.24%	25,355
	12月	24,066 3.63%	23,222
	1月	25,437 4.78%	24,276
	2月	25,367 3.79%	24,441
	3月	22,915 3.19%	22,207
	合計	301,311 0.82%	298,862

(単位:kwh)

処理区	平成26年度		平成25年度
		対前年度比	
本入	4月	5,714 △0.33%	5,733
	5月	6,830 7.42%	6,358
	6月	5,759 △5.65%	6,104
	7月	6,064 6.29%	5,705
	8月	6,783 12.12%	6,050
	9月	5,909 △16.63%	7,088
	10月	5,749 0.02%	5,748
	11月	6,367 △4.63%	6,676
	12月	5,183 △10.78%	5,809
	1月	6,916 △2.14%	7,067
	2月	5,682 2.08%	5,566
	3月	5,250 △5.73%	5,569
	合計	72,206 △1.72%	73,473
余里小沢根	4月	4,542 19.59%	3,798
	5月	5,468 16.69%	4,686
	6月	4,288 7.63%	3,984
	7月	4,612 17.68%	3,919
	8月	5,217 0.66%	5,183
	9月	4,574 △2.24%	4,679
	10月	4,416 2.46%	4,310
	11月	5,180 1.29%	5,114
	12月	4,444 △1.96%	4,533
	1月	5,407 △4.17%	5,642
	2月	4,401 △6.94%	4,729
	3月	4,250 △6.72%	4,556
	合計	56,799 3.02%	55,133
合計	4月	303,412 △2.12%	309,991
	5月	323,775 0.86%	321,006
	6月	304,872 △1.66%	310,011
	7月	312,846 △0.53%	314,527
	8月	339,662 2.07%	332,774
	9月	317,355 △2.08%	324,086
	10月	308,170 0.39%	306,982
	11月	309,873 △0.51%	311,462
	12月	285,459 △1.62%	290,173
	1月	325,837 2.40%	318,213
	2月	302,014 △0.85%	304,594
	3月	277,928 3.58%	268,320
	合計	3,711,203 △0.03%	3,712,139



# 付録



# 1 長野県内の上下水道料金比較

(1) 県内19市等上下水道料金一覧表 (口径13mm又は家庭用:1か月:20㎡使用)

(平成27年4月1日現在・税込・単位:円)

	水道料金		公共下水道使用料		農業集落排水使用料		合計	
長野市	5	3,391円	12	3,470円	12	3,470円	6	6,861円
松本市	16	2,670円	17	3,080円	5	3,780円	16	5,750円
上田市	15	2,696円	5	3,754円	6	3,754円	14	6,450円
岡谷市	18	2,300円	15	3,218円		—	18	5,518円
飯田市	13	2,920円	6	3,727円	7	3,727円	11	6,647円
諏訪市	19	1,777円	18	3,062円		—	19	4,839円
須坂市	7	3,240円	9	3,570円	10	3,570円	7	6,810円
小諸市	12	3,020円	8	3,680円	14	3,250円	10	6,700円
伊那市	3	3,542円	4	3,834円	4	3,834円	3	7,376円
駒ヶ根市	7	3,240円	14	3,240円	16	2,800円	13	6,480円
中野市	7	3,240円	11	3,510円	11	3,510円	8	6,750円
大町市	14	2,800円	7	3,720円	8	3,720円	12	6,520円
飯山市	1	4,210円	10	3,560円	9	3,580円	2	7,770円
茅野市	17	2,538円	19	3,061円		—	17	5,599円
塩尻市	11	3,070円	2	3,920円	2	3,920円	4	6,990円
佐久市	2	3,618円	1	4,428円	1	4,428円	1	8,046円
千曲市	6	3,258円	16	3,186円	15	3,186円	15	6,444円
東御市	4	3,445円	13	3,294円	13	3,294円	9	6,739円
安曇野市	10	3,090円	3	3,888円	3	3,888円	5	6,978円
19市平均		3,056円		3,537円		3,607円		6,593円

(参考)

県水地区		3,258円		3,754円		3,754円		7,012円
------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------

(注) 合計は、水道料金と公共下水道使用料の合計である

(2) 長野県内の水道使用量別料金比較

	料金体系	口径13mm又は家庭用							
		5m <sup>3</sup>		10m <sup>3</sup>		20m <sup>3</sup>		50m <sup>3</sup>	
長野市	用途別 口径別	7	1,339円	7	1,674円	5	3,391円	4	9,482円
松本市	口径別	11	1,190円	9	1,540円	16	2,670円	14	7,860円
上田市	その他	17	886円	18	1,186円	15	2,696円	15	7,586円
岡谷市	口径別	6	1,382円	8	1,598円	18	2,300円	19	5,648円
飯田市	用途別 口径別	13	1,096円	14	1,400円	13	2,920円	12	7,930円
諏訪市	用途別	19	784円	19	784円	19	1,777円	18	6,119円
須坂市	口径別	14	1,050円	11	1,520円	7	3,240円	9	8,820円
小諸市	口径別	16	920円	12	1,510円	12	3,020円	13	7,880円
伊那市	口径別	8	1,328円	1	1,954円	3	3,542円	3	9,676円
駒ヶ根市	口径別	4	1,390円	3	1,940円	7	3,240円	5	9,370円
中野市	口径別	18	858円	13	1,425円	7	3,240円	10	8,683円
大町市	用途別 口径別	9	1,290円	17	1,290円	14	2,800円	16	7,340円
飯山市	口径別	1	1,950円	2	1,950円	1	4,210円	1	10,990円
茅野市	口径別	10	1,242円	16	1,296円	17	2,538円	17	6,696円
塩尻市	口径別	3	1,430円	4	1,830円	11	3,070円	7	9,010円
佐久水道企業団	用途別 口径別	12	1,188円	5	1,728円	2	3,618円	6	9,288円
千曲市	口径別	5	1,388円	15	1,388円	6	3,258円	8	8,868円
東御市	その他	15	1,026円	6	1,717円	4	3,445円	2	9,925円
安曇野市	口径別	2	1,540円	9	1,540円	10	3,090円	11	8,360円
19市平均	——		1,225円		1,541円		3,056円		8,396円

長和町	——		950円		1,242円		2,700円		7,657円
立科町	用途別		1,590円		1,590円		3,430円		9,590円
青木村	——		1,471円		1,933円		3,933円		9,933円

(参考)

県水地区	口径別		1,388円		1,388円		3,258円		8,868円
------	-----	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------

(注1) 料金体系の「その他」は、用途別・口径別以外の体系があることを示す。



(平成27年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

口径50mm又は工場用								現行料金 適用年月日 (消費税率改定を除く)	平成26年度 消費税率分 改定の有無	平均 改定率
100m <sup>3</sup>	200m <sup>3</sup>		500m <sup>3</sup>		1,000m <sup>3</sup>					
11	30,164 円	5	56,624 円	3	136,004 円	2	268,304 円	平成25年6月1日	有	7.86%
4	38,880 円	7	56,160 円	11	108,000 円	13	194,400 円	平成19年8月1日	有	△5.56%
7	34,544 円	11	52,344 円	13	105,744 円	12	194,744 円	平成25年4月1日	有	0.00%
1	48,546 円	3	60,426 円	15	96,066 円	19	155,466 円	平成11年4月1日	有	9.80%
15	24,297 円	16	40,997 円	17	91,097 円	17	174,597 円	平成20年4月1日	有	5.77%
19	16,453 円	19	34,813 円	18	89,893 円	16	181,693 円	平成16年5月1日	有	1.14%
8	32,240 円	10	54,600 円	7	121,670 円	6	237,770 円	平成8年5月1日	有	27.90%
13	25,430 円	14	45,950 円	12	107,510 円	9	220,910 円	平成14年6月1日	有	3.00%
2	44,830 円	1	67,942 円	2	137,278 円	3	252,838 円	平成26年4月1日	有	0.00%
5	36,840 円	4	58,340 円	4	129,290 円	5	247,550 円	平成10年4月1日	有	4.92%
10	30,585 円	9	55,101 円	5	128,649 円	4	251,229 円	平成24年4月1日	有	0.00%
17	18,790 円	18	36,070 円	19	87,910 円	18	174,310 円	平成15年4月1日	有	7.00%
14	24,450 円	13	47,050 円	8	114,850 円	8	227,850 円	平成13年9月1日	有	10.90%
9	30,780 円	12	50,220 円	10	108,540 円	11	205,740 円	平成14年7月1日	有	△6.00%
3	41,630 円	2	63,230 円	6	128,030 円	7	236,030 円	平成19年10月20日	有	△5.13%
6	36,774 円	8	55,674 円	9	112,374 円	10	206,874 円	平成24年4月1日	有	0.00%
18	18,459 円	17	37,159 円	16	93,259 円	15	186,759 円	平成17年4月1日	有	0.00%
16	23,965 円	6	56,365 円	1	153,565 円	1	315,565 円	平成18年4月1日	有	12.70%
12	26,400 円	15	45,000 円	14	100,800 円	14	193,800 円	平成22年9月1日	有	0.00%
	30,740 円		51,267 円		113,186 円		217,180 円	——	——	——
	16,567 円		34,387 円		87,847 円		176,947 円	平成17年10月1日	有	0.00%
	21,810 円		47,300 円		128,950 円		280,150 円	平成22年4月1日	有	△2.90%
	19,933 円		39,933 円		99,933 円		199,933 円	平成18年4月1日	有	5.00%
	18,218 円		36,918 円		93,018 円		186,518 円	平成14年4月1日	有	8.50%

(3) 長野県内の公共下水道使用量別使用料比較

		使用料体系	5m <sup>3</sup>		10m <sup>3</sup>		20m <sup>3</sup>		50m <sup>3</sup>	
長野市	従量制	従量制	13	1,461円	10	1,796円	12	3,470円	11	9,204円
松本市	従量制	従量制	15	1,420円	17	1,420円	17	3,080円	15	8,640円
上田市	従量制	従量制	7	1,619円	5	1,974円	5	3,754円	10	9,334円
岡谷市	従量制	従量制 水質使用料制	12	1,490円	16	1,490円	15	3,218円	14	8,683円
飯田市	従量制	従量制	8	1,584円	7	1,912円	6	3,727円	2	11,027円
諏訪市	従量制	従量制 水質使用料制	16	1,410円	18	1,410円	18	3,062円	17	8,344円
須坂市	従量制	従量制	18	1,150円	11	1,670円	9	3,570円	9	9,730円
小諸市	従量制	従量制	19	910円	8	1,830円	8	3,680円	8	9,800円
伊那市	従量制	従量制	1	2,025円	2	2,106円	4	3,834円	6	10,314円
駒ヶ根市	従量制	従量制 定額制	10	1,560円	3	2,050円	14	3,240円	12	8,870円
中野市	従量制	従量制	9	1,566円	14	1,566円	11	3,510円	4	10,551円
大町市	従量制	従量制	5	1,670円	11	1,670円	7	3,720円	5	10,420円
飯山市	従量制	従量制	14	1,440円	4	2,000円	10	3,560円	13	8,710円
茅野市	従量制	従量制 水質使用料制	17	1,409円	19	1,409円	19	3,061円	18	8,343円
塩尻市	従量制	従量制 定額制	4	1,810円	9	1,810円	2	3,920円	3	10,990円
佐久市	従量制	従量制	2	1,944円	1	2,700円	1	4,428円	1	11,988円
千曲市	従量制	従量制	11	1,512円	15	1,512円	16	3,186円	19	8,316円
東御市	従量制	従量制	6	1,620円	13	1,620円	13	3,294円	16	8,532円
安曇野市	従量制	従量制	2	1,944円	6	1,944円	3	3,888円	7	9,936円
19市平均	—			1,555円		1,784円		3,537円		9,565円
長和町	従量制	従量制		1,209円		1,620円		3,672円		12,160円
坂城町	従量制	従量制		1,512円		1,512円		3,186円		8,316円
立科町	従量制	従量制 定額制		2,260円		2,910円		4,210円		8,100円
青木村	従量制	従量制		1,594円		2,010円		4,080円		10,290円

(平成27年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

100m <sup>3</sup>		200m <sup>3</sup>		500m <sup>3</sup>		1,000m <sup>3</sup>		現行料金 適用年月日 (消費税率改定を除く)	平成26年度 消費税率分 改定の有無	平均 改定率
9	20,382 円	9	45,870 円	7	127,950 円	6	280,230 円	平成18年6月1日	有	8.00%
11	19,170 円	10	41,850 円	10	113,340 円	10	235,380 円	平成13年4月1日	有	9.40%
12	19,084 円	15	39,184 円	17	100,284 円	17	202,784 円	平成23年4月1日	有	0.00%
13	18,943 円	14	39,463 円	16	101,023 円	16	203,623 円	平成10年4月1日	有	16.51%
2	24,977 円	2	55,577 円	2	150,677 円	2	311,177 円	平成25年10月1日	有	8.71%
15	18,226 円	12	39,826 円	11	107,650 円	11	226,990 円	平成21年6月1日	有	9.72%
7	22,100 円	7	46,830 円	9	121,030 円	9	249,550 円	平成16年4月1日	有	10.44%
8	21,300 円	8	46,680 円	8	122,820 円	8	263,760 円	平成18年8月1日	有	0.00%
5	23,274 円	4	51,894 円	4	142,074 円	4	295,974 円	平成26年4月1日	有	△0.20%
14	18,810 円	16	38,680 円	14	104,780 円	14	214,940 円	平成6年11月30日	有	——
4	23,943 円	5	51,375 円	5	135,399 円	5	284,439 円	平成19年4月1日	有	0.00%
6	22,300 円	6	48,220 円	6	128,140 円	7	268,540 円	平成25年4月1日	有	4.00%
18	17,910 円	18	37,410 円	15	102,310 円	13	218,310 円	平成24年4月1日	有	1.80%
16	18,225 円	13	39,825 円	12	107,649 円	12	226,989 円	平成22年4月1日	有	10.40%
3	24,240 円	3	53,940 円	3	147,440 円	3	306,940 円	平成19年10月20日	有	5.06%
1	26,028 円	1	56,268 円	1	151,308 円	1	324,108 円	平成24年4月1日	有	——
19	17,226 円	19	35,588 円	19	91,746 円	19	186,246 円	平成15年9月1日	有	0.00%
17	17,982 円	17	38,502 円	18	100,062 円	18	202,662 円	平成18年4月1日	有	——
10	20,196 円	11	41,796 円	13	106,596 円	15	214,596 円	平成22年4月1日	有	0.00%
	20,753 円		44,673 円		119,067 円		248,276 円	——	——	——
	28,900 円		62,380 円		162,820 円		330,220 円	平成26年4月1日	有	——
	17,226 円		35,586 円		91,746 円		186,246 円	平成12年10月1日	有	0.00%
	14,580 円		27,540 円		66,420 円		131,220 円	平成8年3月15日	有	0.00%
	20,640 円		41,340 円		103,440 円		206,940 円	平成18年4月1日	有	5.00%

(4) 長野県内の農業集落排水使用量別使用料比較

		使用料体系			5m <sup>3</sup>		10m <sup>3</sup>		20m <sup>3</sup>		50m <sup>3</sup>	
長野市	従量制	従量制	量進	14	1,461円	11	1,796円	12	3,470円	10	9,204円	
松本市	従量制	従量制	量進額	3	2,160円	3	2,700円	5	3,780円	14	6,480円	
上田市	従量制	従量制	量進	10	1,619円	7	1,974円	6	3,754円	9	9,334円	
飯田市	従量制	従量制	量進	11	1,584円	9	1,912円	7	3,727円	2	11,027円	
須坂市	従量制	従量制	量進	16	1,150円	12	1,670円	10	3,570円	8	9,730円	
小諸市	定額制	定額制	額	1	3,250円	1	3,250円	14	3,250円	15	3,250円	
伊那市	従量制	従量制	量進	4	2,025円	5	2,106円	4	3,834円	6	10,314円	
駒ヶ根市	定額制	定額制	額	2	2,800円	2	2,800円	16	2,800円	16	2,800円	
中野市	従量制	従量制	量進	12	1,566円	15	1,566円	11	3,510円	4	10,551円	
大町市	従量制	従量制	量進	8	1,670円	12	1,670円	8	3,720円	5	10,420円	
飯山市	従量制	従量制	量進	15	1,430円	6	2,030円	9	3,580円	11	8,550円	
塩尻市	従量制	従量制	量進額	7	1,810円	10	1,810円	2	3,920円	3	10,990円	
佐久市	従量制	従量制	量進	5	1,944円	3	2,700円	1	4,428円	1	11,988円	
千曲市	従量制	従量制	量進	13	1,512円	16	1,512円	15	3,186円	13	8,316円	
東御市	従量制	従量制	量進	9	1,620円	14	1,620円	13	3,294円	12	8,532円	
安曇野市	従量制	従量制	量進	5	1,944円	8	1,944円	3	3,888円	7	9,936円	
19市平均	—				1,847円		2,066円		3,607円		8,839円	
立科町	従量制	従量制	定額		2,260円		2,910円		4,210円		8,100円	

(参考)

(注1) 松本市は、安曇地区の下水道使用料金。

(注2) 小諸市は、定額制[基本料金2,500円+1人当り@250円]平均3人で計算。

(注3) 駒ヶ根市は、使用口数が最も多い地区の料金。

(平成27年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

100m <sup>3</sup>		200m <sup>3</sup>		500m <sup>3</sup>		1,000m <sup>3</sup>		現行料金 適用年月日 (消費税率改定を除く)	平成26年度 消費税率分 改定の有無	平均 改定率
8	20,382 円	8	45,870 円	7	127,950 円	6	280,230 円	平成21年4月1日	有	——
14	10,800 円	14	19,440 円	14	45,360 円	14	88,560 円	平成13年4月1日	有	——
10	19,084 円	10	39,184 円	10	100,284 円	10	202,784 円	平成23年4月1日	有	0.00%
2	24,977 円	2	55,577 円	2	150,677 円	2	311,177 円	平成25年10月1日	有	8.71%
7	22,100 円	7	46,830 円	8	121,030 円	8	249,550 円	平成16年4月1日	有	10.33%
15	3,250 円	15	3,250 円	15	3,250 円	15	3,250 円	平成9年10月1日	無	——
5	23,274 円	4	51,894 円	4	142,074 円	4	295,974 円	平成26年4月1日	有	——
16	2,800 円	16	2,800 円	16	2,800 円	16	2,800 円	平成16年8月1日	有	——
4	23,943 円	5	51,375 円	5	135,399 円	5	284,439 円	平成19年4月1日	有	0.00%
6	22,300 円	6	48,220 円	6	128,140 円	7	268,540 円	平成25年4月1日	有	4.00%
13	17,050 円	13	34,650 円	13	90,650 円	12	186,650 円	平成24年4月1日	有	1.80%
3	24,240 円	3	53,940 円	3	147,440 円	3	306,940 円	平成19年10月20日	有	5.06%
1	26,028 円	1	56,268 円	1	151,308 円	1	324,108 円	平成24年4月1日	有	——
12	17,226 円	12	35,586 円	12	91,746 円	13	186,246 円	平成23年1月1日	有	0.00%
11	17,982 円	11	38,502 円	11	100,062 円	11	202,662 円	平成18年4月1日	有	——
9	20,196 円	9	41,796 円	9	106,596 円	9	214,596 円	平成22年4月1日	有	——
	18,477 円		39,074 円		102,798 円		213,032 円	——	——	——
	14,580 円		27,540 円		66,420 円		131,220 円	平成5年4月1日	有	0.00%

## 2 長野県内の上下水道事業の経営の状況

### (1) 水道事業

経営(事業)主体	給水人口 (人)	普及率 (対給水区域内人口) (%)	年間 総配水量 (千m <sup>3</sup> )	年間 有収水量 (千m <sup>3</sup> )	有収率		給水収益 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
						(%)			
長野県	190,937	96.37	21,303.68	18,822.98	2	88.36	3,230,909	419,848	736,411
長野市	277,522	99.84	34,305.01	29,431.88	4	85.79	5,893,979	1,146,966	1,089,564
松本市	237,310	99.61	28,962.35	25,531.33	3	88.15	4,131,917	789,002	261,829
上田市	135,913	99.80	17,387.87	14,626.50	9	84.12	2,229,515	484,075	△ 28,787
岡谷市	51,405	100.00	6,451.93	5,493.73	7	85.15	762,244	164,377	119,693
飯田市	101,179	98.98	11,137.61	9,541.35	5	85.67	1,477,796	221,282	41,302
諏訪市	50,779	100.00	8,572.61	7,164.13	12	83.57	836,449	176,822	166,627
須坂市	51,532	98.72	6,440.21	5,510.67	6	85.57	1,077,565	294,167	359,537
小諸市	42,148	100.00	5,746.10	4,748.74	14	82.64	793,536	172,199	137,499
伊那市	66,070	100.00	8,431.97	6,642.46	17	78.78	1,311,820	95,489	△ 640
駒ヶ根市	33,257	99.82	3,758.44	3,357.57	1	89.33	648,208	63,103	237,425
中野市	44,755	97.38	5,443.13	4,561.11	10	83.80	805,066	184,899	178,102
大町市	26,640	100.00	4,115.96	2,845.25	20	69.13	426,209	91,197	85,546
飯山市	16,955	100.00	2,470.50	1,837.92	19	74.39	394,437	105,121	127,065
茅野市	54,282	99.97	9,755.57	7,663.71	18	78.56	1,176,916	396,940	382,782
塩尻市	64,789	100.00	8,296.47	6,789.10	15	81.83	1,275,976	188,106	△ 38,758
千曲市	7,172	100.00	822.00	684.19	13	83.23	117,961	36,495	35,549
東御市	28,106	100.00	3,737.03	3,152.38	8	84.36	623,715	103,512	96,129
安曇野市	97,423	100.00	12,460.07	9,886.88	16	79.35	1,767,710	324,113	310,922
佐久水道企業団	119,467	99.75	15,574.86	13,047.47	11	83.77	2,682,184	847,538	494,208
長和町	6,707	100.00	1,261.52	779.74		61.81	129,401	——	——
立科町	7,830	99.99	1,425.62	1,108.82		77.78	232,578	45,303	9,639
青木村	4,616	100.00	494.96	388.07		78.40	87,418	——	——

(注1) 有収率・労働生産性・施設利用率・経営資本経常利益率・自己資本構成比率の左欄は、県・市及び企業団で比較した順位を示す。

(注2) 長和町・青木村は、地方公営企業法を適用していない。

数値は、平成26年度又は平成27年3月31日現在

企業債残高 (千円)	供給単価 (円/㎡)	給水原価 (円/㎡)	所属職員数			労働生産性 (千円)	施設利用率 (%)		経営資本 営業利益率 (%)		自己資本 構成比率 (%)		
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)								
21,214,484	171.65	180.68	28	17	45	4	117,500	9	62.62	14	0.74	20	49.87
30,518,632	200.26	200.48	85	24	109	13	69,812	14	56.77	11	0.93	18	54.22
8,252,566	161.84	165.98	54	12	66	8	82,358	11	57.96	9	1.06	5	75.11
8,223,199	152.43	150.00	43	11	54	17	52,093	17	52.22	15	0.73	9	67.82
1,538,139	138.75	129.91	14	2	16	16	54,983	18	50.50	8	1.22	4	77.00
7,792,960	154.88	188.11	20	0	20	10	79,384	4	66.11	18	△ 0.09	10	66.76
2,256,267	116.76	100.93	21	0	21	20	40,005	15	53.42	4	1.81	11	66.50
3,580,478	195.54	181.51	16	4	20	11	71,069	13	56.83	6	1.53	6	74.91
2,465,305	167.10	156.44	19	0	19	19	44,282	12	57.66	3	1.91	13	65.42
6,089,680	197.49	226.78	11	5	16	3	121,012	19	43.86	20	△ 0.14	17	57.43
3,023,710	193.06	201.24	6	0	6	5	110,049	6	64.36	17	0.51	15	62.08
3,844,852	176.51	174.80	6	4	10	1	138,563	10	58.30	10	0.99	16	59.91
1,916,082	149.80	159.58	9	1	10	18	49,897	8	62.65	16	0.59	8	71.53
1,415,872	214.61	222.02	6	0	6	12	70,615	3	72.62	7	1.29	7	72.19
881,589	153.57	126.35	15	5	20	9	80,986	5	64.72	5	1.74	1	92.01
4,764,165	187.94	200.03	13	6	19	6	104,816	7	63.55	12	0.80	14	64.65
553,331	172.41	196.46	2	2	4	15	60,709	20	41.80	19	△ 0.10	2	80.41
3,274,902	197.86	188.04	5	1	6	2	128,138	1	76.41	2	1.96	19	51.99
9,031,534	178.79	191.26	21	0	21	7	91,144	16	52.93	13	0.78	12	65.57
4,789,863	205.57	177.49	45	5	50	14	63,461	2	74.11	1	2.16	3	80.28
1,740,280	165.95	234.66	1	0	1		129,501		37.62		—		—
675,050	209.75	228.09	3	0	3		79,842		32.52		0.20		82.18
946,405	225.26	289.13	1	0	1		88,001		54.35		—		—

## (2) 公共下水道事業

	経営(事業) 主体	水洗化人口 (人)	水洗化率 (対処理区域内人口) (%)	年間汚水 処理水量 (m <sup>3</sup> )	年間 有収水量 (m <sup>3</sup> )	有収率		下水道 使用料 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
							(%)			
法 適 用	長野市	333,424	93.83	39,277,953	36,278,249	6	92.36	7,020,033	2,317,394	2,231,413
	松本市	228,418	98.01	36,762,021	28,079,554	14	76.38	4,831,396	766,259	443,443
	上田市	116,303	90.37	14,711,303	12,614,270	10	85.75	2,357,594	618,102	363,351
	岡谷市	49,998	97.50	7,697,558	5,737,346	16	74.53	978,803	288,772	249,703
	伊那市	39,824	83.32	3,980,387	4,030,741	2	101.27	873,904	76,046	5,802
	駒ヶ根市	15,612	80.57	2,409,934	2,004,545	11	83.18	362,875	△ 19,964	△ 25,971
	茅野市	53,320	98.80	9,617,840	7,165,136	17	74.50	1,270,787	459,292	446,967
	塩尻市	58,685	96.88	7,562,904	6,145,997	13	81.27	1,348,368	233,871	223,857
	千曲市	48,385	85.49	5,169,175	5,169,175	3	100.00	840,791	288,989	284,866
	須坂市	44,898	93.95	4,650,028	4,650,028	3	100.00	879,781	328,431	326,671
	東御市	17,804	93.07	2,181,525	1,896,730	8	86.95	314,370	103,820	98,729
	佐久市	61,679	93.35	7,234,158	6,669,181	7	92.19	1,652,481	474,707	449,486
	諏訪市	49,560	98.78	9,851,508	7,523,061	15	76.36	1,286,922	356,790	345,009
	小諸市	25,201	87.03	2,686,309	2,324,661	9	86.54	450,693	296,108	270,458
	大町市	14,298	67.99	1,307,724	1,722,123	1	131.69	348,208	28,964	△ 9,817
法 非 適 用	飯田市	77,617	90.09	11,748,488	7,944,671	19	67.62	—	—	—
	中野市	27,280	87.87	3,122,241	2,596,585	12	83.16	—	—	—
	飯山市	14,961	89.27	2,303,951	1,593,922	18	69.18	—	—	—
	安曇野市	69,784	79.57	7,467,968	7,467,968	3	100.00	—	—	—
	長和町	5,661	96.23	581,203	532,816		91.67	—	—	—
	坂城町	8,491	75.33	734,659	742,635		101.09	—	—	—
	立科町	2,305	89.86	261,860	269,351		102.86	—	—	—
	青木村	3,778	91.30	293,043	293,043		100.00	—	—	—

(注1) 有収率の左欄は、19市で比較した順位を示す。

(注2) 労働生産性・経営資本経常利益率・自己資本構成比率の左欄は、法適用事業体で比較した順位を示す。

(注3) 施設利用率の左欄は、19市かつ自己処理を行っている事業体で比較した順位を示す。

(注4) 上記は、公共・特環を含む。(特地・個排・簡排は除く)

(注5) 水洗化人口、水洗化率は外国人を含む。



数値は、平成26年度又は平成27年3月31日現在

企業債残高 (千円)	使用料単価 (円/㎡)	汚水処理 原価 (円/㎡)	所属職員数			労働生産性 (千円)	施設利用率 (%)		経営資本 営業利益率 (%)		自己資本 構成比率 (%)		
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)								
101,588,146	193.51	135.08	38	27	65	3	195,268	1	116.20	3	△ 0.54	3	53.45
42,282,267	172.06	140.78	39	8	47	11	125,084	2	82.57	2	△ 0.44	1	62.55
51,777,101	186.90	152.86	12	12	24	2	196,605	10	51.08	12	△ 1.96	9	46.36
11,234,000	170.60	131.77	9	1	10	12	108,849		—	7	△ 1.23	6	47.69
30,997,923	216.81	209.28	11	8	19	13	80,415	9	52.13	11	△ 1.68	14	33.72
9,406,299	181.03	163.67	2	4	6	5	181,737	5	63.64	10	△ 1.66	7	46.75
18,178,347	177.36	113.32	6	4	10	1	219,159		—	4	△ 0.91	11	44.74
22,219,287	219.39	214.19	9	2	11	7	162,990	7	61.45	8	△ 1.40	12	44.11
30,723,530	162.65	126.92	6	7	13	8	161,944		—	9	△ 1.43	13	40.58
20,801,051	189.20	123.21	5	2	7	6	176,373		—	6	△ 1.01	15	32.36
8,606,835	165.74	124.80	7	1	8	15	46,408	4	64.16	13	△ 2.27	5	51.42
23,356,556	247.78	176.73	11	6	17	10	151,460	3	64.86	5	△ 1.00	2	58.31
15,606,799	171.06	177.88	7	4	11	4	184,118		—	1	△ 0.15	4	51.49
11,282,137	193.87	150.98	3	3	6	9	153,147	6	61.82	14	△ 2.35	10	45.04
10,407,294	202.20	214.66	6	1	7	14	58,141	13	40.27	15	△ 2.88	8	46.65
—	228.46	268.05	20	6	26		—	8	58.81		—		—
—	210.87	243.34	6	3	9		—	11	49.11		—		—
—	188.66	261.99	4	0	4		—	12	41.45		—		—
—	206.77	252.52	8	6	14		—	14	30.65		—		—
—	230.54	225.30	2	1	3		—		41.68		—		—
—	170.10	203.98	0	4	4		—		—		—		—
—	192.64	198.25	0	0	0		—		43.73		—		—
—	215.88	330.89	1	0	1		—		46.36		—		—

(3) 農業集落排水事業

	経営(事業)主体	水洗化人口 (人)	水洗化率 (対処理区域内人口) (%)	年間汚水 処理水量 (m <sup>3</sup> )	年間 有収水量 (m <sup>3</sup> )	有収率		下水道 使用料 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
							(%)			
法 適 用	長野市	7,016	85.07	678,313	557,580	15	82.20	105,441	△ 106,282	△ 109,372
	上田市	24,915	92.82	2,193,336	2,076,047	9	94.65	382,766	123,394	96,550
	須坂市	2,687	95.55	192,115	192,115	2	100.00	33,639	37,728	37,191
	伊那市	10,387	90.84	908,900	929,972	1	102.32	193,393	△ 8,130	△ 10,608
	塩尻市	5,859	91.96	524,883	485,337	11	92.47	99,113	44,685	45,587
	千曲市	4,629	94.90	427,947	376,503	12	87.98	59,638	17,964	17,649
	東御市	8,087	92.07	671,290	645,715	7	96.19	106,280	21,431	20,767
	佐久市	10,293	91.80	850,675	833,316	6	97.96	185,653	△ 2,533	△ 3,368
	大町市	889	86.14	94,516	70,900	16	75.01	13,848	2,892	2,895
法 非 適 用	松本市	1,251	100.00	119,698	119,698	2	100.00	—	—	—
	飯田市	5,825	92.26	584,792	505,037	14	86.36	—	—	—
	小諸市	6,145	76.76	522,597	522,597	2	100.00	—	—	—
	駒ヶ根市	10,552	92.47	983,600	983,600	2	100.00	—	—	—
	中野市	10,135	81.47	856,033	809,735	10	94.59	—	—	—
	飯山市	4,988	91.98	522,445	455,644	13	87.21	—	—	—
	安曇野市	2,798	93.96	239,070	228,394	8	95.53	—	—	—
	立科町	3,235	93.36	268,970	263,110		97.82	—	—	—

(注1) 有収率・施設利用率の左欄は、19市で比較した順位を示す。

(注2) 労働生産性・経営資本経常利益率・自己資本構成比率の左欄は、法適用事業体で比較した順位を示す。

数値は、平成26年度又は平成27年3月31日現在

企業債残高 (千円)	使用料単価 (円/㎡)	汚水処理 原価 (円/㎡)	所属職員数			労働生産性 (千円)	施設利用率		経営資本 営業利益率		自己資本 構成比率		
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)		(%)	(%)	(%)				
7,177,098	189.10	387.42	4	0	4	7	25,830	10	50.39	9	△ 3.64	9	54.45
11,058,083	184.37	209.28	4	0	4	4	95,720	4	57.43	4	△ 2.74	6	59.06
1,040,977	175.10	167.69	1	0	1	6	34,339	14	46.34	7	△ 3.37	8	56.23
5,620,056	207.96	183.66	1	0	1	1	188,174	12	47.81	2	△ 2.42	7	56.65
2,844,229	204.21	197.66	1	0	1	3	99,197	6	55.44	6	△ 3.09	5	59.21
809,193	158.40	161.85	1	0	1	5	60,074	1	65.92	5	△ 3.09	2	75.86
2,416,983	164.59	131.47	1	0	1	2	106,282	8	51.01	3	△ 2.58	3	68.23
1,536,331	222.79	215.13	0	0	0	—	—	7	55.03	1	△ 2.08	1	81.43
752,741	195.32	275.90	0	0	0	—	—	13	47.69	8	△ 3.47	4	63.88
—	172.97	244.00	0	0	0	—	—	15	44.97	—	—	—	—
—	215.51	322.28	3	0	3	—	—	11	48.15	—	—	—	—
—	152.48	298.09	3	0	3	—	—	3	57.45	—	—	—	—
—	170.12	223.25	2	0	2	—	—	5	55.51	—	—	—	—
—	197.22	196.27	2	0	2	—	—	16	43.75	—	—	—	—
—	188.67	207.10	1	0	1	—	—	2	59.01	—	—	—	—
—	207.01	202.93	0	0	0	—	—	9	50.74	—	—	—	—
—	218.24	233.62	1	0	1	—	—	—	48.40	—	—	—	—

### 3 上下水道指定工事店の状況

#### (1) 指定工事事業者の推移

指定年月日	給水装置工事事業者			下水道指定工事店			指定工事店計
	新規指定	継続指定	合計	新規指定	継続指定	合計	
平成18年4月1日	4	275	279	3	354	357	395
19年4月1日	10	273	283	4	347	351	399
20年4月1日	8	274	282	7	318	325	377
21年4月1日	6	277	283	5	305	310	368
22年4月1日	12	283	295	10	292	302	370
23年4月1日	5	293	298	2	287	289	369
24年4月1日	6	298	304	9	276	285	363
25年4月1日	5	293	298	3	264	267	351
26年4月1日	6	293	299	6	247	253	341
27年4月1日	5	287	292	5	251	256	337

(注) 指定工事店計の欄は、給水装置工事事業者、下水道指定工事店いずれかの指定を受けている者の合計である。

#### (2) 指定工事事業者指定基準

##### ア 給水装置工事事業者

[指定の基準]・・・上田市水道条例第5条第2項及び上田市指定給水装置工事事業者規程

(指定の基準)

第3条 管理者は、前条第1項の指定の申請をしたものが次の各号のいずれにも適合していると認めるときは、同項の指定をしなければならない。

- (1) 事業所ごとに第10条第1項の規定により主任技術者として選任されることとなる者を置く者であること。
- (2) 次に定める機械器具を有する者であること。
  - ア 金切りのこその他の管の切断用の機械器具
  - イ やすり、パイプねじ切り器その他の管の加工用の機械器具
  - ウ トーチランプ、パイプレンチその他の接合用の機械器具
  - エ 水圧テストポンプ
- (3) 次のいずれにも該当しない者であること。
  - ア 成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ない者
  - イ 法に違反して、刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
  - ウ 第6条の規定により指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しない者
  - エ その業務に関し不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者
  - オ 法人にあって、その役員のうちにアからエまでのいずれかに該当する者があるもの

##### イ 下水道指定工事店

[指定の基準]・・・上田市下水道条例

(指定の基準)

第11条 管理者は、前条第1項の申請をした者が次の各号のいずれにも適合していると認めるときは、同項の指定を行う。

- (1) 第13条第1項の規定により責任技術者として登録を受けた者が1人以上常勤していること。
- (2) 営業に必要な設備及び機材を備えていること。
- (3) 長野県内又は管理者の指定する地域に営業所があること。
- (4) 次のいずれにも該当しない者であること。
  - ア 成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ないもの
  - イ 第20条の規定により指定工事店の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過していない者
  - ウ その業務に関し不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者
  - エ 法人にあっては、その役員のうちにアからウまでのいずれかに該当する者があるもの

## 表紙:上下水道局イメージキャラクター「あかりちゃん」

上下水道局では、多くの皆様に親しみを感じていただくため、清流に住むゲンジボタルをイメージしたキャラクターを誕生させました。市民の皆様から御応募いただいた中から選考の結果、「あかりちゃん」と名付けられました。

### ～プロフィール～

性別年齢 : 不明  
性格 : おとなしいが、とにかく明るい  
特技 : 皆にすぐ可愛がられること  
趣味 : むし暑い日の夜の散歩  
夢 : 全ての川や湖がいつまでもきれいなこと  
住所 : 上田市内のきれいな某水辺

